

取扱説明書

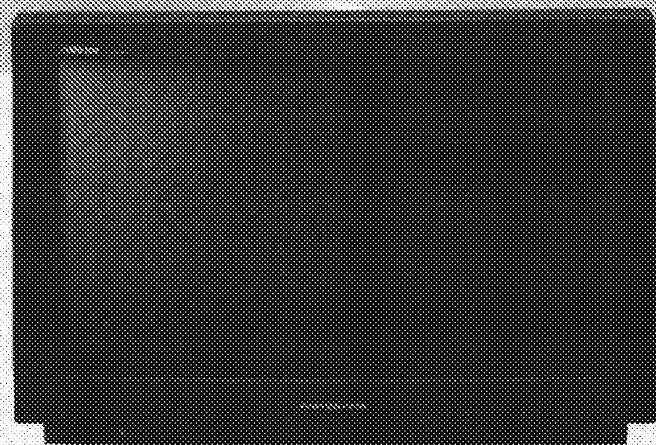
ビクターカラーテレビ

型番 AV-24X3/AV-28X3/AV-32X3

マルチワイドビジョンパノラマ

BSチューナー内蔵
MULTI WIDE VISION

PANORAMA



*写真は、AV-28X3です。

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「使用上の注意」をよくお読みください。
お読みになったあとは、後日調べたいときのために大切に保存してください。

 **Victor**
先進の個性



省エネで
守る環境
豊かな暮らし

「マルチワイドビジョン」と一緒に始めましょう。 極上の映像生活。

異常かな?と思ったら

音はでるが画面が映らない、煙がでたり変な音や臭いがする…など、故障したままの使用は危険です。すぐに、差し込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

PART 1 基本編

●ご使用前の準備	4
●基本の操作	6
●チャンネルの切り換えかた	8
●テレビ放送の音声を選ぶ	10
●BSの音声を選ぶ	12

PART 2 いろいろな 機能編

●画面の大きさを変える	
●画面の大きさを変える	15
●画面の位置を調節する	17
●フルサイズの画面にする	17
●ゲームを楽しむ	
●ゲームポジションでゲームを楽しむ	19
●好みの画面サイズでゲームを楽しむ	19
●便利な機能を使う	
●画面表示を出す	21
●映像を消して音声だけで楽しむ	21
●急いで音を小さくする	21
●メニュー機能を使う	
●メニューの選びかた	22
●メニューで選べる項目	23
●タイマー機能で楽しむ	
●時刻を合わせる	25
●毎日、予約した時刻にテレビを見る	27
●毎日、予約した時刻にテレビを消す	29
●一定時間でテレビを消す	31
●タイマーの予約状態をしらべる	31
●画面を調節する	
●映画ソフトを見る	33
●あたたかみのある画面にする	33
●部屋の明るさに合った画面にする	33
●見やすい画面に調節する	35
●調節した明るさや色合いを記憶させる	37
●記憶させた調節画面を呼び出す	37
●音を調節する	
●臨場感のある音を楽しむ	39
●聞きやすい音に調節する	39
●消音ボタンの音量を設定する	41

PART 3 システム アップ編

- ビデオ機器をつないで楽しむ43
 - 録画済みテープやビデオソフトを再生する43
 接続機器:ビデオデッキ(S映像端子付き/なし)、ビデオムービー、
 ビデオディスクプレーヤーなど
 - BSを録画する(BS裏録)44
 接続機器:ビデオデッキ(BSチューナーなし)
 - BS有料放送を見る/録画する46
 接続機器:BSデコーダー、ビデオデッキ(BSチューナーなし/内蔵)
 - ハイビジョン番組を見る/録画する50
 接続機器:MUSE-NTSCコンバーター、
 ビデオデッキ(BSチューナーなし/内蔵)
 - BS有料放送とハイビジョン番組の両方を録画する.....54
 接続機器:BSデコーダー、MUSE-NTSCコンバーター、
 ビデオデッキ(BSチューナーなし/内蔵)
 - BS/BS有料放送/ハイビジョン番組をタイマー録画する56
 接続機器:ビデオデッキ(BSチューナーなし/内蔵)、BSデコーダー、
 MUSE-NTSCコンバーターなど
 - ビデオテープをタピングする58
 接続機器:ビデオデッキ、ビデオムービー

- オーディオ機器をつなく59
- テレビゲーム機をつなく60
- ビデオやオーディオ機器全体を集中制御する
 —AVコンピュリンク62
- ビデオ機器を使いやすくするための設定
 - 画面の入力表示を変える65
 - リモコンにビデオデッキを設定する66

PART 4 準備編

- アンテナを接続する
 - VHFとUHFアンテナのつなぎかた68
 - BSアンテナのつなぎかた70
 - BSアンテナの方向を調節する71
- チャンネルを設定する
 - 受信チャンネルを設定し直す72
 - 選局方法を選ぶ.....75
 - VHFとBSチャンネルのとびこしを設定する77
 - UHFとCATVチャンネルのとびこし設定を解除する79
- 使いやすくするための設定
 - BS局名の表示を設定する81
 - シアター画面へのワンタッチ切り換えを設定する82
 - 節電機能を設定する83

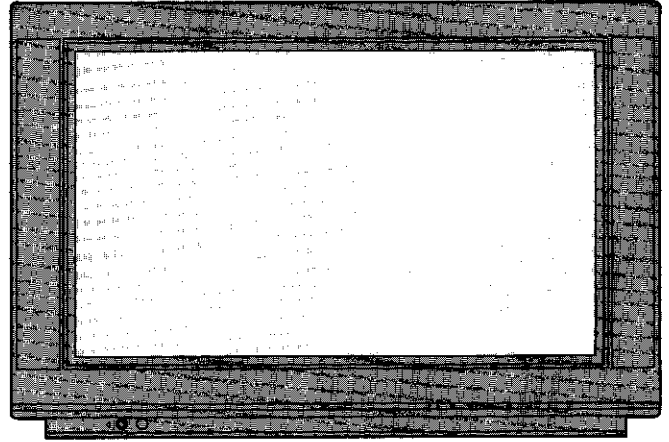
付録

- 故障かな?と思ったらまず確かめて.....84
- 各部の名称と働き88
- 仕様94
- 画面のバランスを調整する95
- BS(衛星放送)とは.....裏表紙

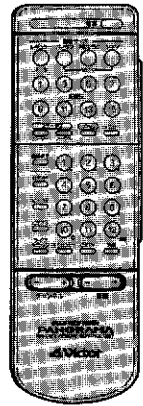
PART 1 基本編

TVやBSをフツィに見るだけなら、
ここをしらかり読めばOKです。

ご使用前の準備

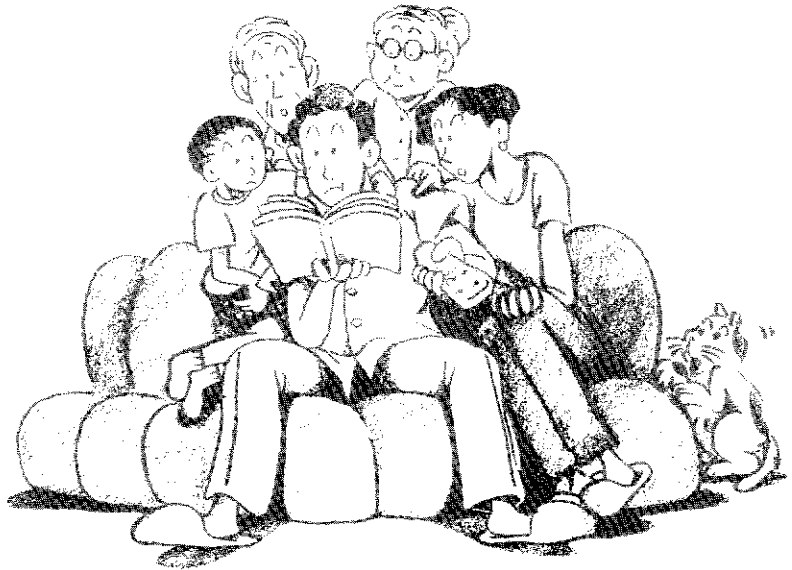


本体の図は、AV-28X3です。



ご注意

接続するときは、それぞれの機器の電源を切
ってからつないでください。



設置場所についてのご注意 (AV-28X3/AV-32X3のみ)

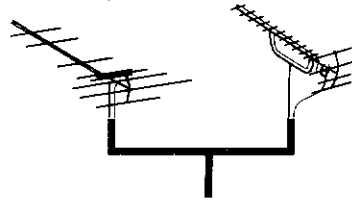
このテレビは、外光反射を軽減するため、クリアブラックマスク・ブラウン管を採用しています。紫外線の影響で、その効果がおちることがありますので、直射日光の当たらない場所に設置してください。

下線の準備は、必ず行ってください。
下線のない準備は、必要な場合だけ行ってください。

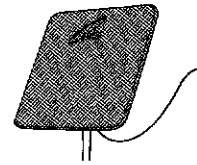
詳しい方法については、指定のページをご覧ください。

1

アンテナをつなぐ



VHF/UHF
アンテナ入力端子 **68 69**

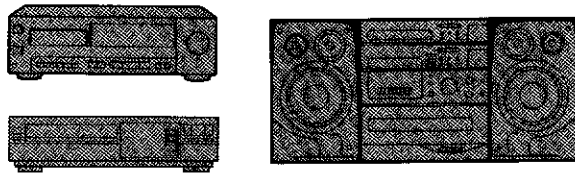


BSアンテナ
入力端子 **70**

2

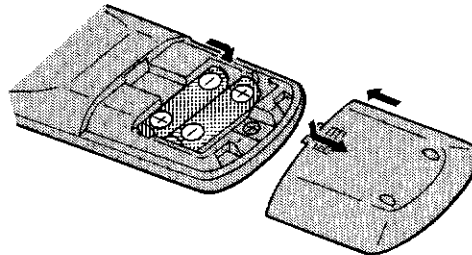
お手持ちの機器につなぐ **42~63**

ビデオデッキやビデオディスプレイなどの
ビデオ機器やオーディオ機器をつなぎます。



3

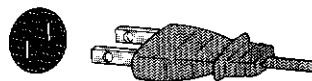
リモコンに電池を入れる **89**



4

電源プラグをコンセントに差し込む

家庭用コンセント(交流100V)に差し込みます。



5

BSアンテナの方向を調節する **71**

6

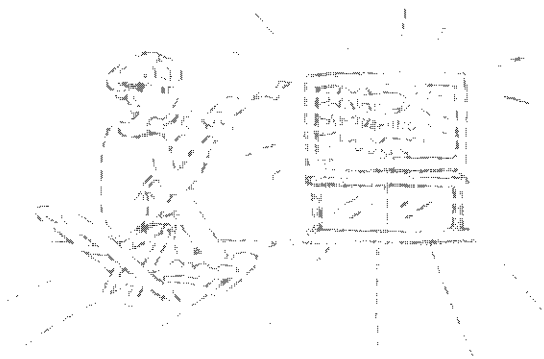
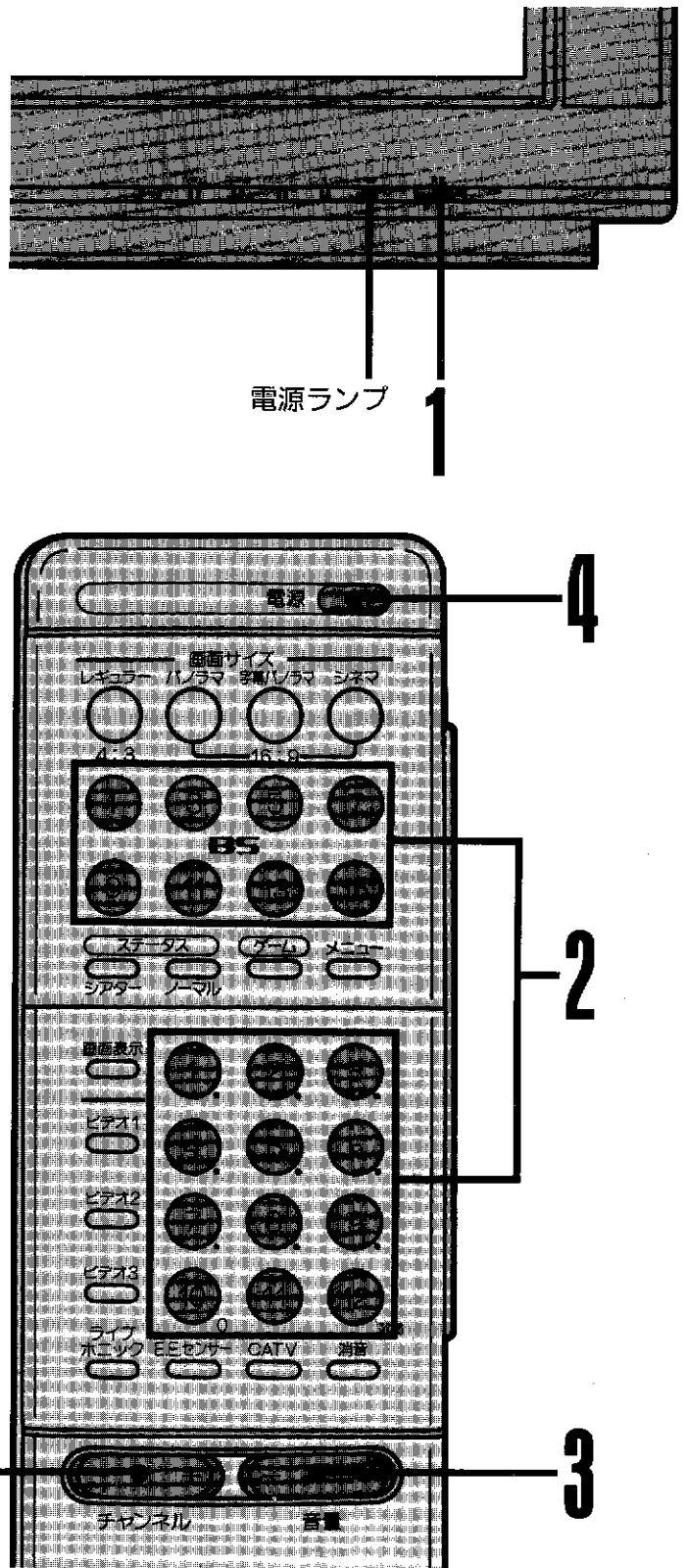
受信チャンネルを設定する **72 73**

選局方法を選ぶ **74 75**

チャンネルのとびこし設定する **76~79**

基本の操作

まず、最初は、いちばんカンタンなTVの見かたから。

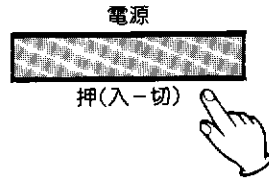


チャンネル+、-ボタンは

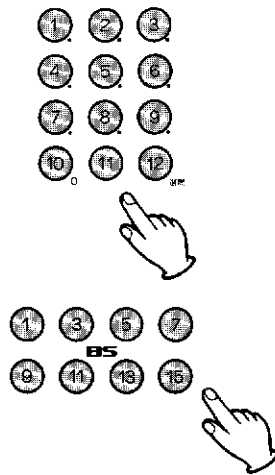
- +側を押すとチャンネル番号の大きい方へ、-側を押すと小さい方へ、順にくり返し選べます。とびこし設定をしたチャンネルは、とびこして選びます。
- チャンネルのとびこし設定のしかたは10ページ。

基本の手順

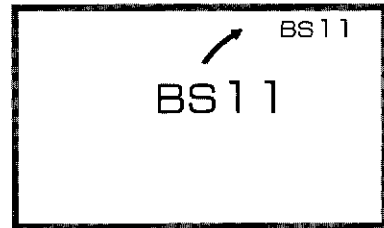
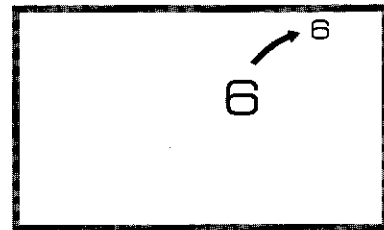
1 本体の電源を入れる



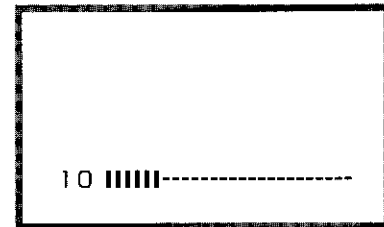
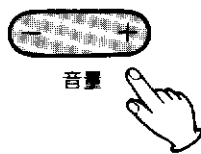
2 チャンネルを選ぶ



10キー選局のしかたは⑨ページ。



3 音の大きさを調節する



4 リモコンで電源を切る

次に電源を入れるときは、リモコンの電源ボタンで入れます。



●長期間ご使用にならないときは本体の電源ボタンで切ってください。電源ランプが消えます。



ご注意

BSチャンネルが選べないときは

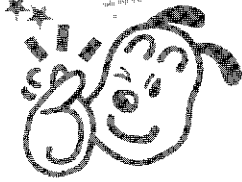
「BSチャンネルロック中」の表示が出てBSチャンネルが選べないときは、BS裏録機能が設定されています。BS裏録ボタンを押し、解除してから選んでください。④ページ参照。

BSが正しい映像にならないときは

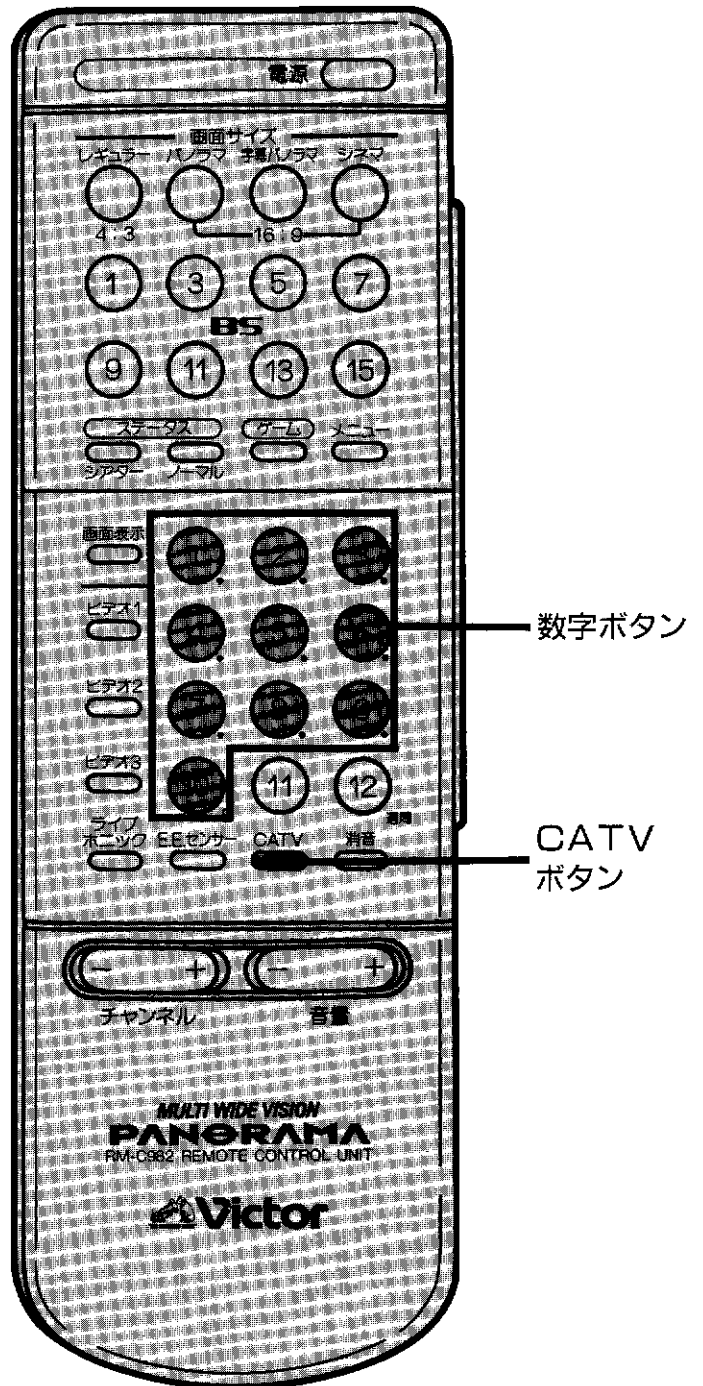
有料放送やハイビジョンの試験放送が考えられます。ご覧になるためにはBSデコーダーやMUSE-NTSCコンバーターが必要です。販売店にご相談ください。

チャンネルの切り換えかた

音用のポイント

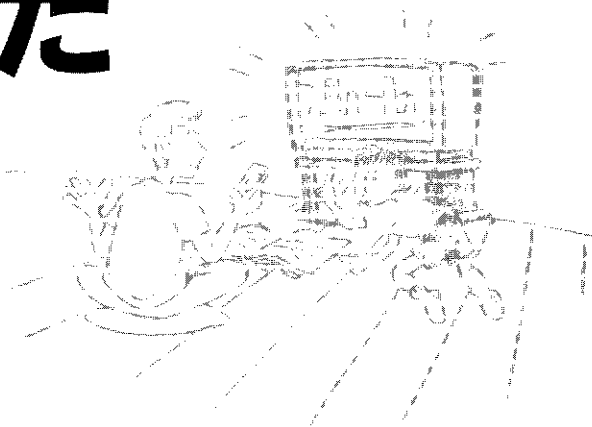


チャンネルボタン1〜12を押してそれぞれのチャンネルを選ぶ方法(ダイレクト選局)のほかに、数字ボタンを押してチャンネルを選ぶ方法(10キー選局)があります。



数字ボタン

CATV
ボタン



UHFやケーブルテレビを受信したいときは

10キー選局と、1〜12のチャンネルボタンに受信チャンネルを設定する方法の2つがあります。どちらにするかの1つの目安に、ご家庭で受信できるチャンネルの数があります。

12チャンネル以上受信できる場合：10キー選局

12チャンネル以下の場合：受信設定してダイレクト選局
受信設定については

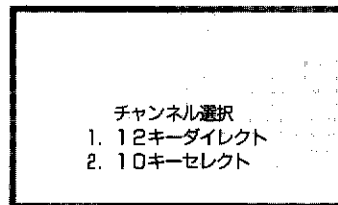
12ページ参照

数字ボタンを押してチャンネルを選ぶ

10キー選局

初期設定メニュー2のチャンネル選択で「2.10キーセレクト」を選ぶ

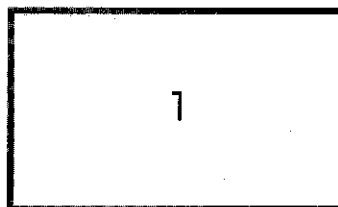
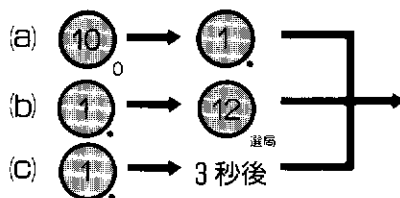
PART 4 準備編
「選局方法を選ぶ」
10ページ参照。



1桁のチャンネルの選びかた

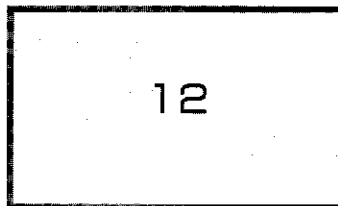
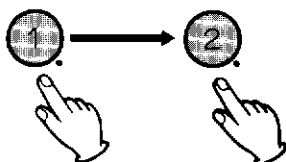
10キー選局のとき、数字ボタンの10は、0(ゼロ)ボタンとして使います。

例 1チャンネル



2桁のチャンネルの選びかた

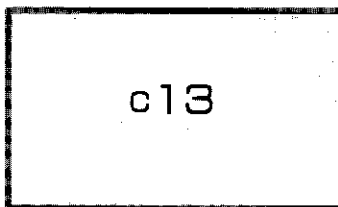
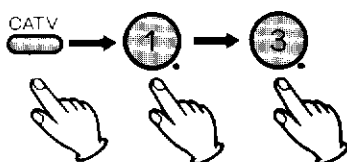
例 12チャンネル



BSチャンネルは、数字ボタンで選べません。BSチャンネルボタンを押して選んでください

ケーブルテレビのチャンネルの選びかた

例 C | 3チャンネル



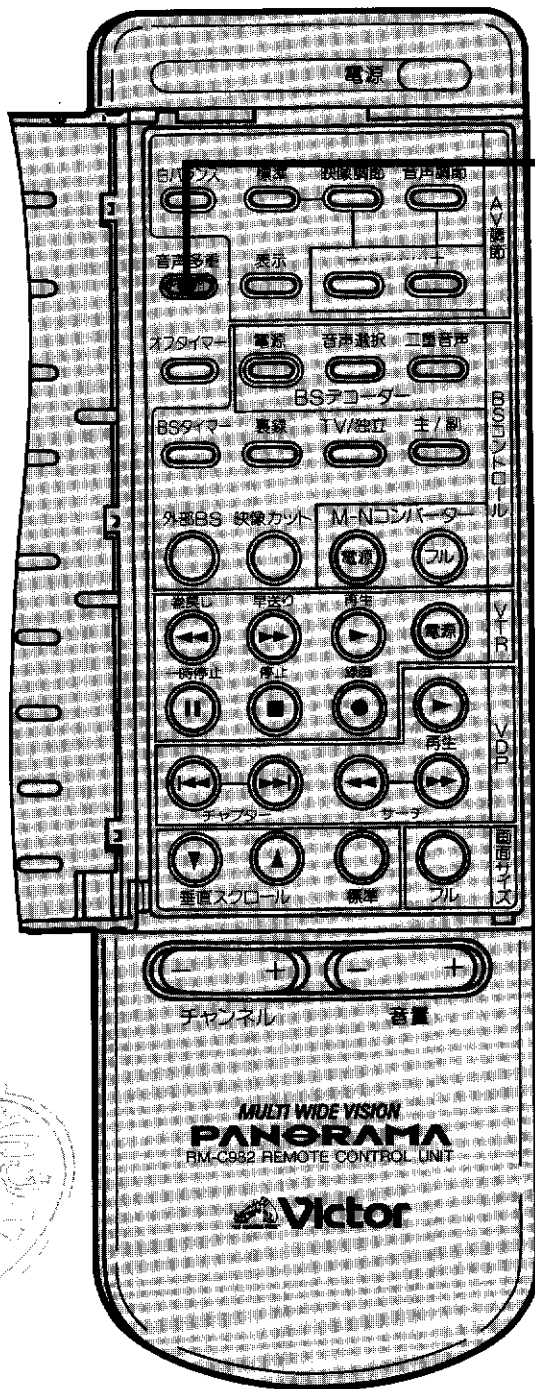
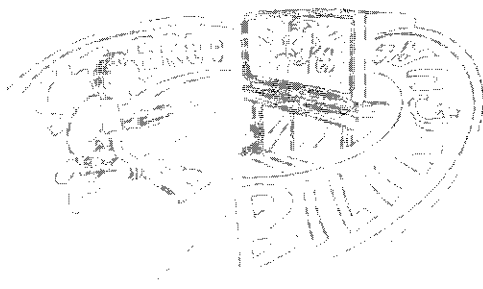
ケーブルテレビ(CATV)とは
有線テレビのことです。民間のCATV会社と契約すると、加入は有料で、普通のテレビ放送以外のいろいろな番組を見ることができます。ケーブルテレビは、受信できる地域とできない地域があります。ケーブルテレビについて詳しくは、ケーブルテレビの代理店にお問い合わせください。

テレビ放送の 音声を選ぶ

音楽をステレオで聞いたり、洋画を原語で聞けば、TVはもつと楽しくなりそうですね。



番組表に「S」「二」「多」などで表示されているステレオや二重音声放送を楽しめます。ステレオ音楽の鑑賞に、ニュースや洋画で外国語の勉強にご活用ください。



音声多重
ボタン

ステレオ放送/二重音声放送とは

放送番組には、音声が1系統(1チャンネル)のモノラル放送と、2系統(2チャンネル)の音声で放送しているものがあります。2系統の音声をもつ番組には、ステレオ放送や二重音声放送があります。

- ステレオ
主に音楽番組。左と右のスピーカーから別々の音が出るため、モノラル音声より立体的な音が楽しめます。
- 二重音声放送
一方を主音声、もう一方を副音声と呼びます。

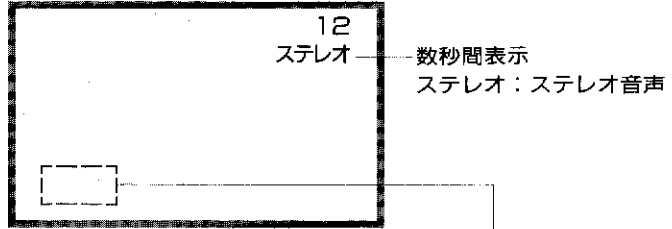
二重音声放送には、次のようなものがあります。

- 二か国語放送：映画などで、主音声に吹き替えの日本語、副音声に原語が入っているもの。
 - 音声多重：副音声に、目の不自由な方のためのナレーションが入っているものなど。
- 二重音声放送やステレオ放送は、テレビの番組表に「二」(二か国語)や「多」(音声多重)、「S」(ステレオ)などの記号で表示されています。

ステレオで聞く 音声多重ボタン

1 ステレオ放送のときは、チャンネルを選んだときに自動的に「ステレオ」と表示されます

(モノラル放送のときは何も表示されません。)



2 音声多重ボタンを押して聞きたい音声を選ぶ



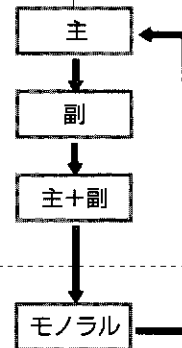
※雑音の多いときはモノラルでお楽しみください。画面に「モノラル」と数秒間表示されます。

●ステレオで聞く

モノラル以外は、ステレオ音声です。主/副/主+副のどれを選んでもかまいません。

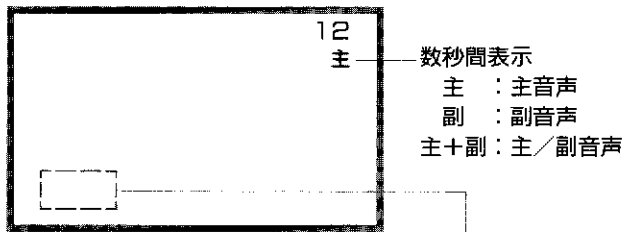
●モノラルで聞く

モノラルを選びます。



二重音声を聞く 音声多重ボタン

1 二重音声放送のときは、チャンネルを選んだときに自動的に図のように表示されます



2 音声多重ボタンを押して聞きたい音声を選ぶ



※モノラルを選んだときは、主音声が出ます。

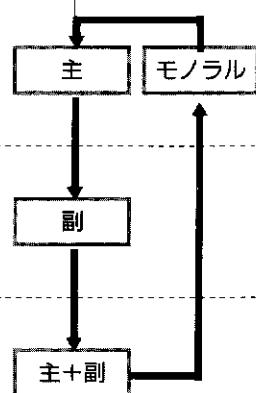
●主音声を聞く



●副音声を聞く



●主/副音声を聞く

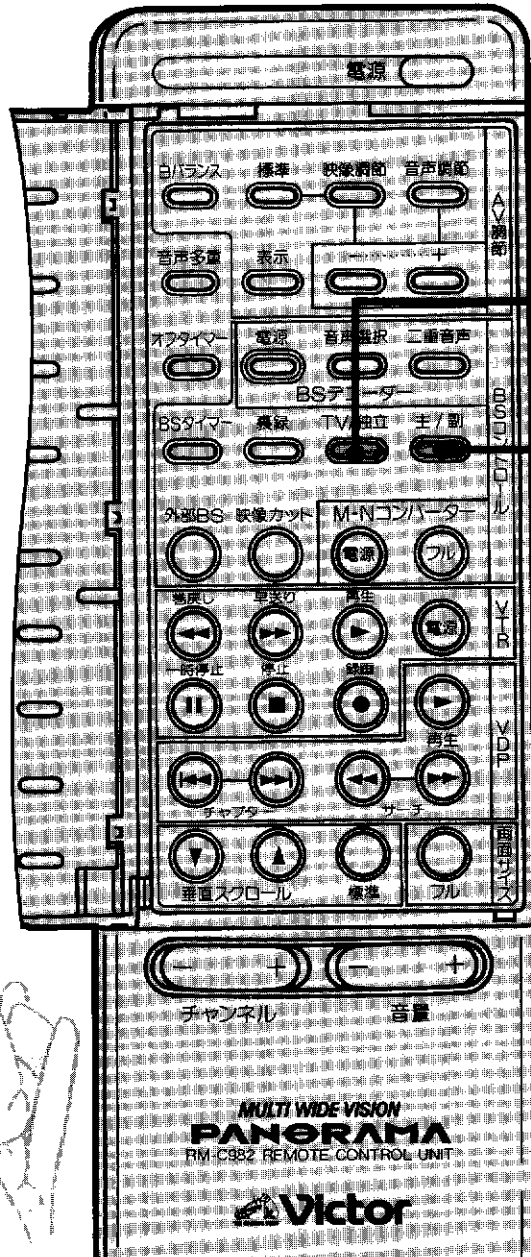


BSの音声を選ぶ

専用のポイント

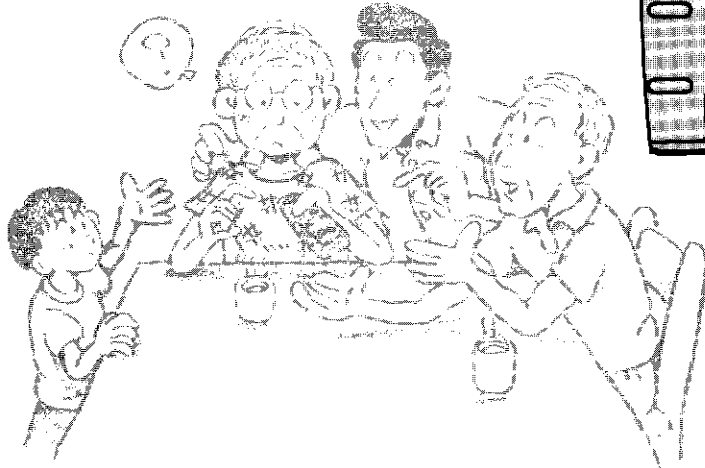


BSの音声はAモードとBモードの2種類があり番組によって決められて送られてきます。Aモードには、テレビ番組の音声とは関係のない音だけの番組、独立音声があります。選んでお楽しみください。



TV/独立ボタン

主/副ボタン



画面表示について

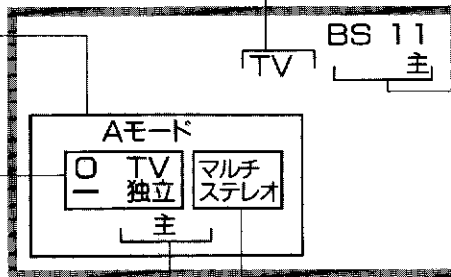
音声を選択するとき数秒間表示される。

Aモードのときはテレビ音声(TV)か独立音声(独立)を選ぶ。

二重音声(マルチ)のとき主/副/主+副の音声を選ぶ。

放送されている音声の種類を示す。

TV : Aモードのテレビ音声
独立 : Aモードの独立音声
Bモード : Bモードの音声



選択されている音声を示す。(有料放送のときは「PAY」、ハイビジョン番組のときは「MUSE」と表示)

放送されている音声を示す。

マルチ : 二重音声
ステレオ : ステレオ音声
モノラル : モノラル音声
PAY : 有料放送
--- : 音声なし

ステレオで聞く

放送されている音声によって「ステレオ」か「モノラル」が自動的に選ばれます。

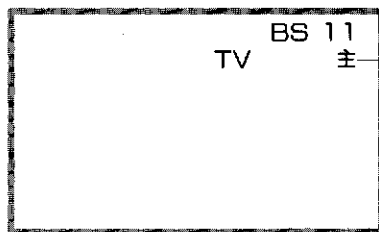
(ステレオとモノラルの切り換えはできません。)



数秒間表示
ステレオ：ステレオ音声
モノラル：モノラル音声

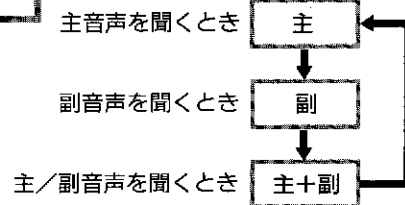
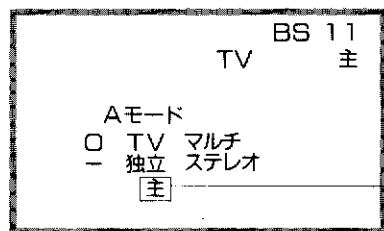
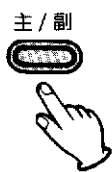
二重音声を聞く 主/副ボタン

1 二重音声放送のときはチャンネルを選んだときに図のように表示されます



数秒間表示
主：主音声
副：副音声
主+副：主/副音声

2 主/副ボタンを押して聞きたい音声を選ぶ



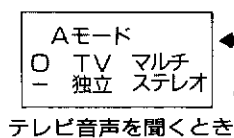
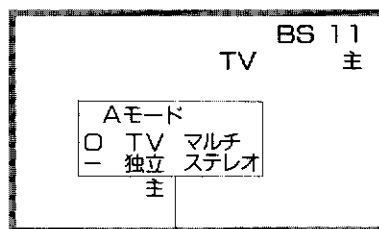
独立音声を聞く TV/独立ボタン

Aモードのとき、TV/独立ボタンを押して独立音声を選ぶ

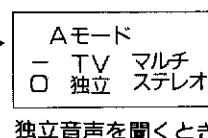


ご注意

- 有料の独立音声を聞くには、BSデコーダーが必要です。詳しくは40ページ。
- 「PAY」表示が出るときは、接続しているBSデコーダー側で選びます。リモコンふた内のBSデコーダー音声選択ボタン、二重音声ボタンを使って操作できます。
- 「MUSE」表示が出るときは、接続しているMUSE-NTSCコンバーター側で選びます。詳しくは51ページ。



聞きたい音声を○印にする



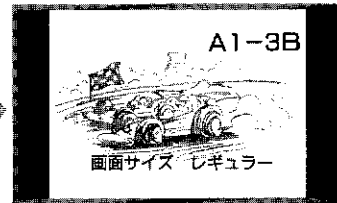
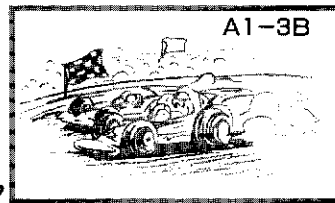
独立音声を聞くととき

画面の大きさを変える

画面サイズボタン

レギュラーサイズで見る

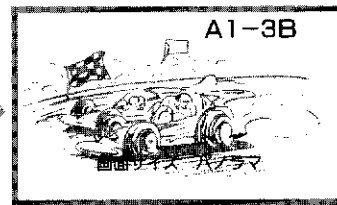
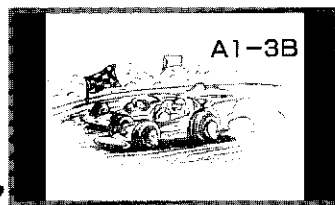
拡大した画面でレギュラーボタンを押すと、普通の大きさの画面に戻ります。



(拡大した画面)

パノラマサイズで見る

F1レースやサッカーなどのスポーツ番組はパノラマサイズをお勧めします。左右の端が横に少し伸びた映像になります。



(画面の上下が少し欠けます)

字幕パノラマサイズで見る

字幕つき映画ソフトをシネマサイズでご覧になる場合、字幕が隠れてしまうときに、字幕パノラマボタンを押してください。



シネマサイズで見る

劇場サイズの映画番組や映画ソフトを見るとときにはシネマサイズをお勧めします。



- 本体の画面サイズ切換ボタンを押しても、画面サイズを切り換えることができます。88ページ参照。
- ハイビジョン番組は自動的に画面いっぱい（フルサイズ）に映ります。フルサイズの画面については、17ページ。

「ゲームポジション中」と表示されたら

ゲームボタンを押してゲームポジションを解除してから、画面サイズのボタンをもう一度押します。ゲームポジションについて詳しくは、19ページ。

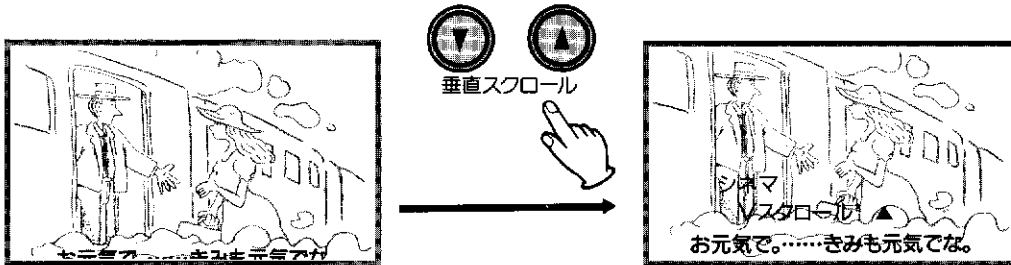
ワンタッチで劇場の雰囲気を楽しむ

シアターイチ押しボタン機能が「オン」になっていると、字幕パノラマボタンやシネマボタンを押すだけで、画面の大きさといっしょに、劇場のような映像や音をお楽しみいただけます。シアターイチ押しボタン機能については、92ページ。

いろいろな機能編
画面の大きさを変える(レギュラー/パノラマ/字幕パノラマ/シネマ)

画面の位置を調節する

垂直スクロールボタン



※

- 垂直スクロールボタンを押しつづけると、上限または下限の位置で▲▼が緑色から紫色に変わります。紫色になったら、それ以上押しでも画面は変わりません。センター位置では黄色に変わります。
- フルサイズの画面では、上限、センター、下限の3つの位置にだけスクロールします。また、ゲームポジションにしているときも、フルサイズの画面になりますので、上の3つの位置にだけスクロールします。

⚠️ ご注意

- 映像によっては、垂直スクロールの調節をしても字幕などが見にくいものがあります。このときは、フルまたはレギュラーの画面サイズでお楽しみください。

標準位置に戻すには

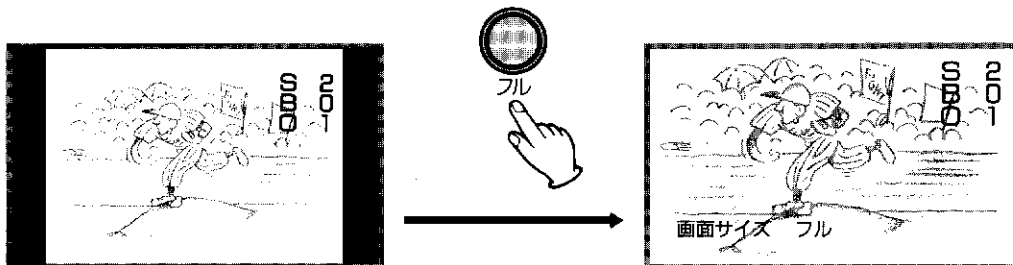
標準ボタンを押します。「Vスクロール センター」と表示されます。

フルサイズの画面にする

画面サイズボタン



ハイビジョン番組を画面いっぱいに映し出します。



(普通の番組では、画面が横に広がります)

※

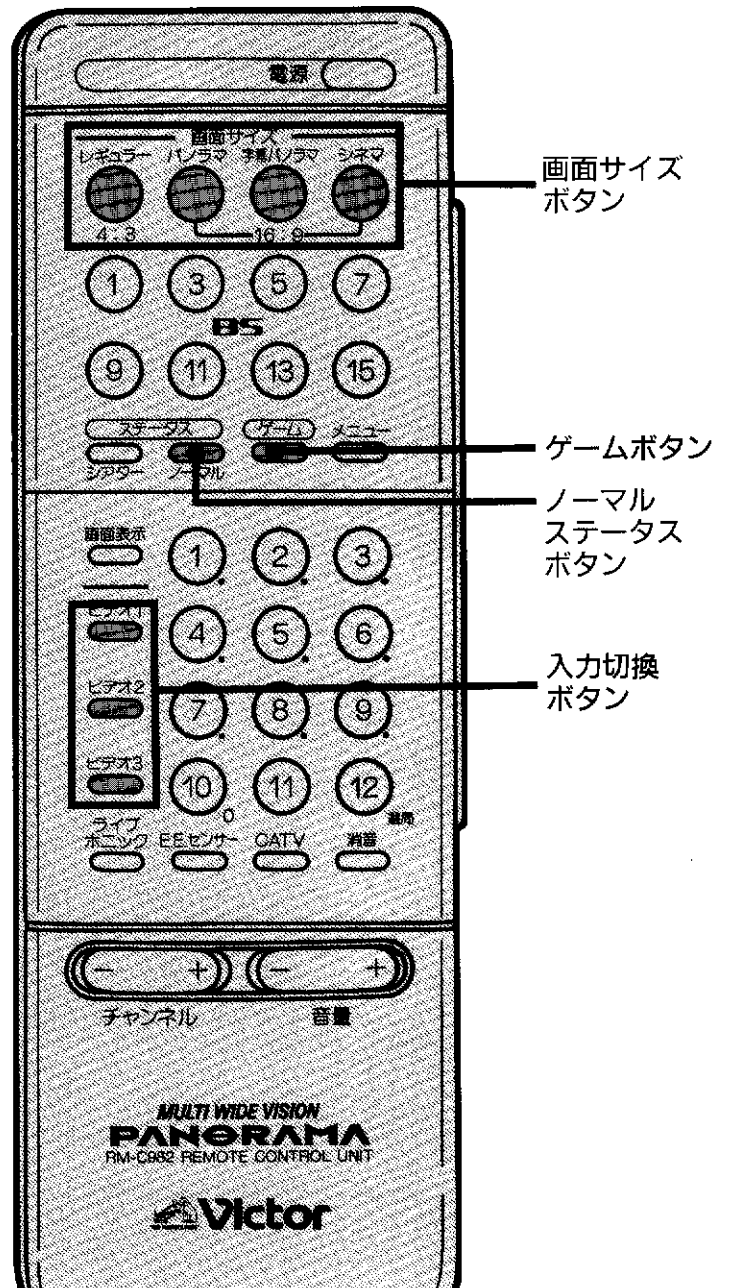
- 別売のMUSE-NTSCコンバーター (HV-MC1000、HV-MC500)をつないでハイビジョン番組を受信すると、自動的にフルサイズになります。☎️ページ参照。

画面の大きさを変える(画面位置の調節/フル)

ゲームを楽しむ



テレビゲームで遊ぶときは、ゲームポジションに。迫力満点な画面と臨場感あふれる音で、ゲームの楽しさが倍増します。目にもやさしい明るさです。テレビゲーム機のつなぎかたは、**60**、**61**ページ。



ゲームポジションの画面サイズや音声効果

ゲームポジションでは、目にやさしく臨場感のあるゲームをお楽しみいただくため、画面と音声の状態を以下のように自動設定します。このとき、画面サイズの切り換えや映像調節、音質調整等はできなくなり、「ゲームポジション中」と表示されます。

映像状態：ゲームステータス

目にやさしい画面に設定されます。また好みの映像状態に設定することもできます。**67**ページ参照。

画面サイズ：ゲームフルモード

臨場感が得られるようフルモードに設定されます。

サラウンド音声：ゲームライブサウンド

迫力のある音声でお楽しみいただくために、サラウンド効果を自動設定します。

ゲームポジションは次のときも解除されます

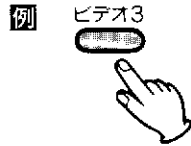
- 入力（ビデオ1～3）を切り換えたとき
- チャンネルを切り換えたとき
- 電源を切ったとき
- おはようタイマーまたはおやすみタイマーが働いたとき（**67**ページ、**68**ページ）

ゲームポジションでゲームを楽しむ

操作の手順は必ず守ってください。

1

ゲーム機をつないでいる入力を選ぶ



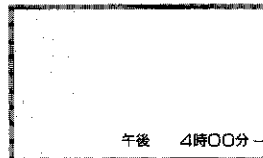
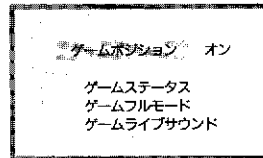
ゲーム機をアンテナ端子につないでいるときは、ビデオデッキの映像を見るためのテレビチャンネル(例えば2チャンネル)にします。

2

ゲームボタンを押して「ゲームポジションオン」にする

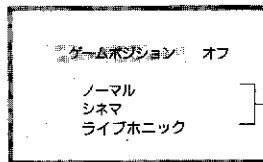
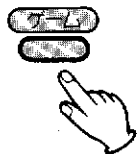
数秒後、表示は自動的に消えます。

時計を合わせておけば、ちょうど時刻(1時、2時など)に時計表示が出ます。「熱中しすぎて約束の時間を忘れてしまった」などということがないように、時計合わせをしておきましょう。時計の合わせかたは、 ページ



3

ゲームをやめるときはゲームボタンを押して「ゲームポジションオフ」にする



ゲームポジションにする前の状態

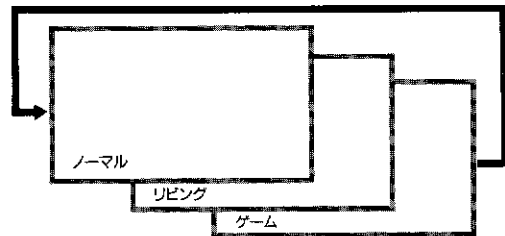
好みの画面サイズでゲームを楽しむ

1

ゲーム機をつないでいる入力を選ぶ

2

ノーマルステータスボタンを何回か押し、ゲームステータスを選ぶ



3

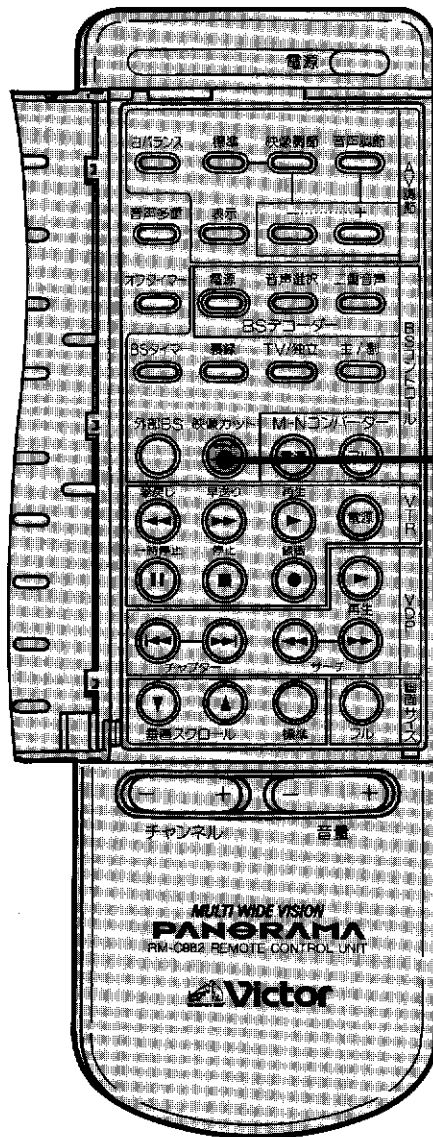
画面サイズボタンを押して、希望の大きさの画面にする



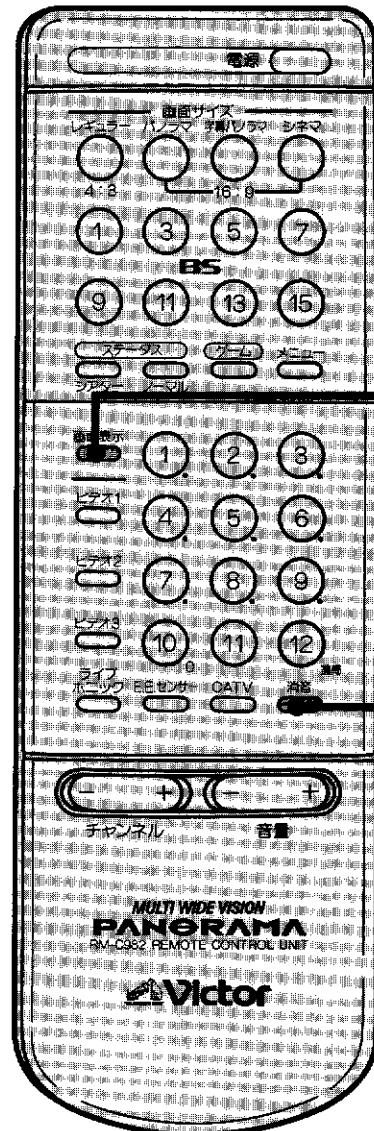
いろいろな機能編

ゲームを楽しむ

便利な機能を使う



映像カットボタン



画面表示ボタン

消音ボタン

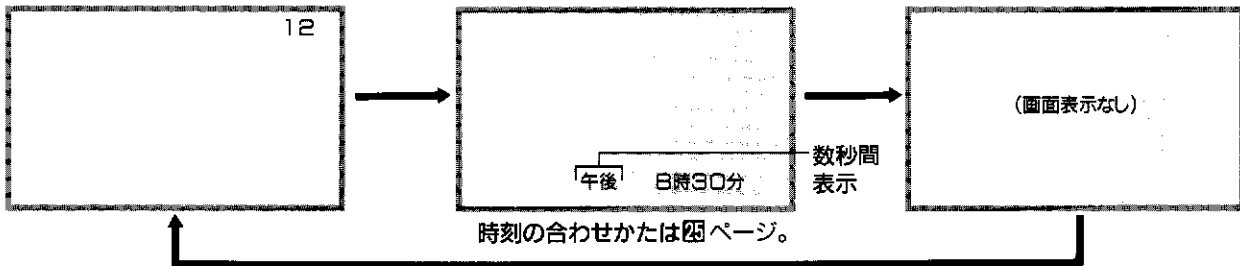


画面表示を出す

画面表示ボタン

お出かけ 時刻を表示させておくと、テレビを見ながらお出かけや、お風呂、お洗濯などの時間が確かめられます。チャンネルや時刻表示などを画面に出したままにするボタンです。押すたびに下図のように切り換わります。映像カットボタンを押すと画面表示は消えます。

画面表示



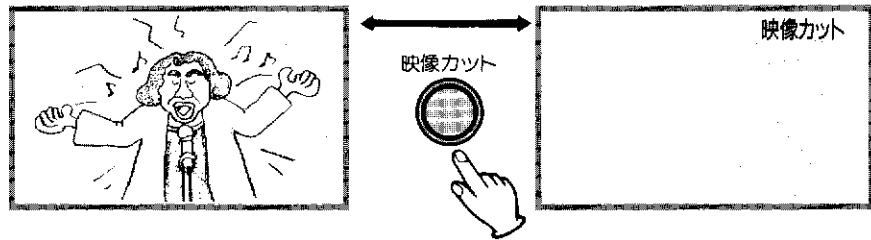
映像を消して音声だけで楽しむ

映像カットボタン

お出かけ B Sの独立音声を聞くときなど、映像を消して音声だけを楽しめます。

映像カット中は、チャンネルボタンやビデオ1～3ボタンを使ってチャンネルや入力を変えても、映像は消えたままです。

映像をもう一度出すには映像カットボタンを押します。



急いで音を小さくする

消音ボタン

お出かけ 電話のじゃまになるときや、来客、外の気配を確かめたいときなどに使えます。

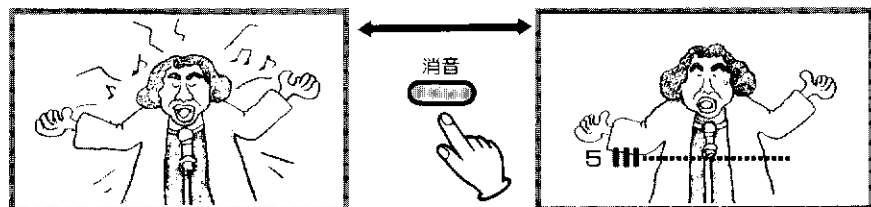
消音ボタンを押すとあらかじめ設定されている音量になります。

設定のしかたは41ページ。



ご注意

現在の音量が消音レベル設定の音量よりも小さいときは、消音ボタンを押しても音の大きさは変わりません。



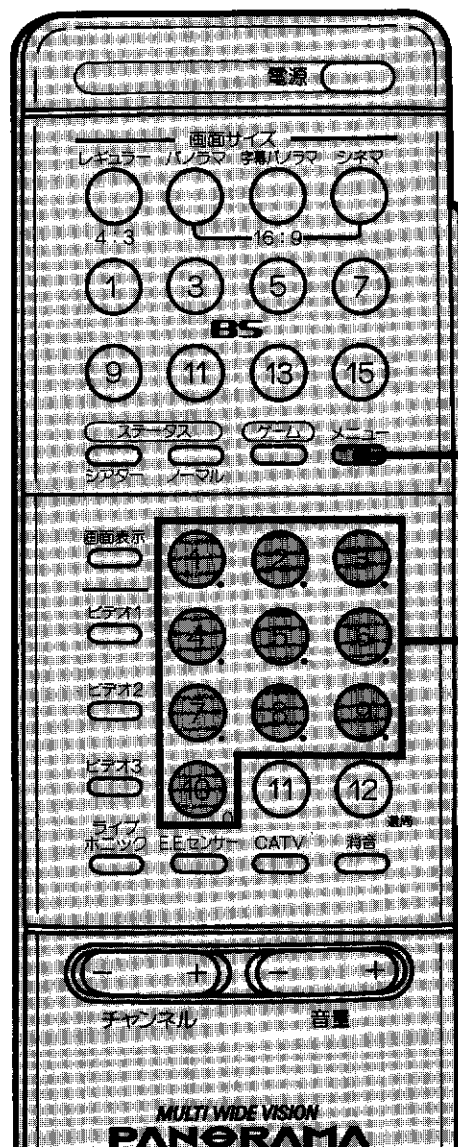
音量をもとに戻すには、消音ボタンを押します。

数秒間赤く表示

いろいろな機能を使う(画面表示/映像カット/消音)

メニュー機能を使う

メニュー機能を使って、いろいろな設定や調節をします。

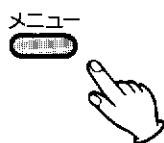


メニューボタン

数字ボタン

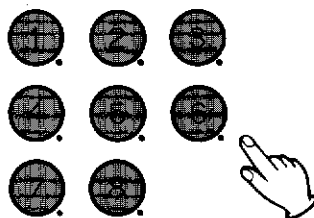
メニューの選びかた

1 メニューボタンを1回または2回押す



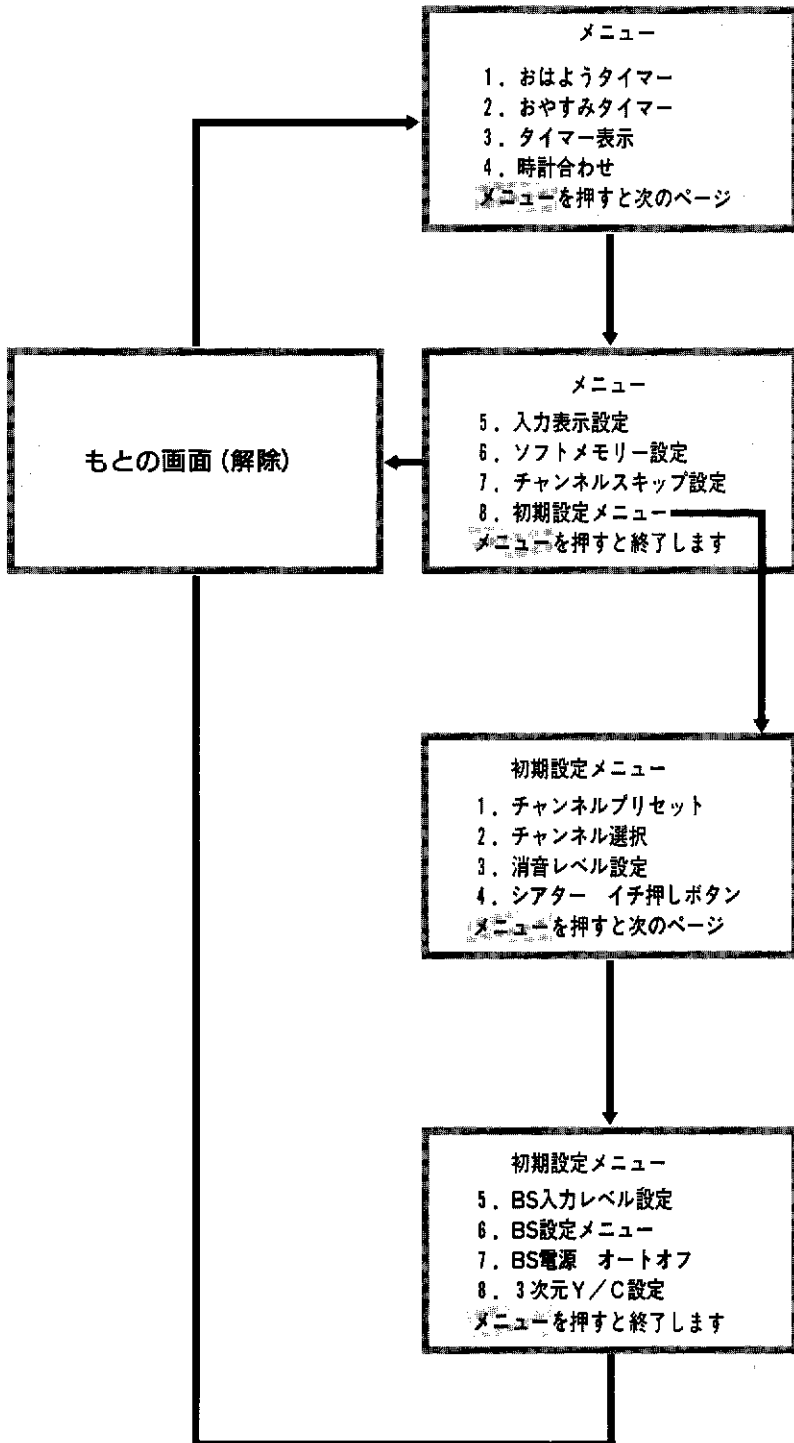
- メニュー
1. おはようタイマー
 2. おやすみタイマー
 3. タイマー表示
 4. 時計合わせ
- メニューを押すと次のページ

2 メニューの項目の数字ボタンを押す



メニューで選べる項目

メニューの各項目について詳しくは、それぞれの説明ページをご覧ください。



1. おはようタイマー (27ページ)
毎日、予約した時刻に電源が入ります。
2. おやすみタイマー (29ページ)
毎日、予約した時刻に電源が切れます。
3. タイマー表示 (31ページ)
タイマーの予約状態を表示します。
4. 時計合わせ (25ページ)
タイマー機能や時刻表示の基準となる時刻を合わせます。
5. 入力表示設定 (35ページ)
つないでいる機器に合わせて、画面の入力表示を設定します。
6. ソフトメモリー設定 (37ページ)
調節した画面の状態 (明るさなど) を記憶させます。
7. チャンネルスキップ設定 (40ページ)
放送のないチャンネルをとびこすように設定します。
8. 初期設定メニュー
以下の初期設定をしたいとき選びます。

初期設定メニュー

1. チャンネルプリセット (72ページ)
UHFやCATVのチャンネルをリモコンに設定します。
2. チャンネル選択 (75ページ)
ダイレクト選局か10キー選局かを選びます。
3. 消音レベル設定 (41ページ)
消音ボタンを押したときの音の大きさを設定します。
4. シアターイチ押しボタン (32ページ)
画面サイズを変えたとき音質と映像も映画にふさわしい状態に変わるように設定します。
5. BS入力レベル設定 (71ページ)
BSアンテナの方向調節のときに使います。
6. BS設定メニュー (50、81ページ)
BS局名表示やオートリターン設定をするときに使います。
7. BS電源オートオフ(33ページ)
節電機能を設定します。
8. 3次元Y/C設定(AV-28X3 AV-32X3のみ)
3次元Y/C機能の働きを見ることが出来ます。3次元Y/C機能で鮮明なワイド画像を実現しています。

いろいろな機能編

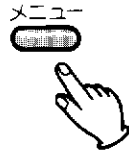
メニュー機能を使う

操作の途中でメニューボタンを押すと、最初のメニュー画面に戻ります。

時刻を合わせる

メニュー 4
時計合わせ

1 メニューボタンを押す



メニュー

1. おはようタイマー
2. おやすみタイマー
3. タイマー表示
4. 時計合わせ

メニュー を押すと次のページ

2 数字ボタンの④を押して「時計合わせ」を選ぶ

初めて電源を入れたときや、電源コードを抜いた後、停電後は「午前 0 時 00 分」になっています。



時計合わせ
午前 0 時 00 分

1. 秒合わせ
2. 秒(+1分)
3. 変更

3 数字ボタンの③を押す

「1. 秒合わせ」、「2. 秒(+1分)」の使いかたは②ページ。



設定する項目は、黄色で表示

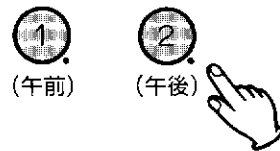
時計合わせ
-- -- 時 -- 分

1. 午前
2. 午後

音量キー(-・+)で項目を戻り・送り

4 数字ボタンの①または②で「午前」か「午後」を選ぶ

操作を間違えたときは、音量ボタンを押すと、1つ前の操作に戻ります。



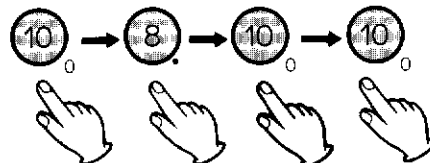
時計合わせ
午後 -- 時 -- 分

数字キーを押して下さい
音量キー(-・+)で項目を戻り・送り

5 時刻を合わせる

現在の時刻より1~2分進めてセットします。
操作を間違えたときは、音量ボタンを押すと、1つ前の操作に戻ります。

例 8 時 00 分



0 (ゼロ)は、数字ボタンの10を押します。

時計合わせ
午後 8 時 00 分

数字キーを押して下さい
音量キー(-・+)で項目を戻り・送り
消音 を押すと終了します

6 時報と同時に消音ボタンを押す

時計が動き始めます。



午後 8 時 00 分

いろいろな機能編

タイマー機能で楽しむ(時刻を合わせる)

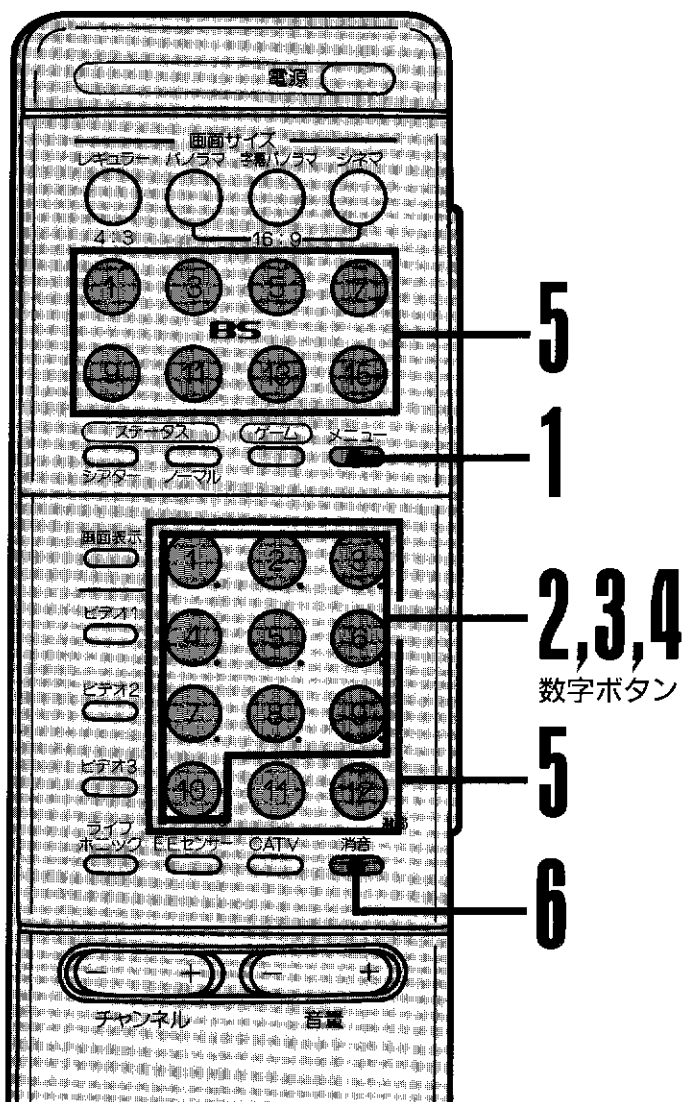
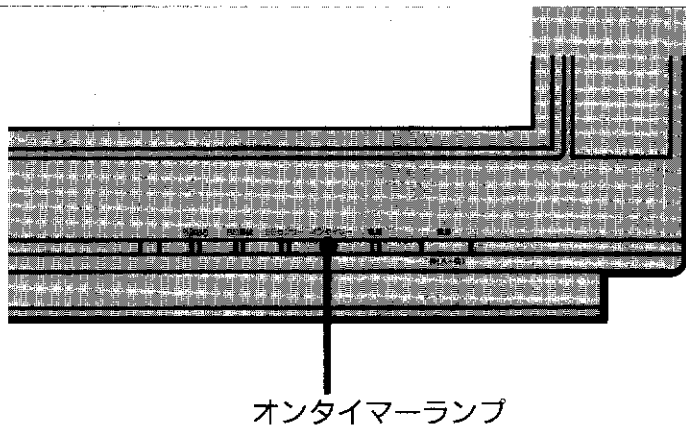
タイマー機能で

楽しむ(2)

毎日欠かさず見たい番組。一度セットしておけば、安心ですね。



電源切のときは設定した時刻に毎日電源が入りますので、日さましの代わりに使えます。
電源入のときは設定した時刻に毎日チャンネルが変わりますので、連続ドラマやニュース番組を見逃す心配がありません。



ご注意

- 本体側で電源を切ると、おはようタイマーは動作しません。リモコンで電源を切ります。
- タイマーで電源が入ってから、2時間の間何も操作しないと自動的に電源が切れます。続けてテレビをご覧になりたいときは、電源ボタンを押してテレビをつけてください。

タイマーを停止させたいときは

手順③で「2. 停止」を選びます。オンタイマーランプが消えます。

タイマーをふたたび動作させたいときは

手順③で「1. 動作」を選びます。オンタイマーランプが点灯します。

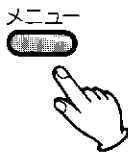
補足
手順③

操作の途中でメニューボタンを押すと、最初のメニュー画面に戻ります。

毎日、予約した時刻にテレビを見る メニュー1 おはようタイマー

1

メニューボタンを押す



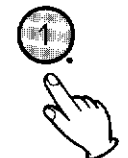
メニュー

1. おはようタイマー
2. おやすみタイマー
3. タイマー表示
4. 時計合わせ

メニュー を押すと次のページ

2

数字ボタンの①を押して「おはようタイマー」を選ぶ



おはようタイマー

タイマー予約の時刻 午前 0時00分

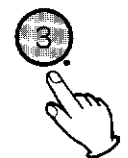
チャンネル CH 1 停止

動作状態 1. 動作 2. 停止 3. 変更

3

数字ボタンの③を押す

「1. 動作」、「2. 停止」の使いかたは⑧ページ。



おはようタイマー

--- 時 --- 分

CH --- 停止

1. 午前 2. 午後

音量キー (-・+) で項目を戻り・送り

設定する項目は、黄色で表示

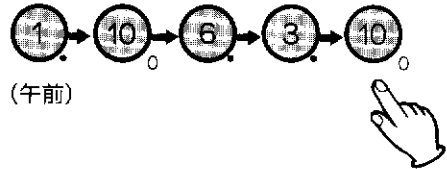
4

数字ボタンで、予約したい時刻に合わせる

操作を間違えたときは、音量-ボタンを押すと、1つ前の操作に戻ります。

例 午前 6 時 30 分

(午前)



おはようタイマー

午前 6時30分

CH --- 停止


チャンネルを押して下さい

音量キー (-・+) で項目を戻り・送り

5

予約したいチャンネルを選ぶ

操作を間違えたときは、音量-ボタンを押すと、1つ前の操作に戻ります。
10キー選局のチャンネル切り換えは⑧ページ。



おはようタイマー

午前 6時30分

BS11 停止


チャンネルを押して下さい

音量キー (-・+) で項目を戻り・送り

消音 を押すと終了します

6

消音ボタンを押す



おはようタイマー

午前 6時30分


BS11 動作

チャンネルを押して下さい

音量キー (-・+) で項目を戻り・送り

消音 を押すと終了します

オンタイマー



タイマー予約が終了します。

いろいろな機能編

タイマー機能で楽しむ(おはようタイマー)

●電源を切るときはリモコンの電源ボタンで切ります。

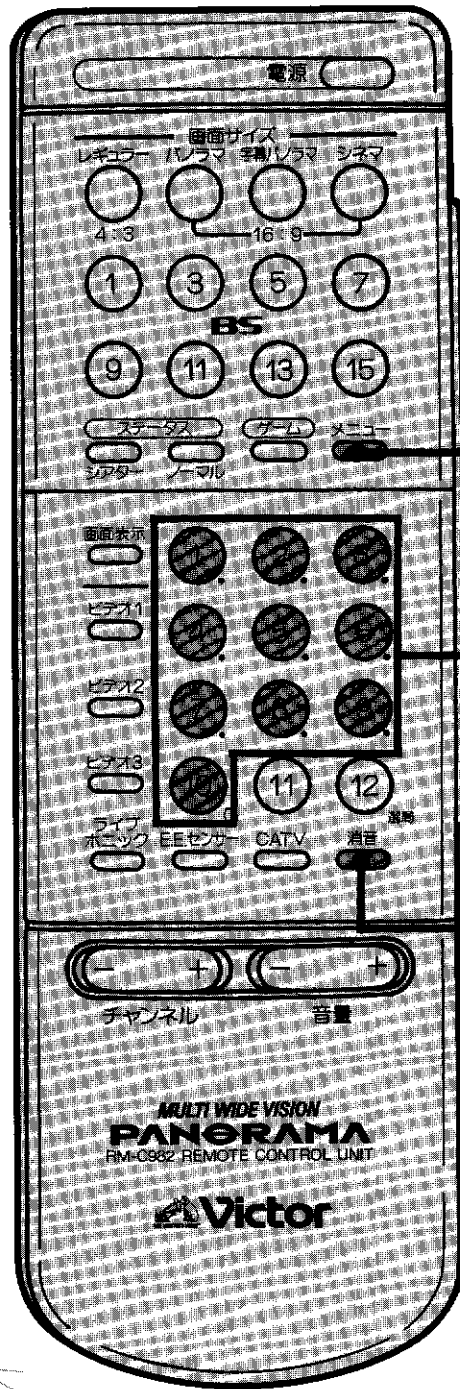
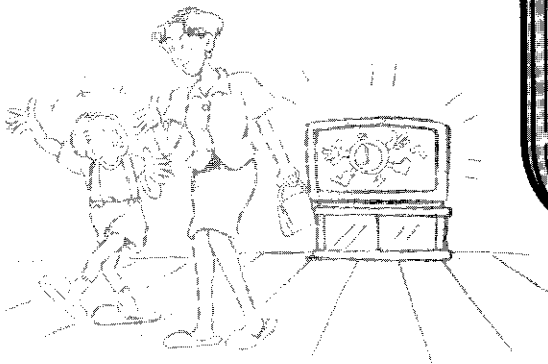
タイマー機能で

楽しむ(3)

おやすみの時刻やお出かけの時刻に合わせて、セットすると便利です。



設定した時刻になると電源が切れますので、おやすみ時の消し忘れ防止に、お子様の夜ふかし防止に、お出かけタイマーなどに使えます。



1
2,3,
4
数字ボタン

5

手順 3 補足

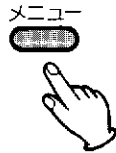
タイマーを停止させたいときは
手順3で「2. 停止」を選びます。
タイマーをふたたび動作させたいときは
手順3で「1. 動作」を選びます。

操作の途中でメニューボタンを押すと、最初のメニュー画面に戻ります。

毎日、予約した時刻にテレビを消す

メニュー²
おやすみタイマー

1 メニューボタンを押す



メニュー

1. おはようタイマー
2. おやすみタイマー
3. タイマー表示
4. 時計合わせ

メニュー を押すと次のページ

2 数字ボタンの②を押して「おやすみタイマー」を選ぶ



おやすみタイマー

午前 〇時〇〇分

停止

1. 動作
2. 停止
3. 変更

3 数字ボタンの③を押す



設定する項目は、黄色で表示

おやすみタイマー

— — 時 — 分

停止

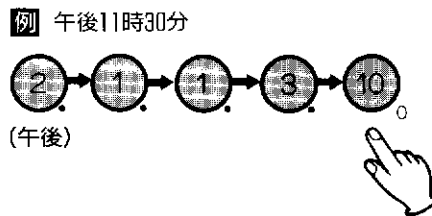
1. 午前
2. 午後

音量キー(—+)で項目を戻り・送り

「1. 動作」、「2. 停止」の使いかたは⑧ページ。

4 数字ボタンで予約したい時刻に合わせる

操作を間違えたときは、音量-ボタンを押すと、1つ前の操作に戻ります。



おやすみタイマー

午後 11時30分

停止

数字キーを押して下さい

音量キー(—+)で項目を戻り・送り

消音 を押すと終了します

5 消音ボタンを押す



おやすみタイマー

午後 11時30分

動作

数字キーを押して下さい

音量キー(—+)で項目を戻り・送り

消音 を押すと終了します

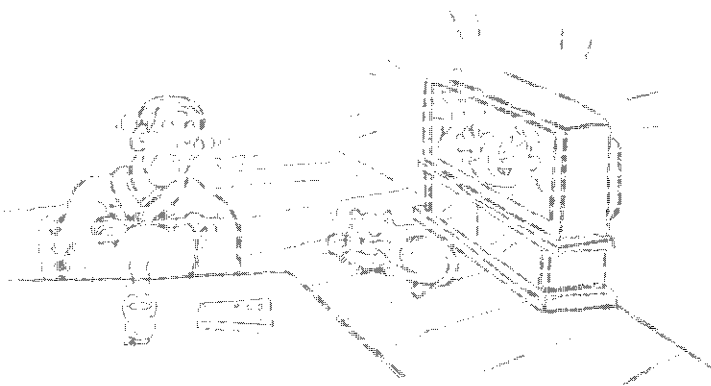
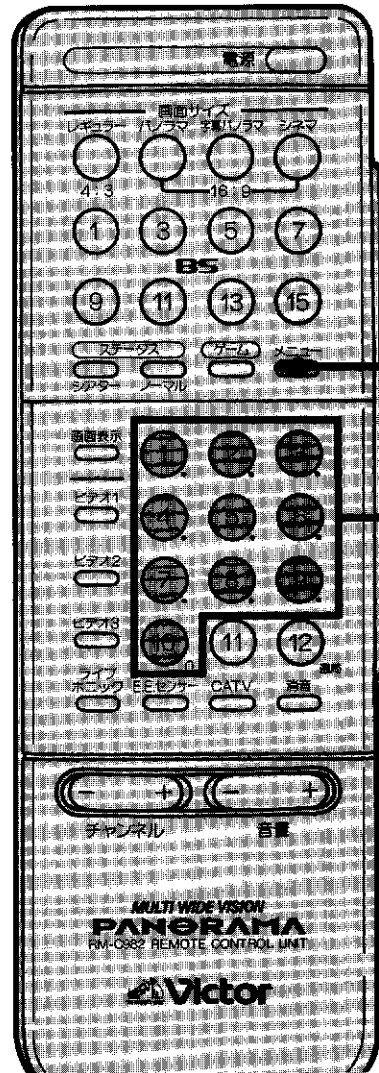
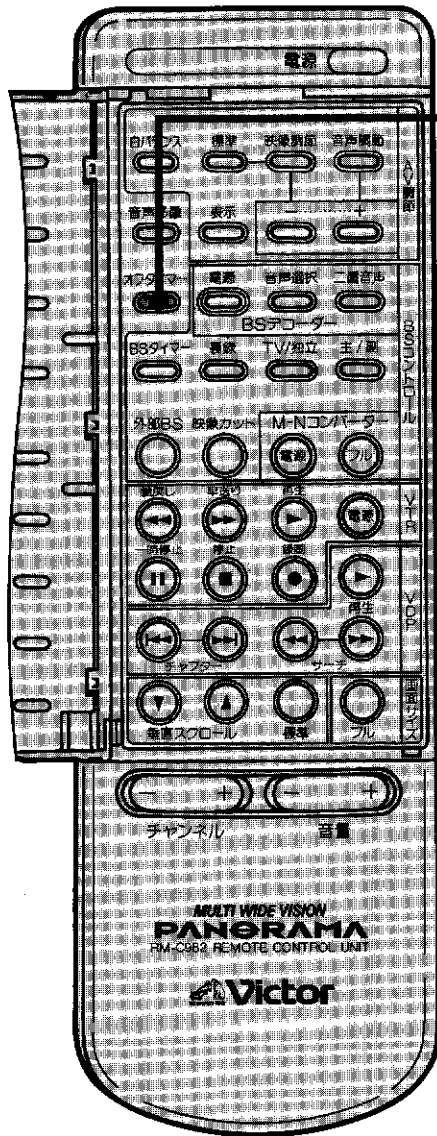
●予約した時刻になると電源が切れます。

いろいろな機能編

タイマー機能で楽しむ(おやすみタイマー)

タイマー機能で

楽しむ(4)




オフタイマーの残り時間を知りたいときは

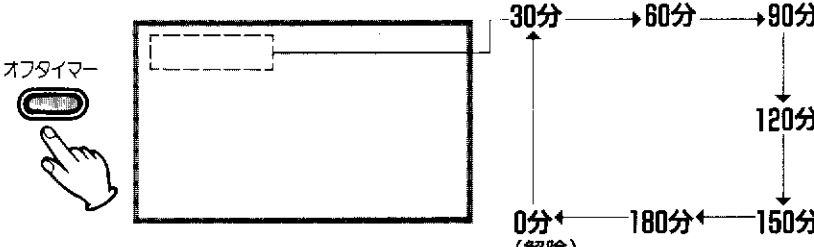
- オフタイマーボタンを押します。時間を変えたいときは、続けてボタンを押して時間を選び直します。
- 残り時間が3分以内になると、残り時間が画面に表示されます。

一定時間でテレビを消す

オフタイマーボタン

 30分単位でセットできます。
簡単操作のおやすみタイマーとして便利です。

1 オフタイマーボタンを何回か押して時間を選ぶ

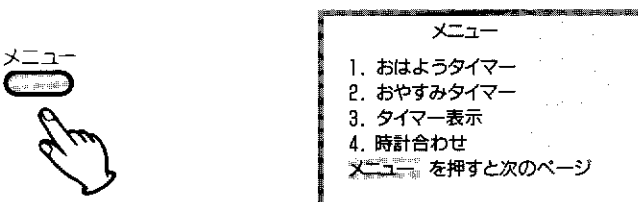


2 画面表示が数秒後に消えて、選んだ時間で電源が切れる

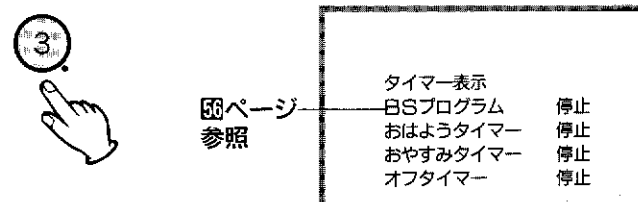
タイマーの予約状態をしらべる

メニュー3
タイマー表示

1 メニューボタンを押す



2 数字ボタンの③を押して「タイマー表示」を選ぶ

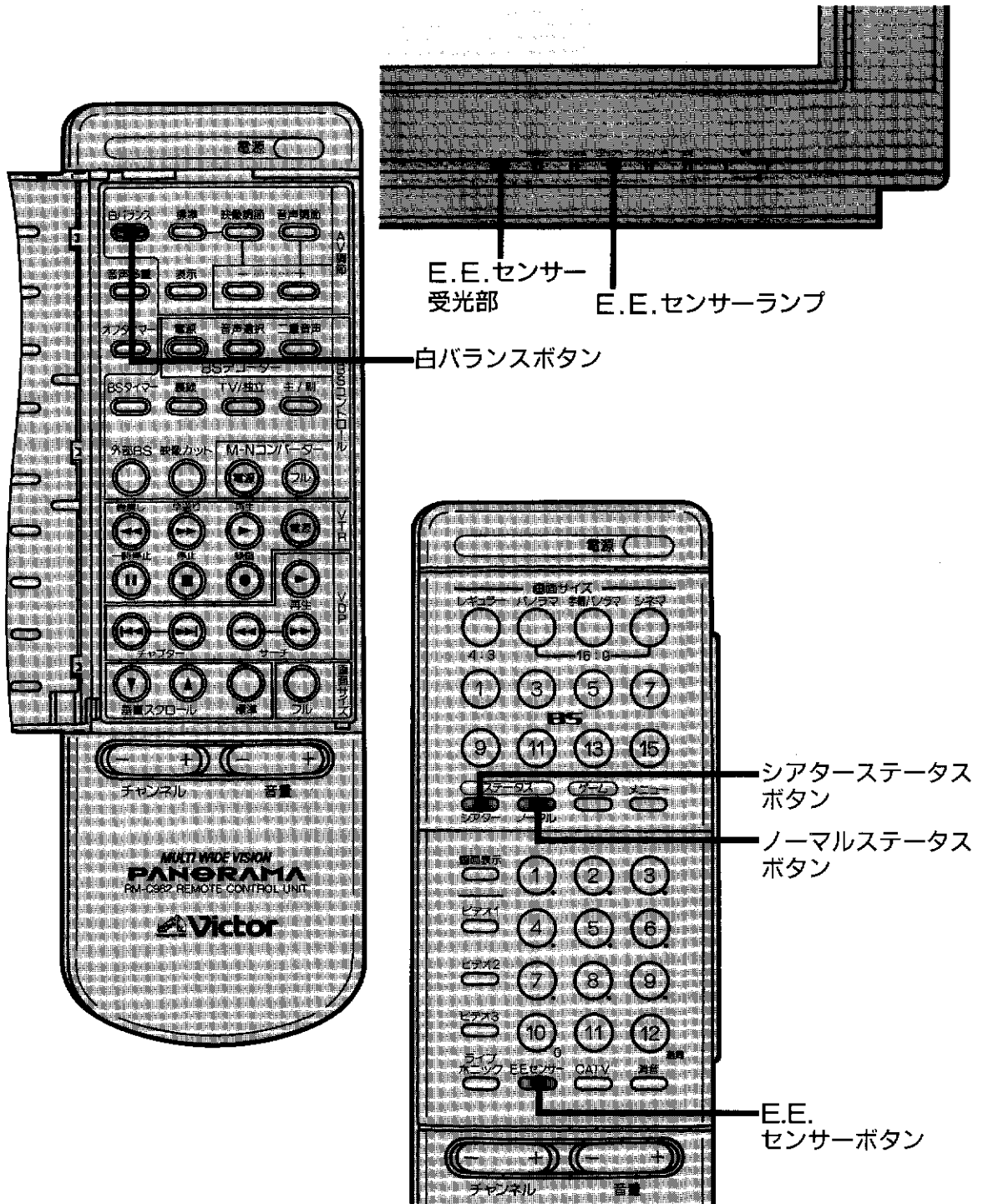


数秒間表示して終わります。

いろいろな機能編

タイマー機能で楽しむオフタイマー／タイマー表示

画面を調節する(1)



シアターステータスを上手に使うには

映画館では、外からの光の影響を受けないので、テレビより繊細な色彩が再現されます。テレビでも、映画館と同じ、しっとりやわらかい色彩を再現できるようにしたのが、シアターステータス機能です。シアターステータスを使って映画を鑑賞するときは、室内全体も次のように演出して、ホームシアターをお楽しみください。

室内を暗めにする

- カーテンやブラインドで、外からの光を遮断する。

- 天井の照明を消す。フロアライトなどで、光が画面に直接あたらないような照明を工夫すると、いっそう効果的。(画面の色に影響するので、蛍光灯は使わないでください。)

ビデオソフトに合わせて、画面の明るさを調節する

シアターステータスは、市販のビデオディスクやビデオテープを見るときに使うと、最も効果的です。ビデオソフトに最適なシアターステータスを調節し、それぞれシアターステータスとE.E.シアターにソフトメモリーさせておくとう便利です。

映画ソフトを見る

シアターステータスボタン

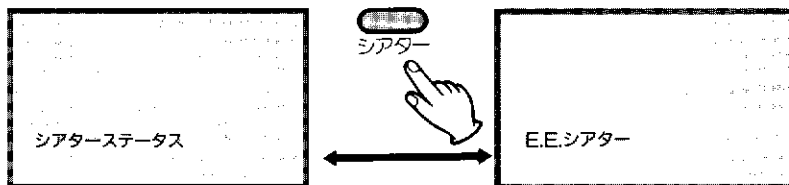
ビデオソフトを見るときは、シアターステータスにします。

映画館と同じ、しっとり奥行き感のある色彩が再現できます。

部屋の明るさに合ったシアター画面で見たいときには、E.E.シアターにします。



●シアターステータスとE.E.シアター、それぞれを好みの映像に調節して記憶させておくことができます。調節画面を記憶させる方法は87ページ。



(E.E.センサーが働き、E.E.センサーランプが点灯します。)



ご注意

ゲームポジション「オン」のときは「ゲームポジション中」の表示が出てシアターステータスの設定は変わりません。

映画を見終わったら

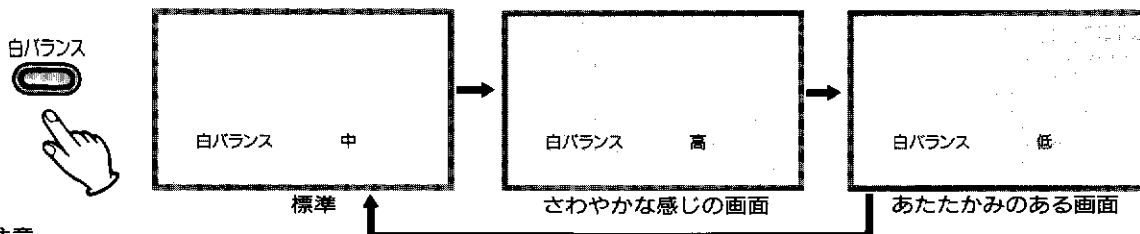
必ず、ノーマルステータスボタンを押して、普通の画面に戻してください。

あたたかみのある画面にする

白バランスボタン

画面が青っぽいと感じたとき「低」を選ぶと、あたたかみのある画面になります。

お好みの画面でご覧ください。



ご注意

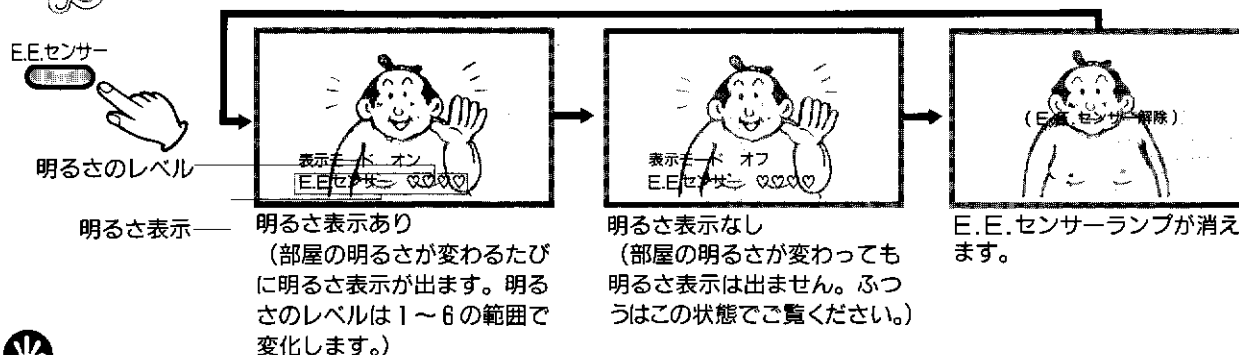
シアターステータスのときは「シアターステータス中」、E.E.シアターのときは「E.E.シアター中」、ゲームポジション「オン」のときは「ゲームポジション中」の表示が出て白バランスの設定は変わりません。

部屋の明るさに合った画面にする

E.E.センサーボタン

明るい部屋ではハッキリ、暗い部屋ではしっとり。部屋の明るさに合わせて画面の明るさを

自動的に調節します。目にやさしく節電にもなります。



ご注意

E.E.シアターのときは、E.E.センサーは解除できません。シアターステータスのときは、「シアターステータス中」の表示が出てE.E.センサーは働きません。

いろいろな機能編

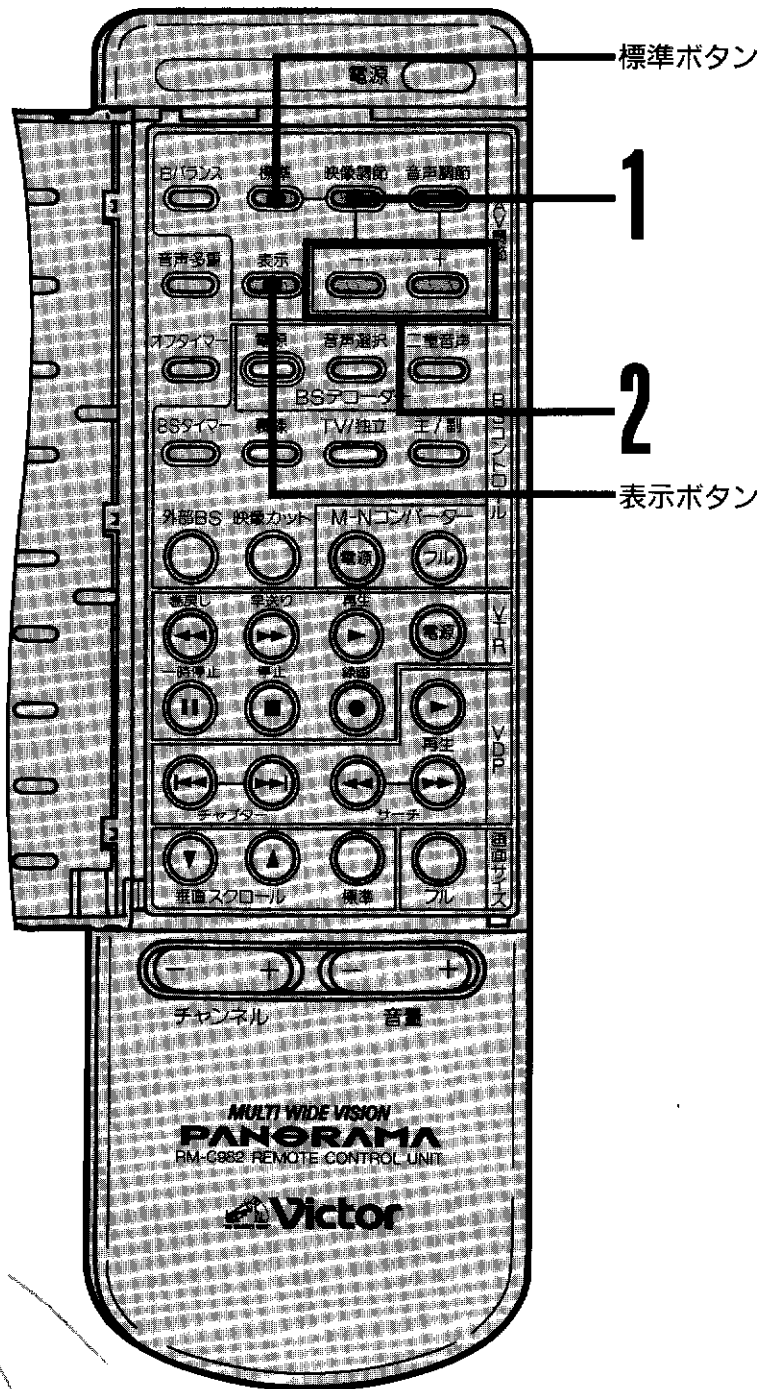
画面を調節する(映画ソフト/白バランス/E.E.センサー)

画面を調節する②



見やすい画面は好みや見る場所によって違うものです。調節するとみちがえるような画面になることがあります。

明るさ・濃さ・色など、お好みの画面でお楽しみください。



全部の調節表示を出して調節するには

1. 表示ボタンを押す
2. 映像調節ボタンを押し、調節したい項目の色を変える
3. ー、+ボタンで調節する
4. 表示ボタンを押す (終了)

ピクチャー	00
明るさ	00
色のこさ	00
色あい	00
画質	00

調節した画面を標準に戻すには

標準ボタンを押します。押すと工場出荷状態に戻ります。それぞれの項目の状態を数秒間表示します。

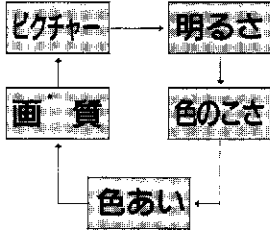
●調節した画面を記憶させておくときは次ページへ ▶

見やすい画面に調節する

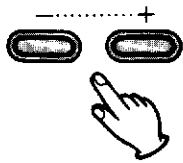
1 映像調節ボタンを押す



押すたびに変わります。



2 それぞれ、
-と+ボタンを
押して好みに合
わせる



3 数秒間、ボタンを
何も押さずにと
完了する

ピクチャー
見やすい映像の濃さに

ピクチャー -20
薄く

↔

ピクチャー +20
濃く

明るさ
見やすい明るさに

明るさ -20
暗く

↔

明るさ +20
明るく

色のこさ
見やすい色の濃さに

色のこさ -20
薄く

↔

色のこさ +20
濃く

色あい
自然な肌色に

色あい -20
赤っぽく

↔

色あい +20
緑っぽく

画質
好みの輪郭に

画質 -20
やわらか

↔

画質 +20
くっきり

▶

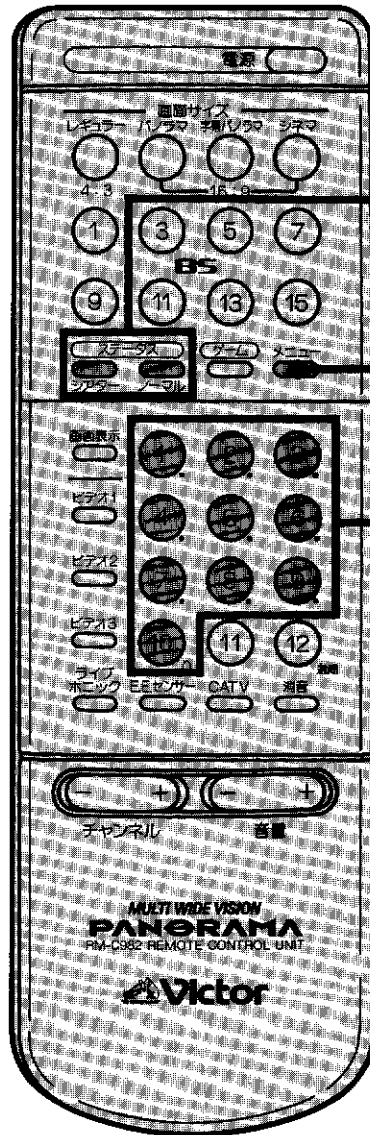
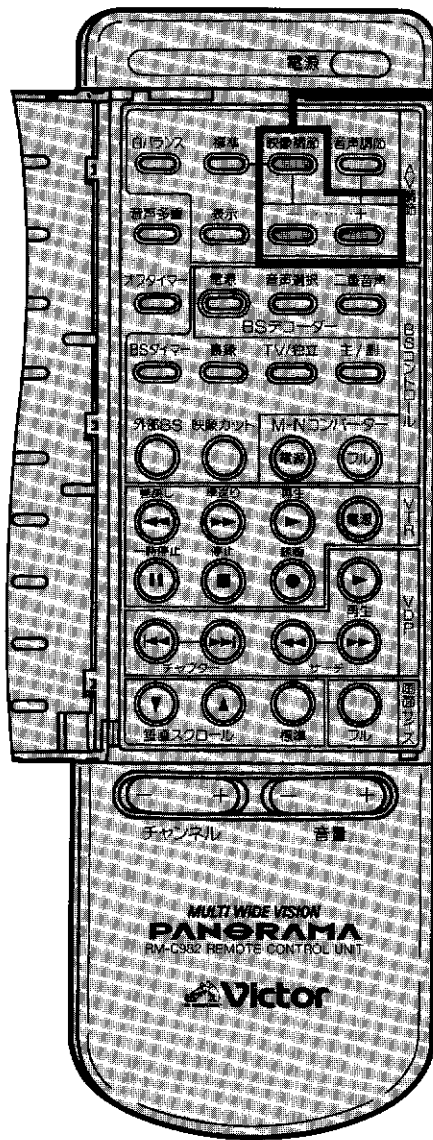
ピクチャーに戻る

いろいろな機能編
画面を調節する(映像調節)

画面を調節する(3)

ソフトメモリーを設定しておけば、ワンタッチで呼び出すことができます。

特徴ある映像ごとに画面の調節を記憶させておけば、後で呼び出すことができますので、いつも最適画面で楽しめます。

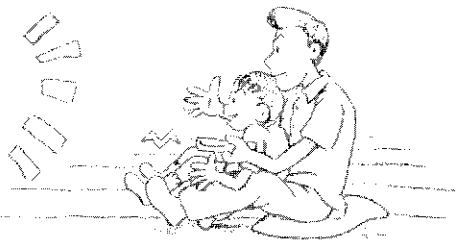


1

3

4,5

数字ボタン



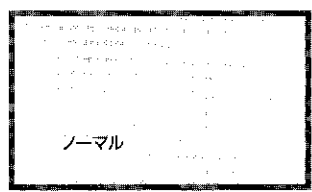
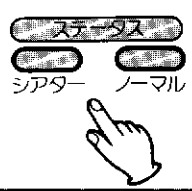
記憶させた調整値を標準値に戻したいときは

手順2で標準ボタンを押してから、手順3以降の操作をします。

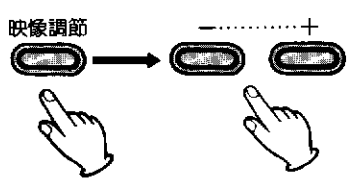
操作を間違えたときは、メニューボタンを押し、最初からやり直してください。

調節した明るさや色合いを記憶させる メニュー6
ソフトメモリー設定

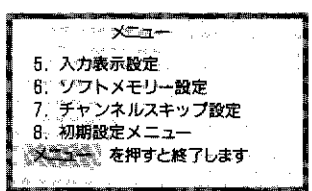
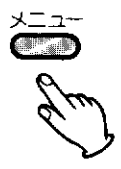
1 シアターステータスまたはノーマルステータスボタンを押す



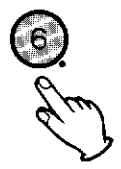
2 映像調節ボタンを使って、画面を好みの調節状態にする
調節のしかたは、86ページ。



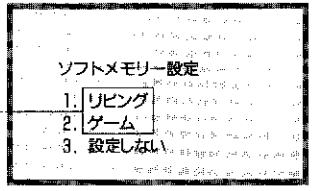
3 メニューボタンを2回押す



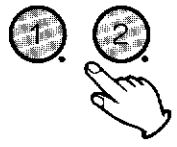
4 数字ボタンの⑥を押して、「ソフトメモリー設定」を選ぶ



シアターステータスの画面にしていたときは、シアターステータス、E、E.シアターと表示されます。



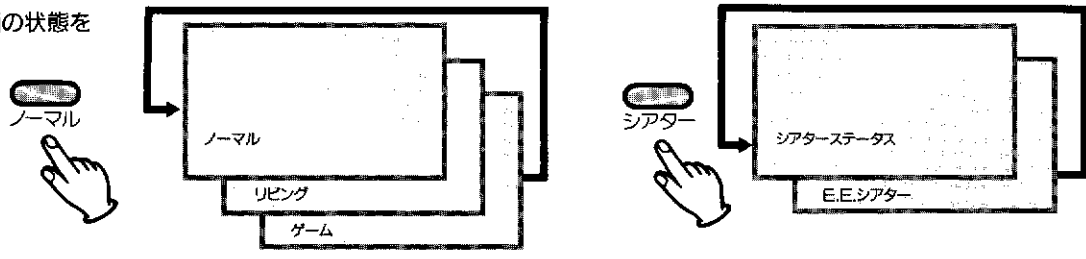
5 数字ボタンの①または②を押し、記憶させるステータスを選ぶ
数秒間表示して記憶が終わります。



記憶させたくないときは、数字ボタンの③を押します。

記憶させた調節画面を呼び出す ノーマルステータスボタン
シアターステータスボタン

記憶させた画面の状態を表示させます。



注意

ノーマルステータスのノーマルには、調整値を記憶させることはできません。

■ ゲームポジションの映像を変えたいときは、ゲームポジションを解除してから、ノーマルステータスボタンを押し調節します。記憶させる場合は、手順 4 でゲームを選びます。

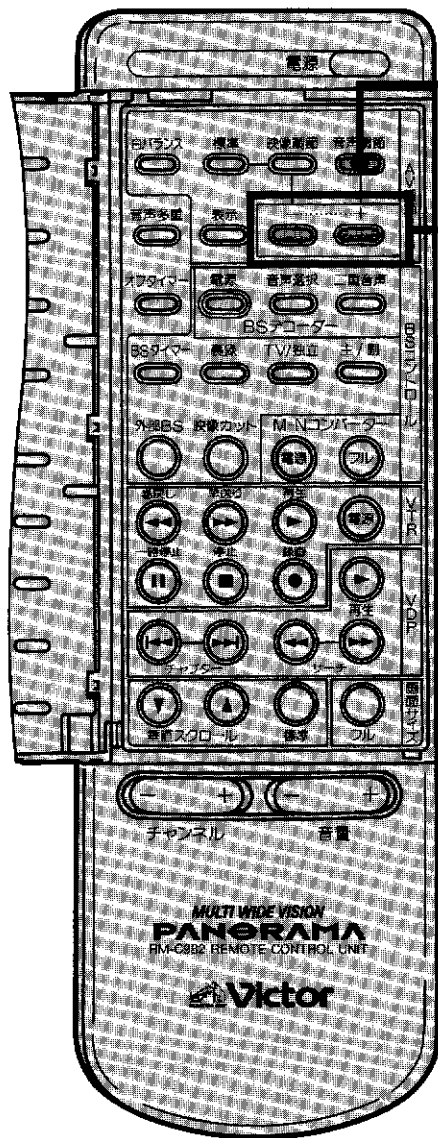
いろいろな機能編
画面を調節する(ソフトメモリー設定)

音を調節する(1)

お部屋の条件や番組に合わせて、聞きやすい音を探してください。

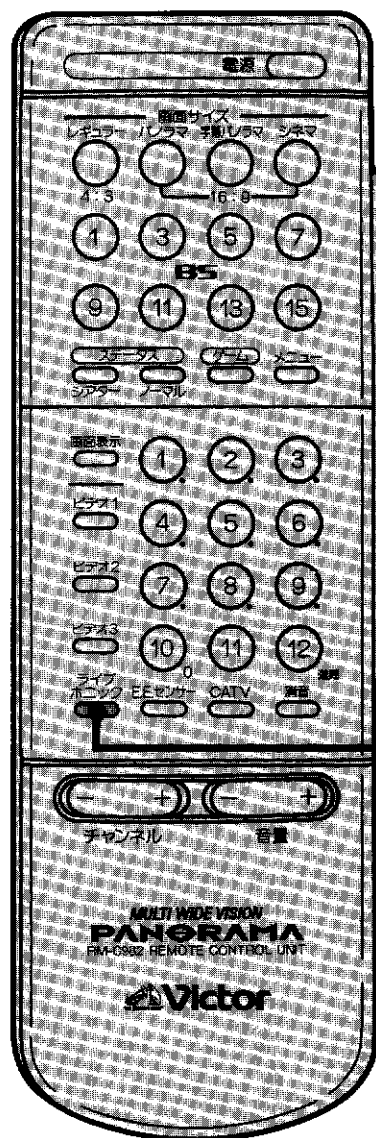


音はお部屋の広さや家具の配置、テレビの場所などによって変わってしまうものです。もっと良い音で楽しむには、聞きやすい音に調節することが必要です。



音声調節
ボタン

-,+
ボタン



ライブ
ホニック
ボタン

番組ごとの音質調節例

- ドラマやニュース番組は低音・高音とも弱めにすると声のはっきり聞こえます。
- 音楽番組では、演歌は低音を強めに、クラシックは高音を強めに、ロックやポップスは低音・高音とも強めにするとメリハリのある音で楽しめます。

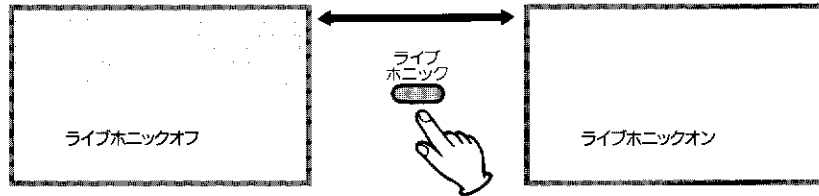
もっといい音で楽しみたいときは

- オーディオシステムから音を出してみてください。詳しくは88ページ。

臨場感のある音を楽しむ

ライブホニックボタン

ステレオ音声のとき、テレビに内蔵しているスピーカーからの音を変化させて臨場感のある音をお楽しみいただけます。

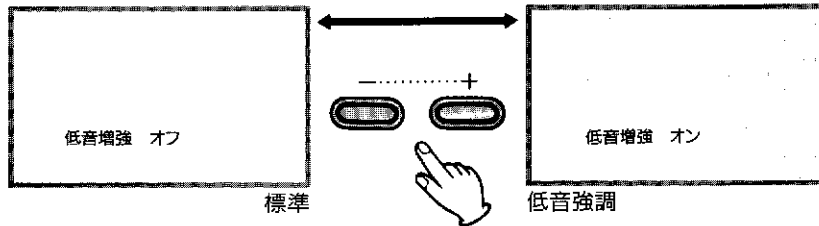


聞きやすい音に調節する

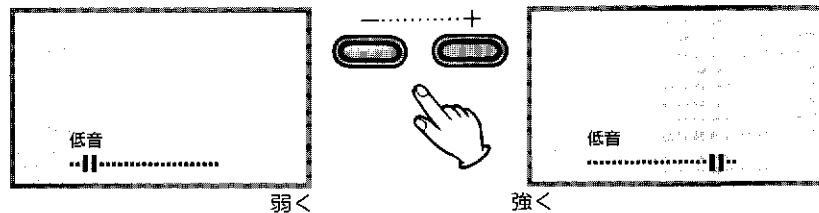
音声調節ボタン

ボタンを数秒間押さずにおくと調節が自動的に終わります。

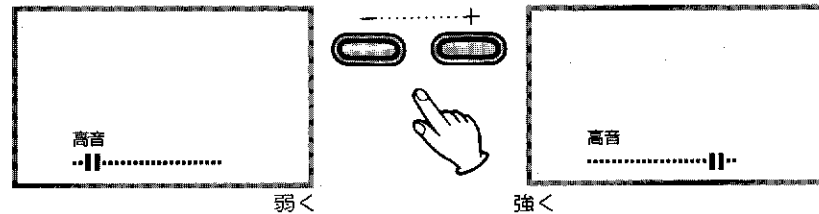
低音増強



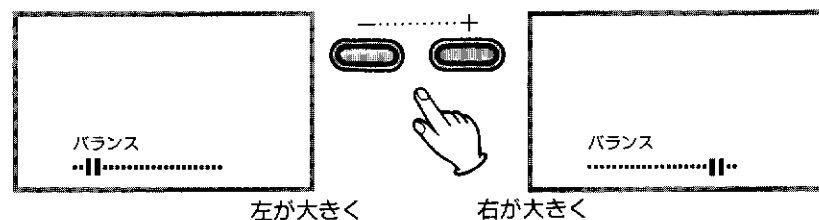
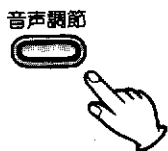
低音



高音



バランス



中央から聞こえるように

低音増強に戻る

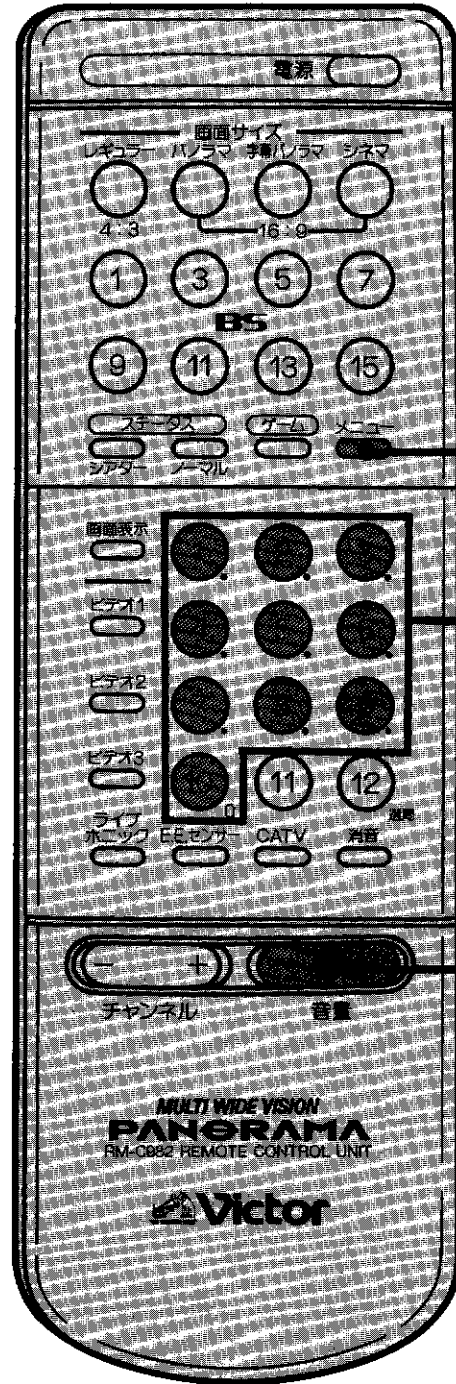
いろいろな機能編

音を調節する(ライブホニック/音声調節)

音を調節する(2)



電話中の人に迷惑にならない程度の音の大きさに調節しておくことでよいでしょう。



1

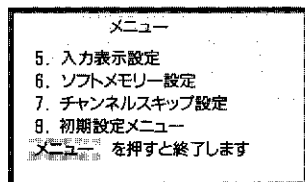
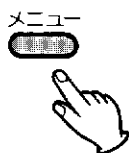
2,3,5
数字
ボタン

4

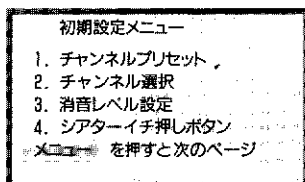
操作を間違えたときはメニューボタンを押し、最初からやり直してください。

消音ボタンの音量を設定する 初期設定メニュー 3 消音レベル設定

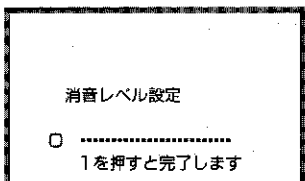
1 メニューボタンを2回
押す



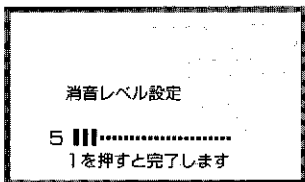
2 数字ボタンの8を押して「初期設定メニュー」を選ぶ



3 数字ボタンの3を押して「消音レベル設定」を選ぶ



4 音の大きさを調節する



5 数字ボタンの1を押して、設定したレベルを記憶させる



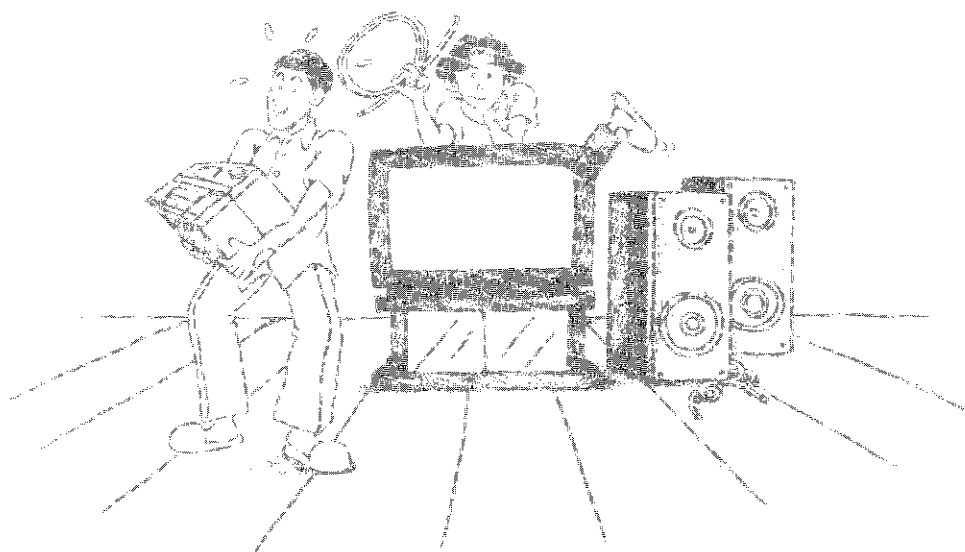
画面表示が消えて設定が完了します。

いろいろな機能編

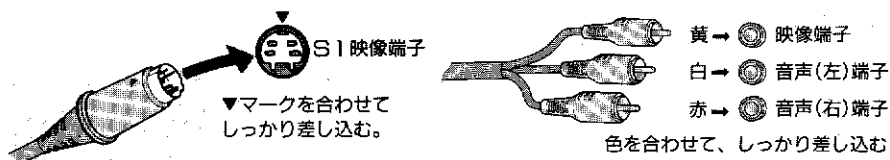
音を調節する(消音レベル設定)

PART 2 システムアップ編

ビデオオーディオ機器とのシステムアップで、
楽しみはさらに広がります。



ケーブルのつなぎかた



接続するときのご注意

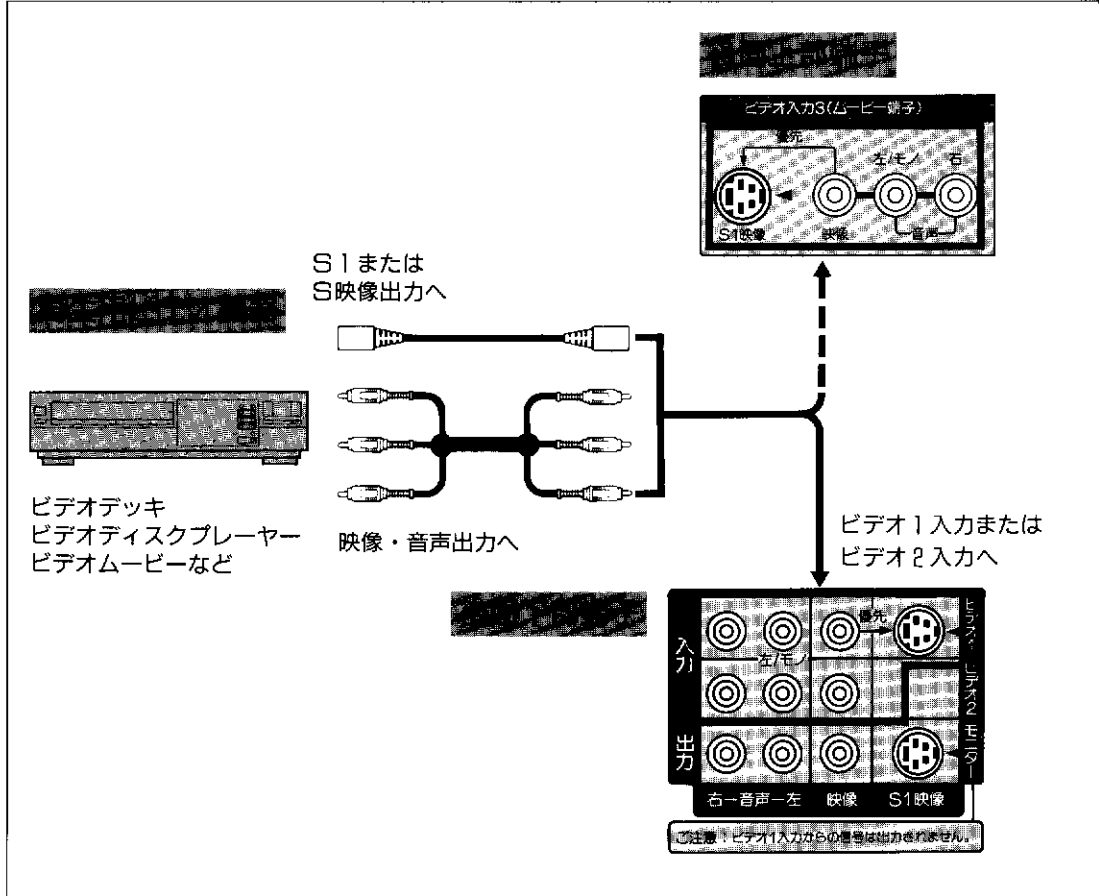
- それぞれの機器の電源を切ってからつないでください。
- 各説明は一例ですので、実際に使うときは、接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 複数の機器をつなぐと、干渉により互いの画面や音に模様や雑音が出る場合があります。そのときは機器を遠ざけるか、使わない機器の電源を切ってください。
- 接続ケーブルについては、[102](#)ページをご覧ください。

録画済みテープやビデオソフトを再生する

ビデオ機器のつなぎかた

ビデオ1/ビデオ2/ビデオ3入力端子

●電源を切ってからつなぎます。(92、93ページもお読みください。)



再生のしかた

1 ビデオ1 (またはビデオ2、ビデオ3) ボタンを押す

- 音声信号がモノラルの場合は、左/モノ端子につないでください。
- S1映像端子が優先しますので、映像端子を使うときはS1映像端子にはつながないでください。

2 ビデオ機器で再生の操作をする

注意
ビデオ信号が入力されないときの画面はビデオ入力を選んでいても、ビデオ信号が入力されていないときは、ビデオ1/ビデオ2/ビデオ3の画面表示または92ページで設定した入力名が出たままになっています。

S映像信号とは
従来の映像信号を輝度信号と色信号に分離した信号です。
2つの信号が互いに影響を受けないため、鮮明で色にじみの少ない映像が楽しめます。
S-VHS方式のビデオデッキ、ビデオムービーに採用されています。

S1映像信号とは
S映像信号に、MUSE-NTSCコンバーターのフルモード(縦長の映像)を自動判別するための識別信号を重畳させた信号です。
S1映像端子のあるビデオデッキで録画したハイビジョン番組を再生すると、自動的にフルサイズの横長画面になります。

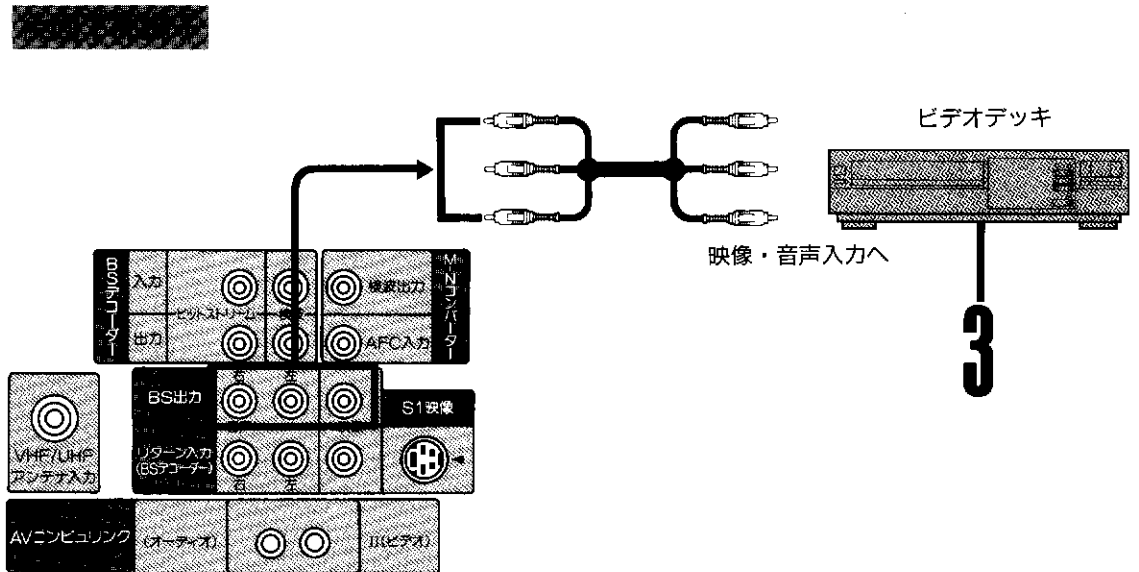
録画済みテープやビデオソフトを再生する

BSを録画する(BS裏録)

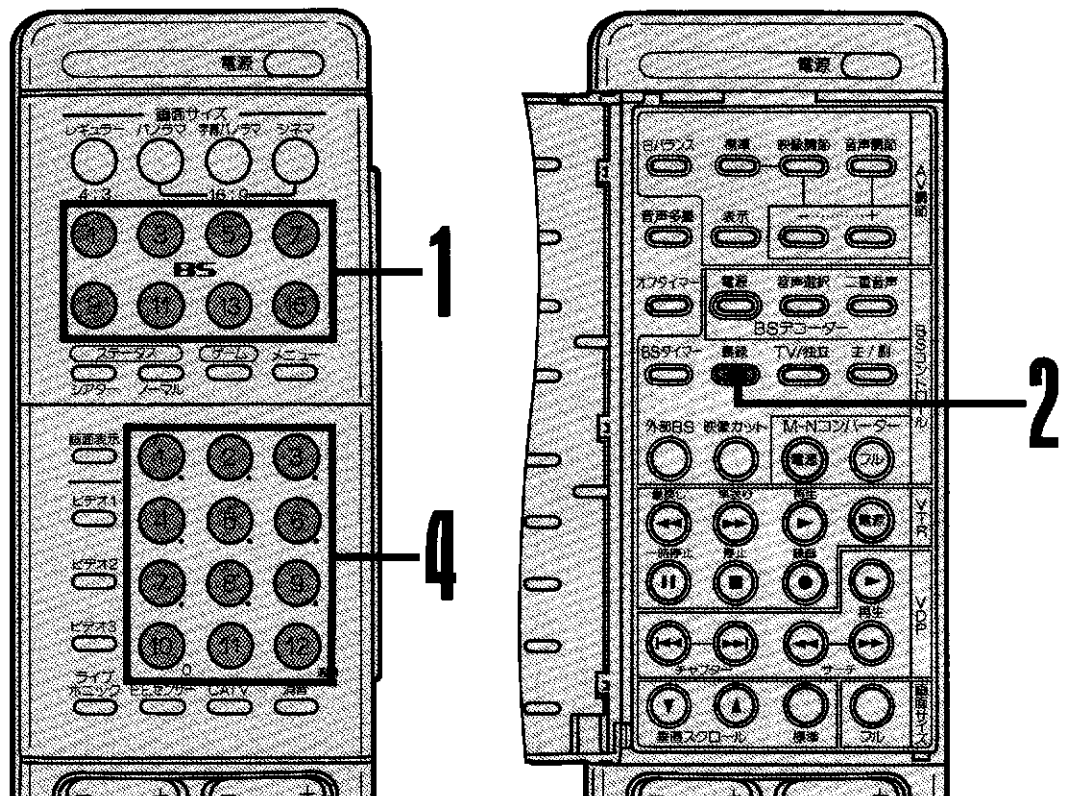


お手持ちのビデオデッキにBSチューナーがなくても、このテレビにつなげばBSが録画できます。

- 電源を切ってから図のようにビデオデッキをつなぎます。(92、99ページもお読みください。)



BSチューナー内蔵ビデオデッキでBSを録画するときは、ビデオデッキ側で録画の操作をしてください。



BSを録画しながらテレビ放送を見る(裏録)



「BSの番組も見たいし、ふつうのテレビ番組も見たい」といったときには、BSをビデオデッキで録画しておいて、後でゆっくりお楽しみください。

1 録画したいBSを映す
音声の選びかたは10ページ。

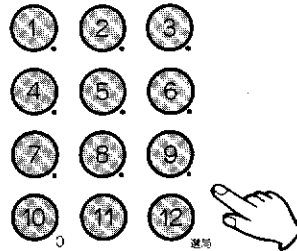
2 裏録ボタンを押す
(本体のBS裏録ランプが赤く点灯します。)



3 ビデオデッキを外部入力モードにして、録画状態にする



4 テレビ放送を選ぶ

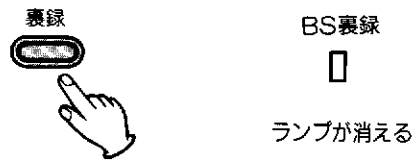


ご注意

テレビ放送を録画したいときは、ビデオデッキ側でチャンネルを選んで通常の録画をしてください。詳しくはビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

録画終了または中止する場合

ビデオデッキ側で録画を終了させ、裏録ボタンを押します。



BSを録画する(BS裏録)

BS裏録を入にすると

- BS裏録時の誤操作を防ぐため、チャンネル、テレビ/独立音声、主/副の切り換えができなくなります。
BSチャンネルやBS音声を変えようとする、画面に「BSチャンネルロック中」と表示されます。
- BS出力端子に接続している場合は、リモコンで電源を切っても、BS受信部は動作していますので節電しながら録画できます。
BS電源オートオフ機能が「オン」に設定されている場合も出力されます。



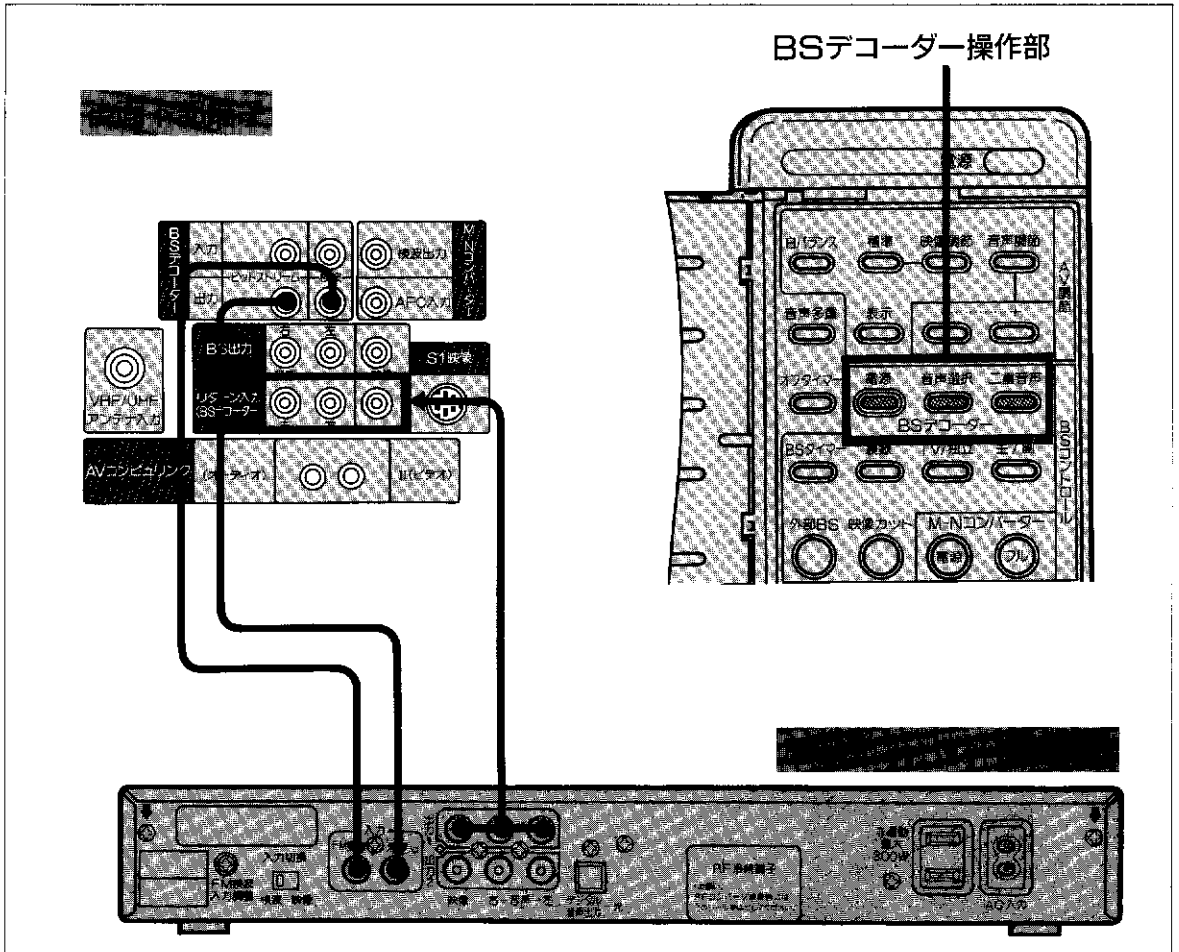
ご注意

録画中はBS裏録を解除しないでください。解除していると、誤ってBSチャンネルを変えたとき、録画中の画面が変わってしまいます。

BS有料放送を見る

BSデコーダーリターン入力端子
ビットストリーム出力端子／検波出力端子

●電源を切ってからつなぎます。(92、93ページもお読みください。)



操作のしかた

- 1 BSデコーダーの電源を入れる
- 2 テレビ側でBS有料放送のチャンネルを選ぶ
- 3 BSデコーダー側で音声を選ぶ

- BS有料放送でない放送を見ているときは、BSデコーダーの電源を切にしてもかまいません。
- リモコンふた内にあるBSデコーダー操作部のボタンを使って、BSデコーダーの操作ができます。

BSデコーダーとは

BS有料放送(JSB、SDAB)のスクランブルを解除する機器です。
BSデコーダーについてはJSB代理店(主に電器店)にご相談ください。
また、その操作についてはBSデコーダーの取扱説明書をご覧ください。

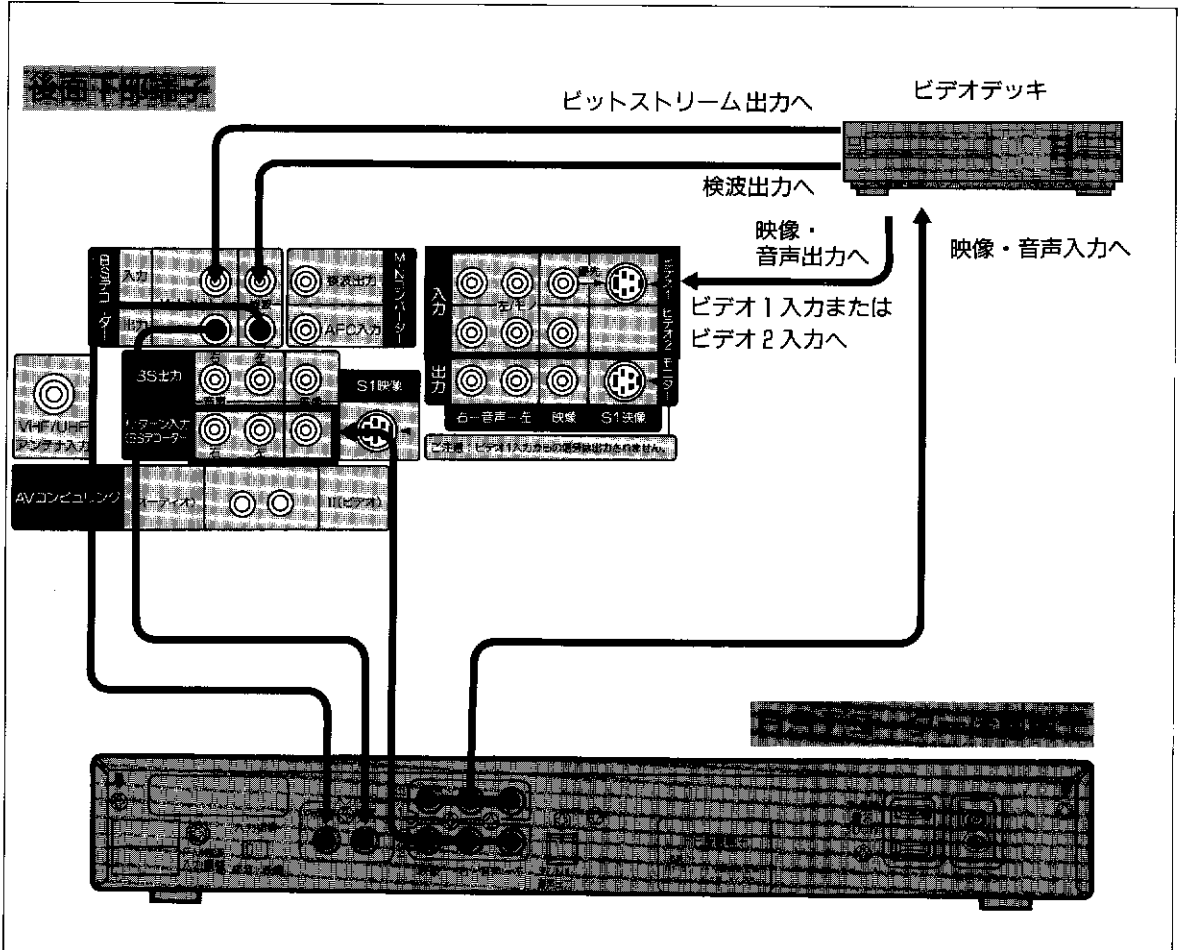
BS有料放送が映らないときには

- オートリターンの設定が「1. BSデコーダー(とM-N)」になっているかどうか確認してください。オートリターンの設定については90ページ。
- マンションなど共聴システムのときは、BSデコーダーを接続しても見ることができない場合があります。販売店や管理人などにお確かめください。

BS有料放送を 見る／録画する New 2002

BS有料放送を録画する——BSチューナー内蔵ビデオデッキの場合

●電源を切ってからつなぎます。(92、93ページもお読みください。)



操作のしかた

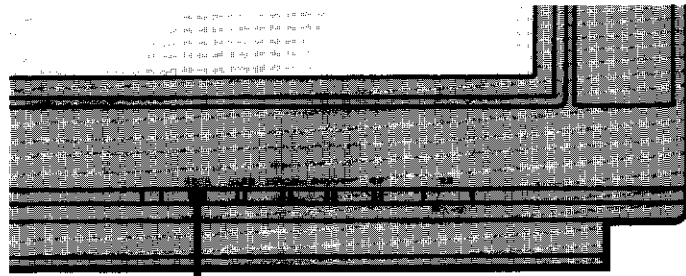
- 1 BSデコーダーとビデオデッキの電源を入れる
- 2 ビデオデッキ側でBS有料放送のチャンネルを選ぶ
- 3 BSデコーダー側で音声を選ぶ
- 4 外部BSボタンを押し「外部BS入力オン」にする
- 5 ビデオデッキを録画状態にする

●BS有料放送を録画中に普通のテレビ放送や他のBSを見たいときは、手順5の次にテレビ側で見たいチャンネルを選びます。

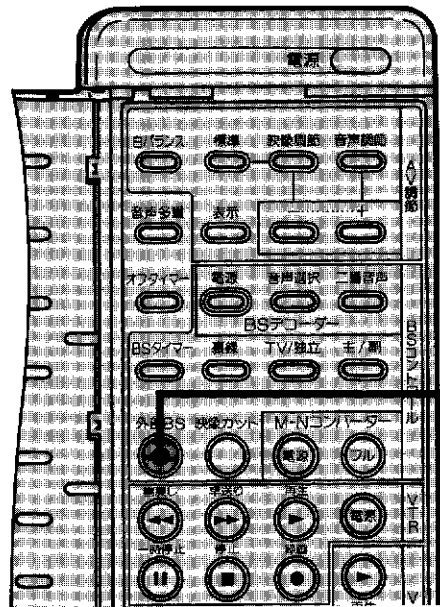
1台のBSデコーダーを、本機とBSチューナー内蔵ビデオデッキの両方で使う場合の接続方法です。BS有料放送を見るときと録画するときとで、接続をし直す必要がなくなります。

ご注意

●外部BSオフのまま、テレビのチャンネルを有料放送から他のBSに変えると、録画中の映像が一瞬乱れます。必ず外部BSをオンにしてからチャンネルを変えてください。



外部BSランプ



外部BSボタン

BS有料放送を見る／録画する

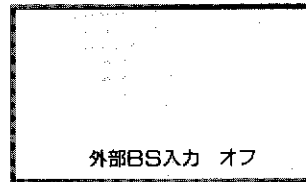
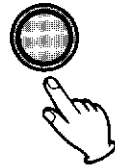
外部BSボタンの働きと操作

外部BSボタンは、BSデコーダーが信号を受けるときに、テレビ側とビデオデッキ側のどちらのBSチューナーを使うかを定めるためのボタンです。2つのBSチューナーを切り換えることによって、1台のBSデコーダーをテレビ側とビデオデッキ側の両方で使うことができます。

テレビ側でBSデコーダーを使うとき

(〔例〕テレビでBS有料放送を見る)：
外部BSボタンを押して、「外部BS入力オフ」にします。

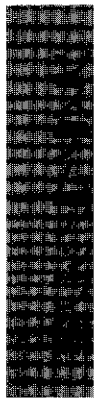
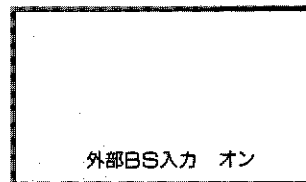
外部BS



ビデオデッキ側でBSデコーダーを使うとき

(〔例〕ビデオデッキで有料放送を裏録する)：
外部BSボタンを押して、「外部BS入力オン」にします。

外部BS



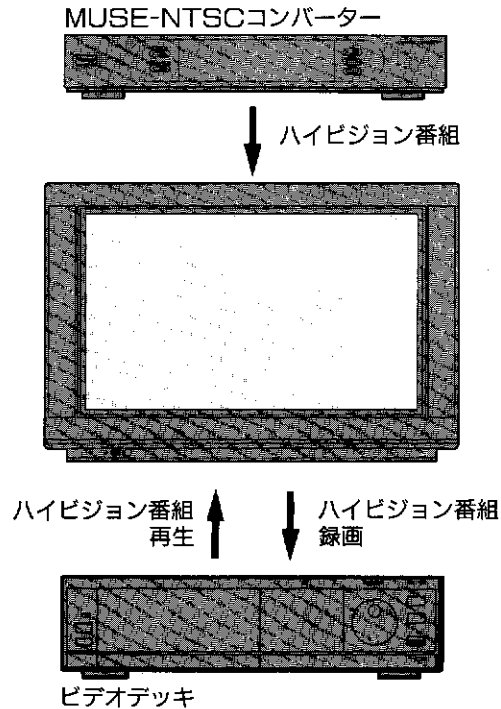
ハイビジョン番組を見る／録画する(1)

別売のMUSE-NTSCコンバーターをつないで



BS9チャンネルで、映画・スポーツ・ドラマ・ドキュメントなど毎日7時間〜11時間試験放送されているハイビジョン番組をお楽しみいただけます。

ハイビジョン番組を楽しむには



MUSE-NTSCコンバーターの録画モードは、「フル」「ワイド」「ズーム」の3種類あります。ハイビジョン番組を録画する場合は、通常フルモードにします。ただし、現行のテレビで再生すると縦長の映像になります。詳しくはMUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書をご覧ください。

ハイビジョン放送について

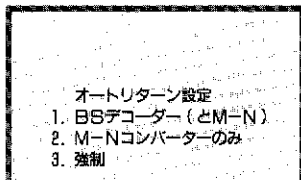
「次世代メディア」と呼ばれ、今後に大きな期待が寄せられているハイビジョン放送。これは、NHKが東京オリンピック後から開発を進めていたもので、現行方式525本の走査線を2倍以上

の1125本に増やしたため、画像がいちだんと鮮明になりました。映像信号の周波数帯域も大幅に広がり、画像のきめ細かさは従来の5倍にもなります。さらに、画面の縦横比も、従来の4:3から16:9へ。ワイドな画面は、奥行きと臨場感に優れています。

オートリターンの設定

リターン入力端子に機器をつなぐときには、オートリターンの設定をします。

- 1 メニューボタンを2回押す
- 2 「8. 初期設定メニュー」を選ぶ
- 3 メニューボタンを押して、初期設定メニューの2ページ目を表示する
- 4 「6. BS設定メニュー」を選ぶ
- 5 「1. オートリターン設定」を選ぶ



6 つなぐ機器に合わせて1~3のどれかを選ぶ

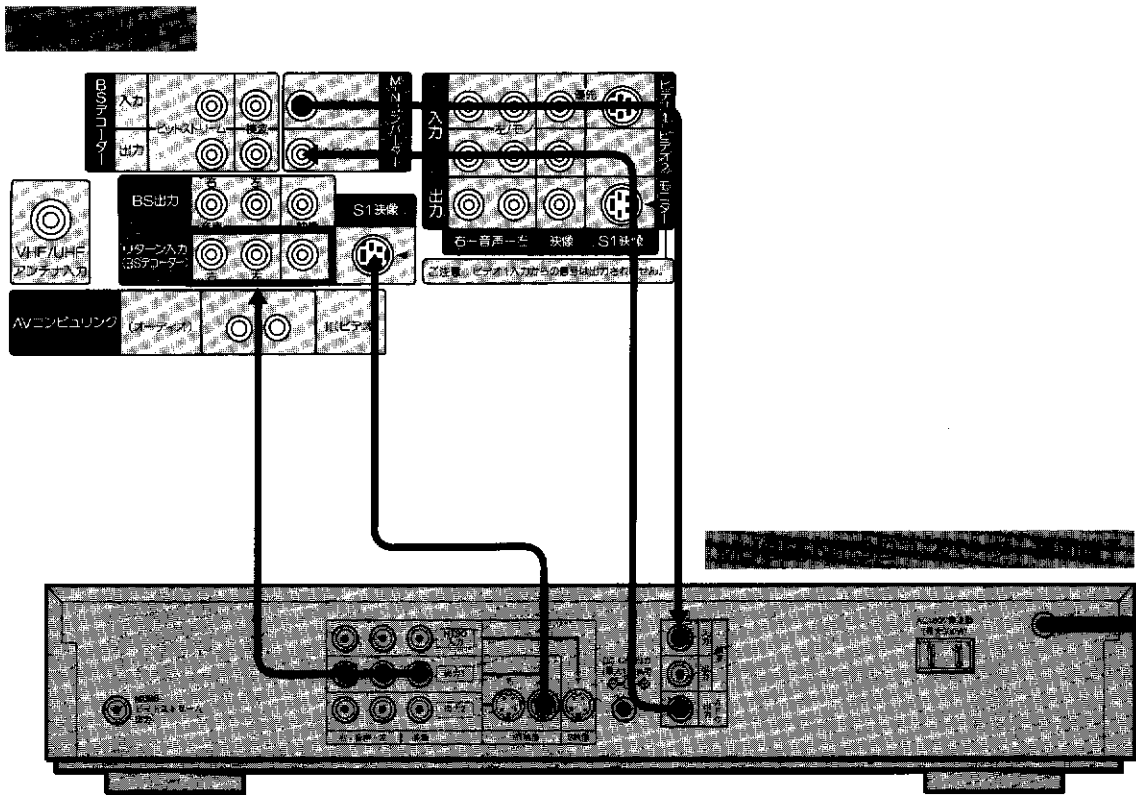
- 「1. BSデコーダー(とM-N)」:
BSデコーダーをつなぐとき。またはBSデコーダーとMUSE-NTSCコンバーターの両方をつなぐとき。
- 「2. M-Nコンバーターのみ」:
MUSE-NTSCコンバーターだけをつなぐとき。
- 「3. 強制」:
BSデコーダーをつないで、BSの音声をBSデコーダーだけで切り換えるとき。(BSデコーダーの電源はBS有料放送以外でも入れておきます。)

ハイビジョン番組を見る

ハイビジョン番組を受信するには、ハイビジョン放送の信号（MUSE信号）を現行のテレビ放送の信号（NTSC信号）に変換するための「MUSE-NTSCコンバーター」を接続します。ビクター製「HV-MC500」などをご使用ください。

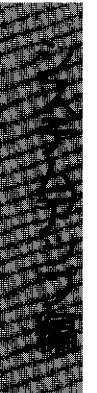
●電源を切ってからつなぎます。（92、93ページもお読みください。）

例 MUSE-NTSCコンバーターHV-MC500との接続



●つないだあと、50ページの手順に従ってオートリターンの設定を行ってください。

ハイビジョン番組を見る／録画する



操作のしかた

- 1 テレビとMUSE-NTSCコンバーターの電源を入れる
- 2 ハイビジョン番組のチャンネルを選ぶ
- 3 MUSE-NTSCコンバーターでフルモードを選ぶ
- 4 MUSE-NTSCコンバーターで音声を選ぶ

- 当社製MUSE-NTSCコンバーター（HV-MC500など）をS1映像入力端子を通してつなぐと、S信号にフルモード識別信号が入っているので、画面は自動的にフルサイズになります。このとき、画面サイズの変更はできません
- お手持ちのMUSE-NTSCコンバーターがフルモード自動判別に対応されていない場合は、手順4の次に画面サイズフルボタンを押してご覧ください。
- MUSE-NTSCコンバーターの操作については、MUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書をご覧ください。

 **ご注意**

フルモードでご覧になる場合、画面の上下が一部欠けることがあります。これはMUSE→NTSCの方式変換により発生するためです。

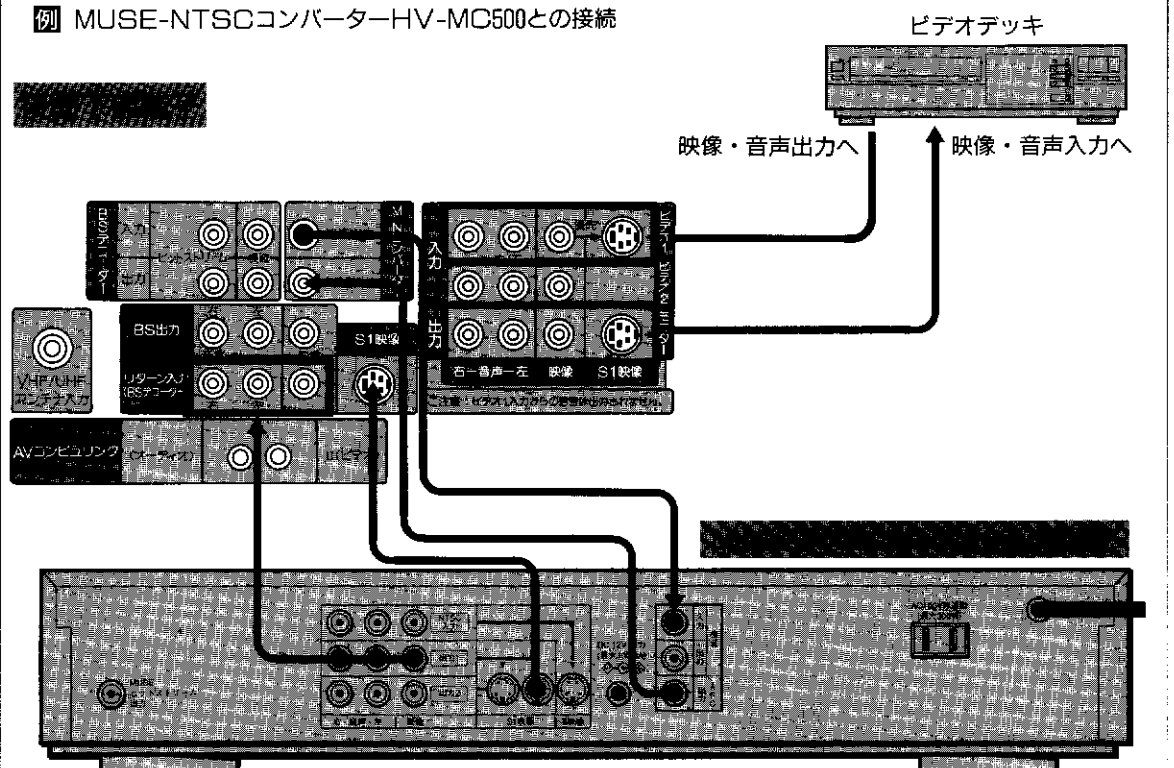
ハイビジョン番組を見る／録画する

ハイビジョン番組を録画する

BSチューナーなしのビデオデッキの場合

●電源を切ってからつなぎます。(92、93ページもお読みください。)

例 MUSE-NTSCコンバーターHV-MC500との接続



●つないだあと、90ページの手順に従ってオートリターンの設定を行ってください。

録画のしかた

- 1 テレビとMUSE-NTSCコンバーターの電源を入れる
- 2 ハイビジョン番組のチャンネルを選ぶ
- 3 MUSE-NTSCコンバーターでフルモードを選ぶ
- 4 MUSE-NTSCコンバーターで音声を選ぶ
MUSE-NTSCコンバーターで選んだ音声が録画されます。
- 5 ビデオデッキの電源を入れる
- 6 ビデオデッキを外部入力モードにして録画する

再生のしかた

- 1 テレビのビデオ1ボタンを押す
- 2 ビデオデッキを操作して再生する

●MUSE-NTSCコンバーターのワイドモードで録画した画面は、上下に黒い帯が出ます。テレビの画面サイズシネマボタンを押し、16:9の画面にしてご覧ください。

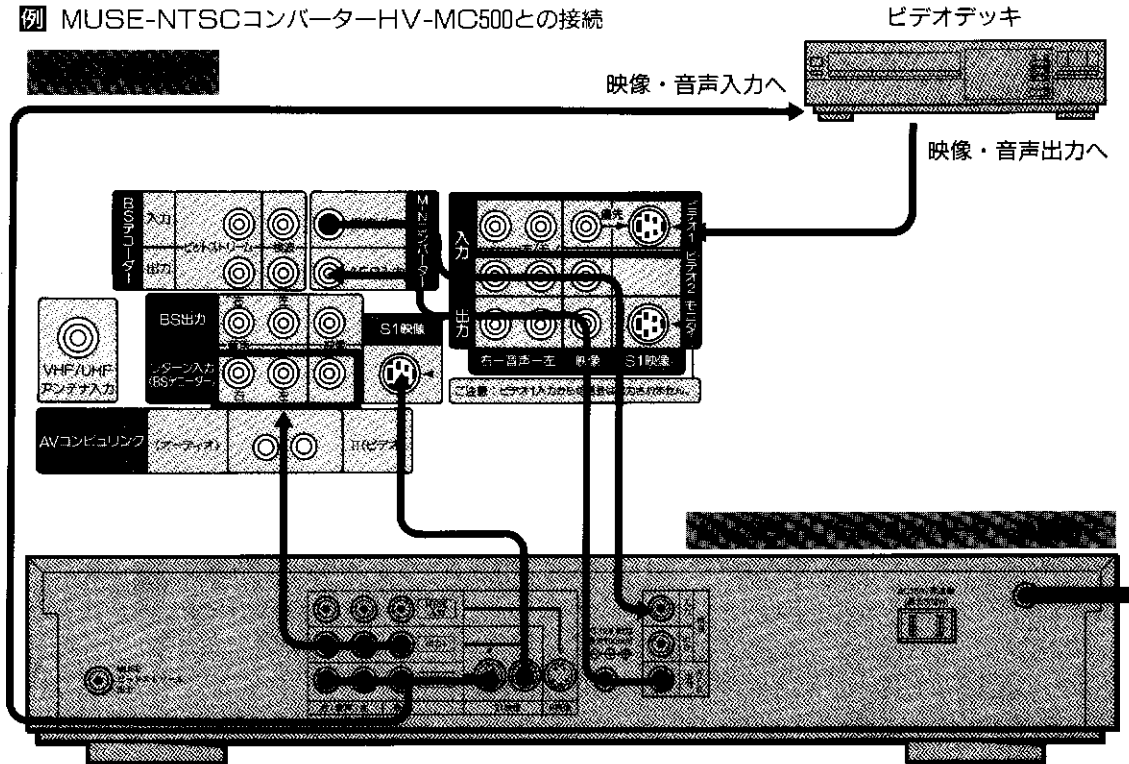
●AV-24X3の場合、モニター出力のS1映像端子からは、ビデオ入力3またはリターン入力のS1映像端子から入力した信号のみを出力します。

ハイビジョン番組を録画する

BSチューナー内蔵ビデオデッキの場合

●電源を切ってからつなぎます。(92、93ページもお読みください。)

例 MUSE-NTSCコンバーターHV-MC500との接続



●つないだあと、90ページの手順に従ってオートリターンの設定を行ってください。

ハイビジョン番組を見る／録画する

録画のしかた

- 1 テレビとMUSE-NTSCコンバーターの電源を入れる
- 2 テレビでハイビジョン番組のチャンネルを選ぶ
- 3 MUSE-NTSCコンバーターでフルモードを選ぶ
- 4 MUSE-NTSCコンバーターで音声を選ぶ
MUSE-NTSCコンバーターで選んだ音声が録画されます。
- 5 ビデオデッキの電源を入れる
- 6 ビデオデッキを外部入力モードにして録画する

再生のしかた

- 1 テレビのビデオ1 ボタンを押す
- 2 ビデオデッキを操作して再生する

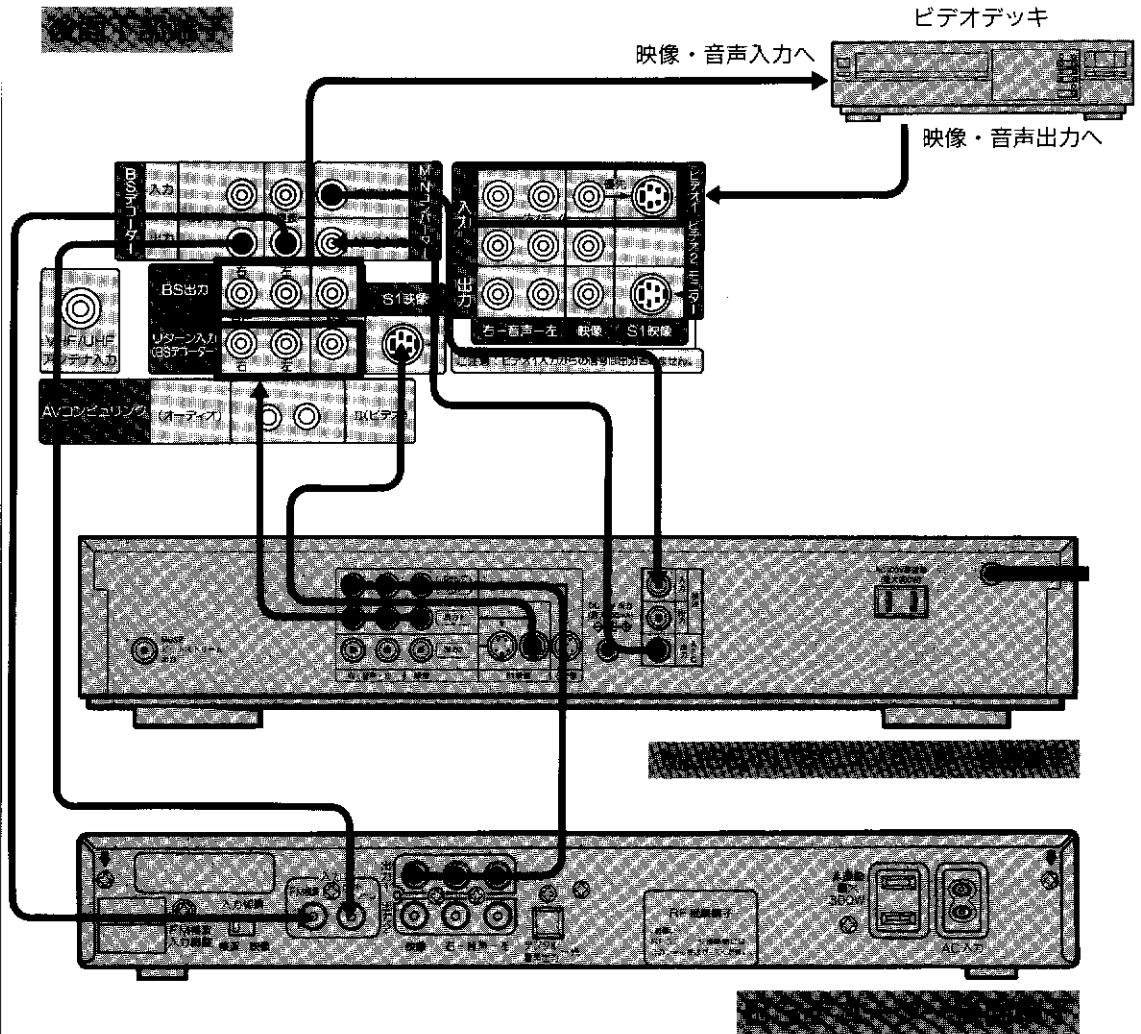
- フルモード自動判別に対応したBSチューナー内蔵ビデオデッキを、S1映像端子を使って接続しているときは、再生画面は自動的にフルサイズになります。それ以外のときは、テレビの画面サイズフルボタンを押して、フルサイズにしてご覧ください。
- MUSE-NTSCコンバーターのワイドモードで録画した画面は、上下に黒い帯が出ます。テレビの画面サイズシネマボタンを押し、16:9の画面にしてご覧ください。

BS有料放送とハイビジョン番組の両方を録画する

BS有料放送とハイビジョン番組を録画する BSチューナーなしのビデオデッキの場合

●電源を切ってからつなぎます。(92、93 ページもお読みください。)

例 MUSE-NTSCコンバーターHV-MC500との接続



操作のしかた

BS有料放送を録画する場合

テレビ、BSデコーダー、MUSE-NTSCコンバーター、ビデオデッキの電源を入れたあと、**47**ページの操作を行ってください。

ハイビジョン番組を録画する場合

テレビ、MUSE-NTSCコンバーター、ビデオデッキの電源を入れたあと、**92**ページの操作を行ってください。

BS有料放送とハイビジョン番組が映らないときには

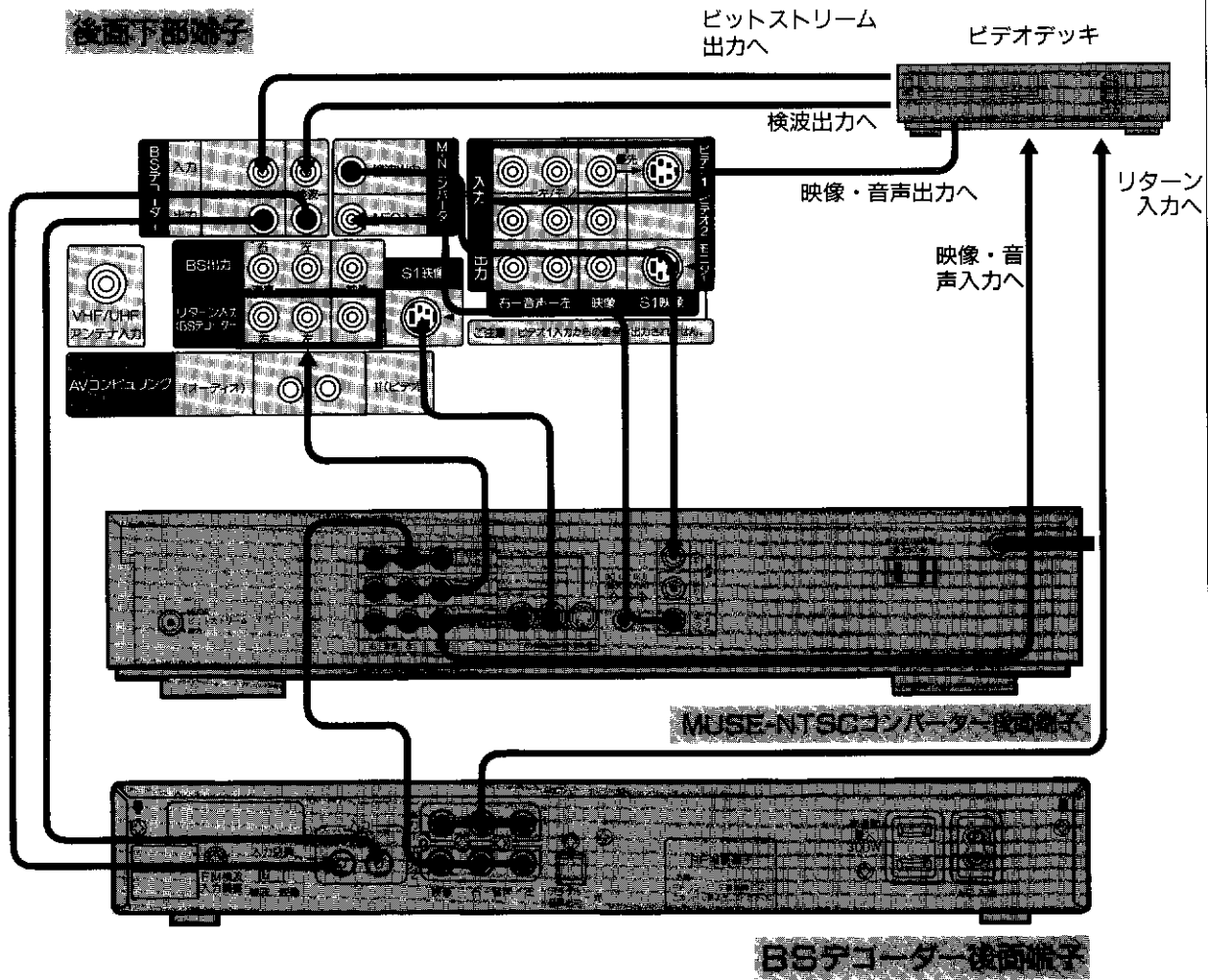
オートリターンの設定が「1」、BSデコーダー(とM-N)」になっているかどうか確認してください。オートリターンの設定については、**90**ページ。

BS有料放送とハイビジョン番組を録画する

BSチューナー内蔵ビデオデッキの場合

●電源を切ってからつなぎます。(92、93 ページもお読みください。)

例 MUSE-NTSCコンバーターHV-MC500との接続



BS有料放送とハイビジョン番組の両方を録画する

操作のしかた

BS有料放送を録画する場合

テレビ、BSデコーダー、MUSE-NTSCコンバーター、ビデオデッキの電源を入れたあと、92ページの操作を行ってください。

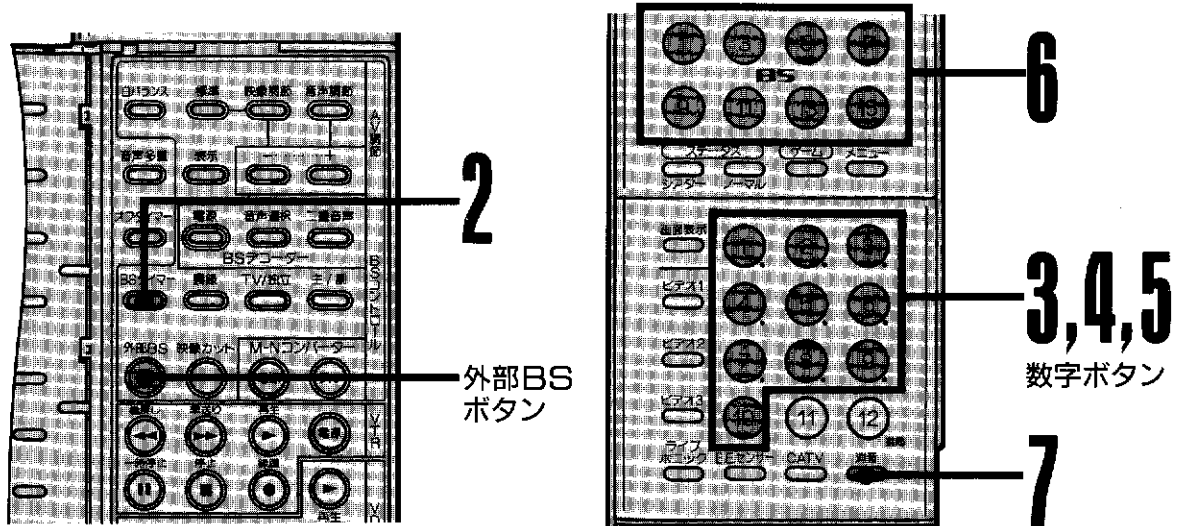
ハイビジョン番組を録画する場合

テレビ、MUSE-NTSCコンバーター、ビデオデッキの電源を入れたあと、93ページの操作を行ってください。

BS有料放送とハイビジョン番組が映らないときにはオートリターンの設定が「1. BSデコーダー(とM-N)」になっているかどうか確認してください。オートリターンの設定については、90ページ。

外出するときやおやすみ中に見たい番組があるときは、ビデオデッキにタイマー録画しておいて後でお楽しみください。
4つの番組をタイマー録画することができます。

●接続については、それぞれの放送の録画の項目をご覧ください。



●BS有料放送を録画するときは、BSデコーダーの電源を入れてください。

●ハイビジョン番組を録画するときは、MUSE-NTSCコンバーターの電源を入れてください。

BSチューナーなしのビデオデッキの場合

1 ビデオデッキを外部入力モードにして、録画時刻を予約する

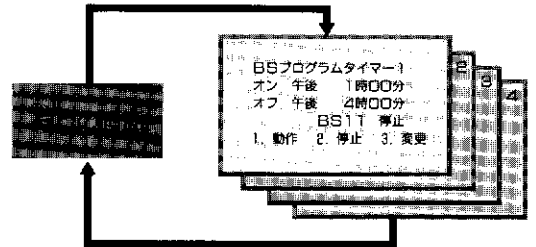


外部入力→録画予約

2 BSタイマーボタンでBSプログラムタイマー1～4を選ぶ



(4つまで予約できます。)



3 数字ボタンの③を押して「変更」を選ぶ

●ご注意
「時計合わせをしてください」と表示されたときは、時計が止まっています。時計合わせをしてください。☎ページ参照。



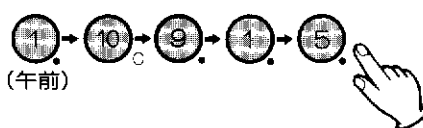
設定する項目は、黄色で表示

BSプログラムタイマー1	
オン	午後 1時00分
オフ	午後 2時00分
BS11 停止	
1.	午前
2.	午後
音量キー(・+)で項目を戻り・送り	

4 録画開始時刻を合わせる

☑ 午前 9時15分

操作を間違えたときは、音量ボタンを押すと、1つ前の操作に戻ります。



BSプログラムタイマー1	
オン	午前 9時15分
オフ	午後 1時00分
BS11 停止	
1.	午前
2.	午後
音量キー(・+)で項目を戻り・送り	

5 録画終了時刻を合わせる

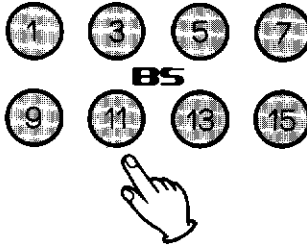
操作を間違えたときは、音量- ボタンを押すと、1つ前の操作に戻ります。

例 午前11時15分



BSプログラムタイマー1
オン 午前 9時15分
オフ 午前 11時15分
BS- 停止
チャンネルを設定して下さい
音量キー (-・+) で項目を戻り・送り

6 チャンネルを選ぶ



BSプログラムタイマー1
オン 午前 9時15分
オフ 午前 11時15分
BS11 停止
チャンネルを設定して下さい
音量キー (-・+) で項目を戻り・送り
消音 を押すと終了します

7 予約が終わったら、消音ボタンを押す

BSプログラムタイマーの設定が終了し、表示が消えます。

2つ以上タイマー録画するとき
は、手順 2~7 をくり返します。

BSプログラムタイマー1
オン 午前 9時15分
オフ 午前 11時15分
BS11 動作
チャンネルを設定して下さい
音量キー (-・+) で項目を戻り・送り
消音 を押すと終了します

BSチューナー内蔵ビデオデッキの場合

各放送ごとに次のようにタイマー録画してください。

- BSをタイマー録画するとき：ビデオデッキ側でタイマー録画の設定をします。
- BS有料放送をタイマー録画するとき：外部BSボタンを押し「外部BS入力オン」にしたあと、ビデオデッキ側でタイマー録画の設定をします。
- ハイビジョン番組をタイマー録画するとき：BSチューナーなしのビデオデッキの場合と同じ手順で、設定します。

タイマー録画中のテレビの操作について

- リモコンでテレビの電源を入/切したり、BS以外のテレビ放送やビデオ入力の映像を、通常どおり見ることができます。ただし、本体の電源は切らないでください。
- オン（開始）時刻にテレビの電源が切れていても、予約した時刻にBS受信部だけに電源が入り、BS裏録ランプが点灯します。
- BSの番組は、録画中のチャンネルしか見ることができません。

録画される音声について

BSタイマーボタンを押す前に選ばれていた音声モードで録画されます。
録画中は音声モードの変更はできませんので、あらかじめ音声を選んでおいてください。音声の選び方は 18 ページ。

タイマーを停止させたいときは

手順 3 で「2. 停止」を選びます。

タイマーをふたたび動作させたいときは

手順 3 で「1. 動作」を選びます。

「BSプログラムタイマーを停止して下さい」とメッセージが出たら

現在、そのプログラムが「動作」になっています。タイマーの内容を変更してもよい場合は、まずBSタイマーボタンを押してメッセージを消し、数字ボタン 0 (停止) を押してタイマーを停止します。その後、手順 3 からやり直してください。

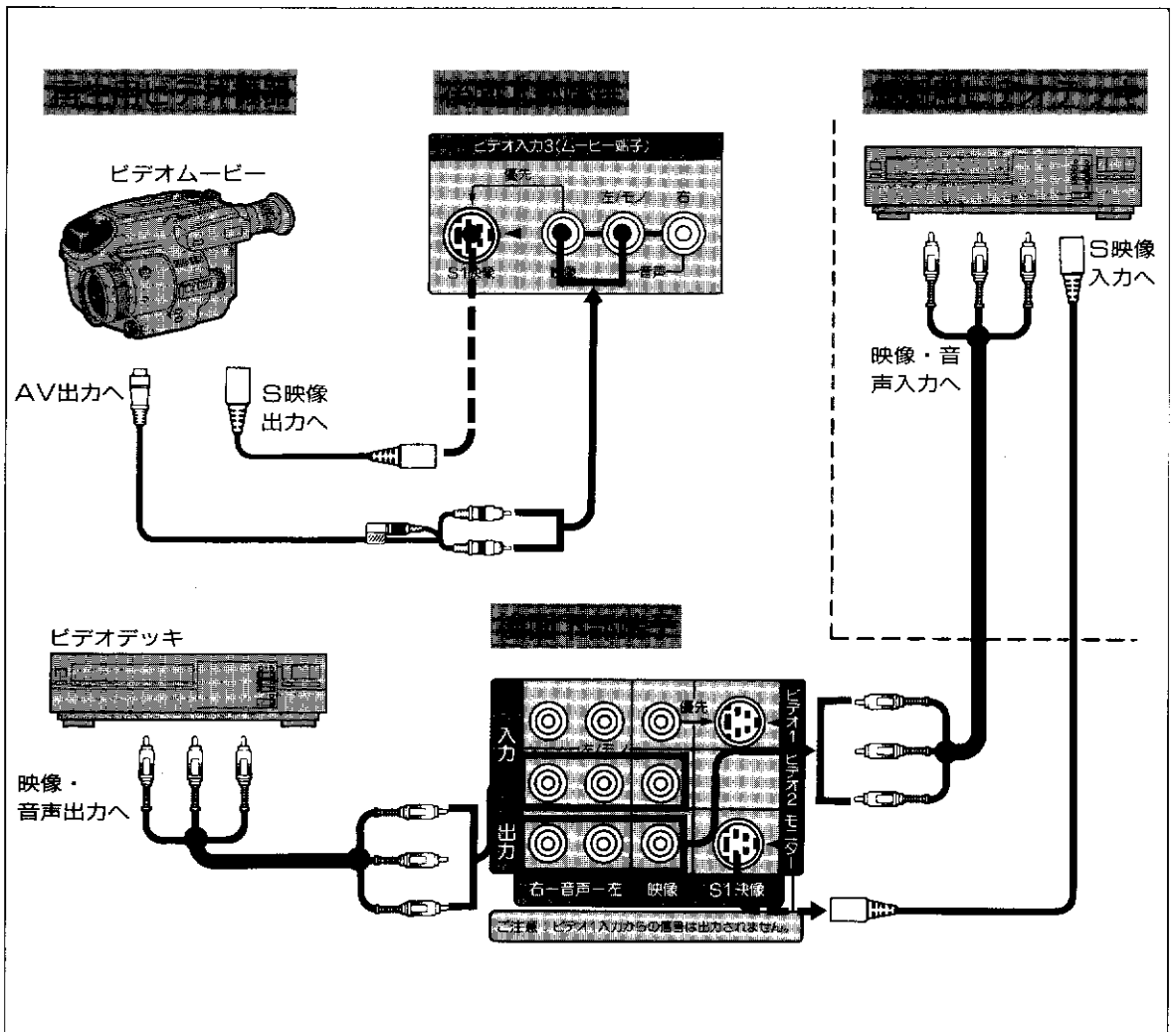


BSタイマー録画時間が重ならないように設定してください。



ビデオテープを ダビングする

●電源を切ってからつなぎます。(92、93ページもお読みください。)



ダビングのしかた

- 1 ビデオ2 (またはビデオ3) ボタンを押す
- 2 ビデオデッキ(またはビデオムービー)で再生の操作をする
- 3 録画用ビデオデッキで録画したい場面を録画する



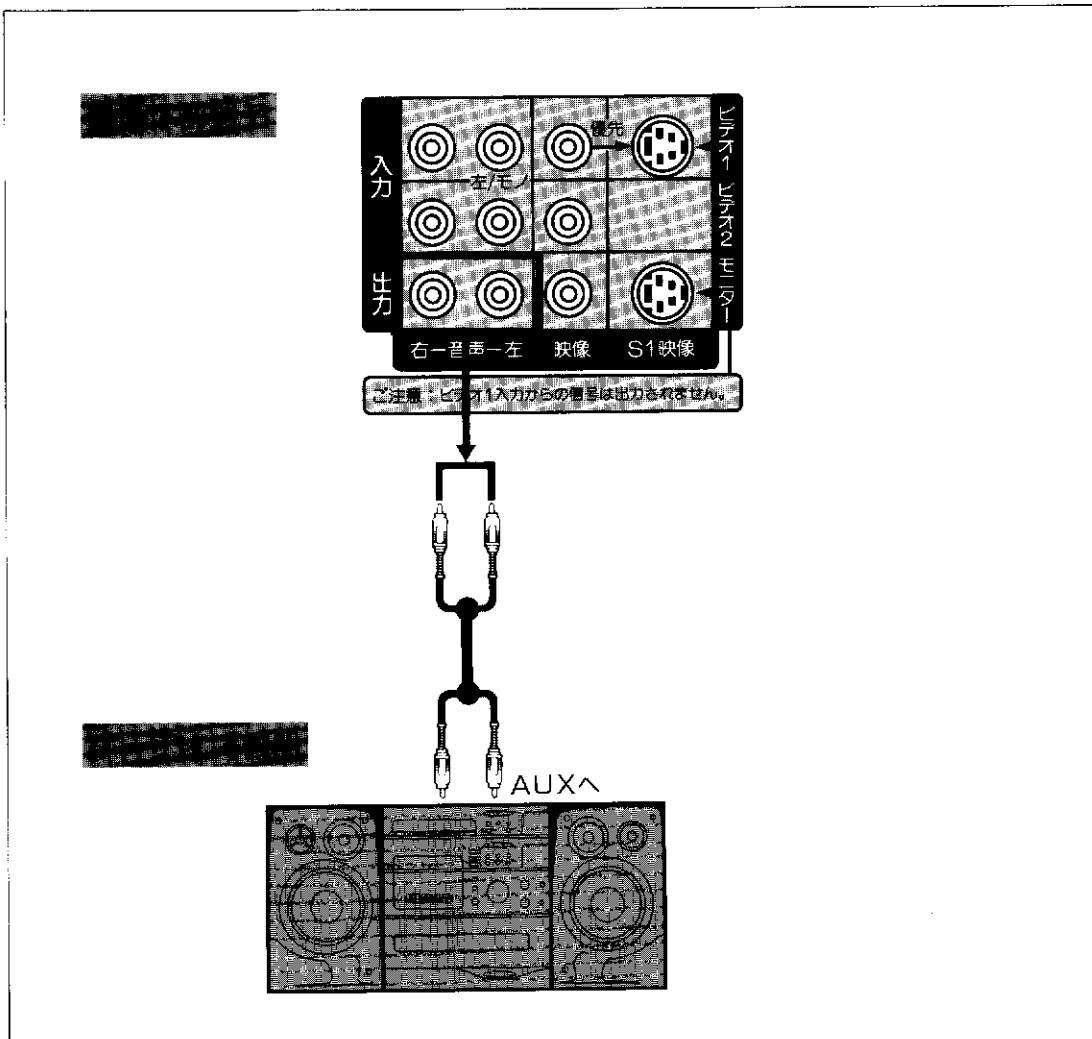
モニター出力端子使用時のご注意

- 再生用ビデオ機器がS映像端子つきの場合は、Sケーブルでビデオ3のS1映像端子につなぎます。映像端子のプラグは接続しないでください。録画用ビデオデッキは、モニター出力端子のS1映像端子と音声端子につなぎます。
- 録画用ビデオデッキの再生画像を見たいときは、ビデオ1入力端子につなぎます。
- 1台のビデオデッキにビデオ2 (または3) 入力端子と、モニター出力端子の両方をつながないでください。ビデオデッキの使用状態によっては、しま模様の画面やピーという発振音が出ることがあります。これは故障ではなく、ビデオデッキとテレビの間を同じ信号が回るためにおこる現象です。ビデオ1入力端子につなげば、この現象はおこりません。
- AV-24X3の場合、S1映像端子からはテレビ放送やBSの映像信号は出力されません。ビデオ入力3またはリターン入力のS1映像端子から入力した信号のみを出します。

あなたがビデオデッキで録画 (録音) したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

オーディオ機器をつなぐ

●電源を切ってからつなぎます。(92、93ページもお読みください。)



ビデオテープをダビングする／オーディオ機器をつなぐ

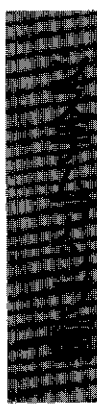
音量の調節のしかた

- 1 テレビの音を最小にする
- 2 オーディオ機器側で音の大きさを調節する

モニター出力端子から出力される音声について
画面で選ばれている番組の音声が出ます。テレビの音量調節やライブホニックボタンの設定の影響は受けません。

⚠️ ご注意
オーディオ機器設置場所について

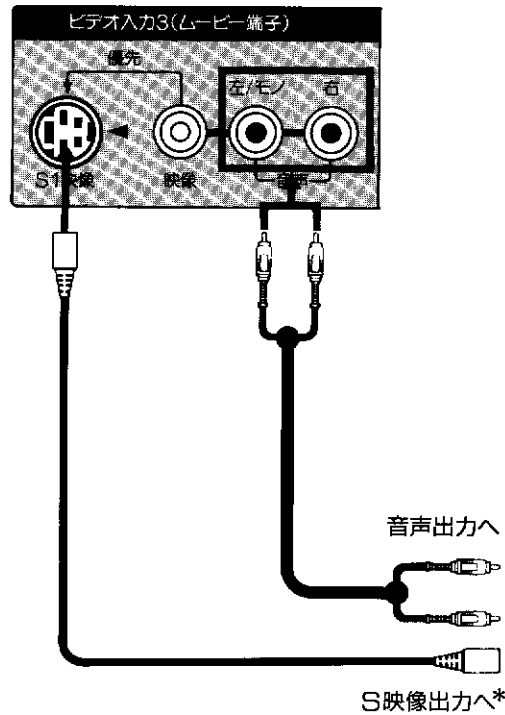
- オーディオ機器のスピーカーがテレビに近すぎると、画面に色のつくことがありますのでテレビから20~30cm以上離して置いてください。防磁タイプのスピーカーなら大丈夫です。
- スピーカーを離しても色がとれないときは、電源を切ってから30分後にふたたび電源を入れてください。



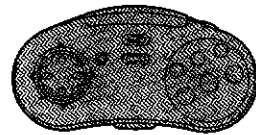
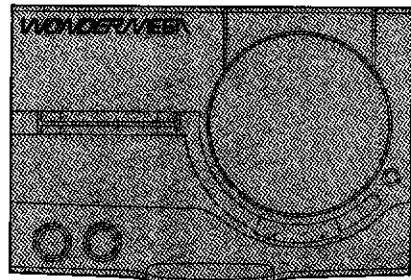
テレビゲーム機をつなぐ

テレビゲーム機をつないだら、ゲームポジションを使って
 迫力いっぱいの音と画面で楽しみましょう。

映像・音声出力端子付きのテレビゲーム機の接続



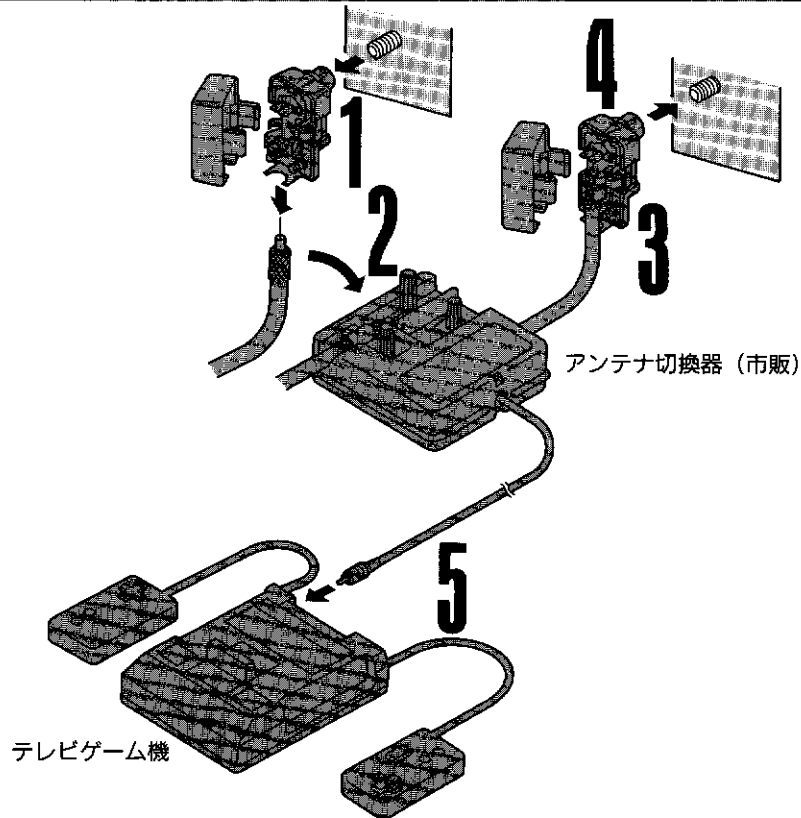
ビクター製「ワンダーメガ」など



*S映像出力端子のないテレビゲーム機では映像端子に接続してください。



映像・音声出力端子のないテレビゲーム機の接続



テレビゲーム機をつなぐ

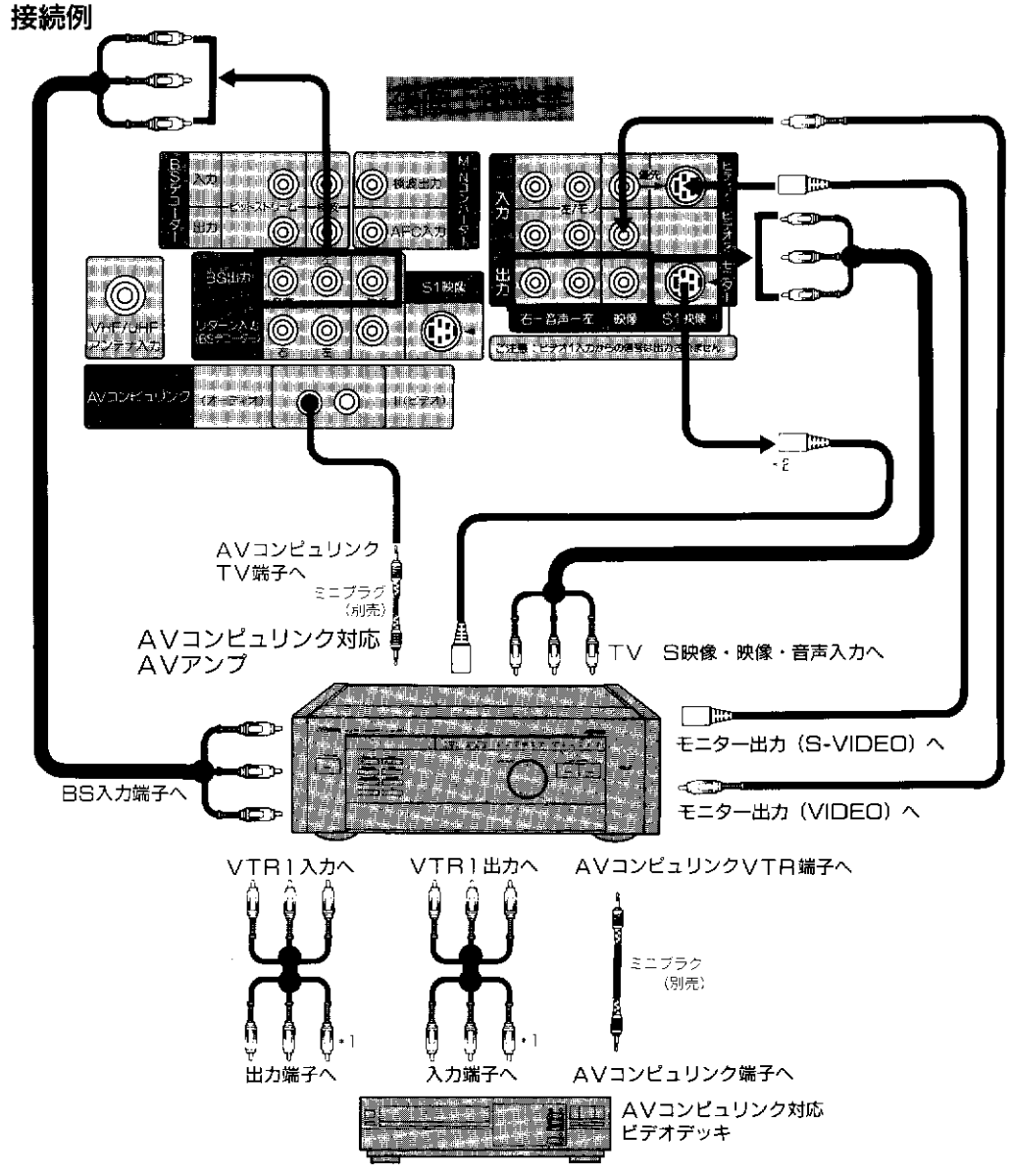


接続のしかた

- 1 テレビからアンテナコネクターをはずし、ケーブルをはずす
- 2 はずしたケーブルをアンテナ切換器(市販)につなぐ
- 3 アンテナ切換器の同軸ケーブルを、1ではずしたアンテナコネクターにつなぐ
- 4 アンテナコネクターをテレビのVHF/UHFアンテナ端子につなぐ
- 5 アンテナ切換器の同軸ケーブルをテレビゲーム機につなぐ

ビデオやオーディオ機器全体を 集中制御する—AVコンピュリンク

AVコンピュリンク対応AVアンプの接続



- ・1 S-VHSビデオデッキの場合はS映像ケーブルも接続してください。
- ・2 AV-24X3の場合、モニター出力のS1映像端子からは、ビデオ入力3またはリターン入力のS1映像端子から入力した信号のみを outputs します。

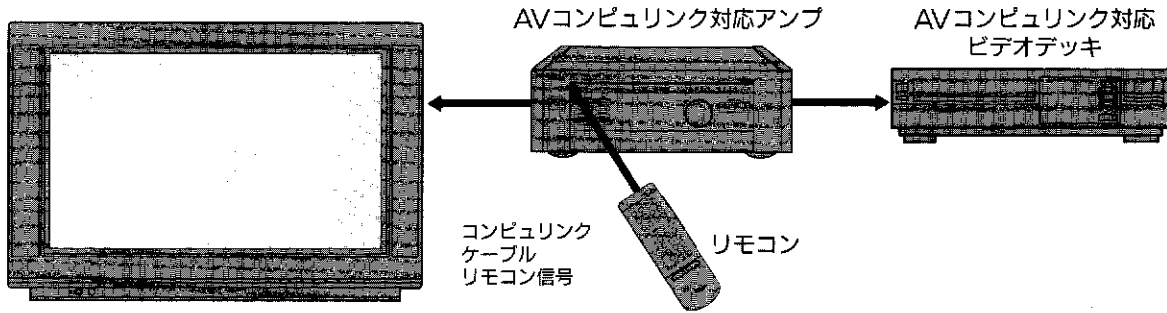
AVコンピュリンク端子を備えたビクタービデオ機器一覧

ビデオデッキ	コントロールアンプ
HR-V1	MX-M7
HR-X1	EX-105
HR-X1LTD	AX-V1000
HR-Z1	など
HR-V10	
HR-V2	
HR-F2	
HR-20000	
など	

- 注意**
- アンプがスタンバイ状態（電源コードがコンセントに差し込まれている）か電源が入っている状態にならないと、本機のリモコン操作はできません。
 - AVコンピュリンクについては、接続するAVアンプやビデオデッキの取扱説明書もお読みください。
- ミニプラグは下記の当社製品をご使用ください。
- CN-120A (1.5m)
 - CN-125A (3.0m)

AVコンピュリンクの機能

AVコンピュリンク端子を使用すると、テレビのリモコン受光部ではリモコンの信号を受け付けなくなります。リモコンはアンプの受光部に向けて操作してください。

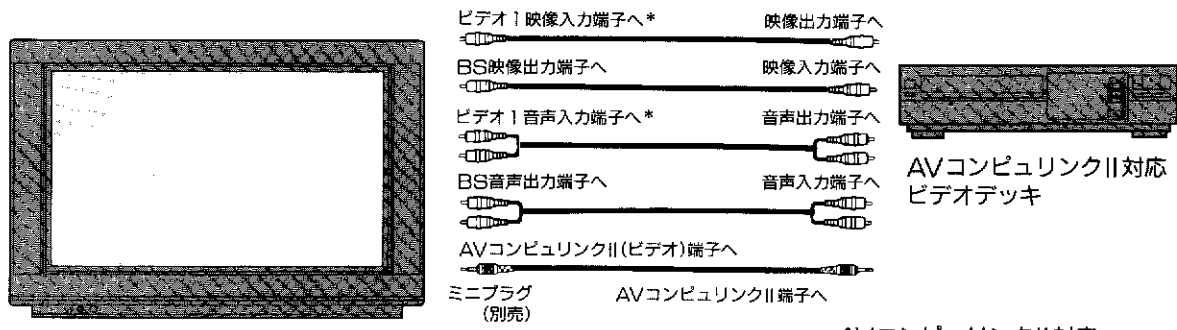


AVコンピュリンクで、以下の便利な使いかたができます。

- ビデオテープのワンタッチ再生
ツメの折れた録画済みビデオテープをビデオデッキに挿入するだけで、自動的にシステム全体の電源が入り、ビデオテープの再生が始まります。
- ビデオテープのツータッチ再生
ツメの折れていない録画済みテープをビデオデッキに挿入すると、自動的にシステム全体の電源が入ります。ビデオデッキの再生ボタンを押すだけで、ビデオの再生画像が楽しめます。
- AVシステム全体の電源切
アンプの電源を切ると、システム全体の電源も自動的に切れます。
- テレビの入力切換の自動切り換え
アンプの入力切り換えて、テレビの入力モードも自動的に切り換わります。
- 前回選んでいた機器に自動的に電源が入る
アンプの電源を入れると、前回選んでいた機器の電源が自動的に入ります。

ビデオやオーディオ機器全体を集中制御する

AVコンピュリンクII対応ビデオデッキの接続



*ビデオデッキのリモコンをBコードにしている場合は、ビデオ2入力端子につながます。

AVコンピュリンクII対応
ビデオデッキ (平成5年8月現在)
HR-D2
HR-S101

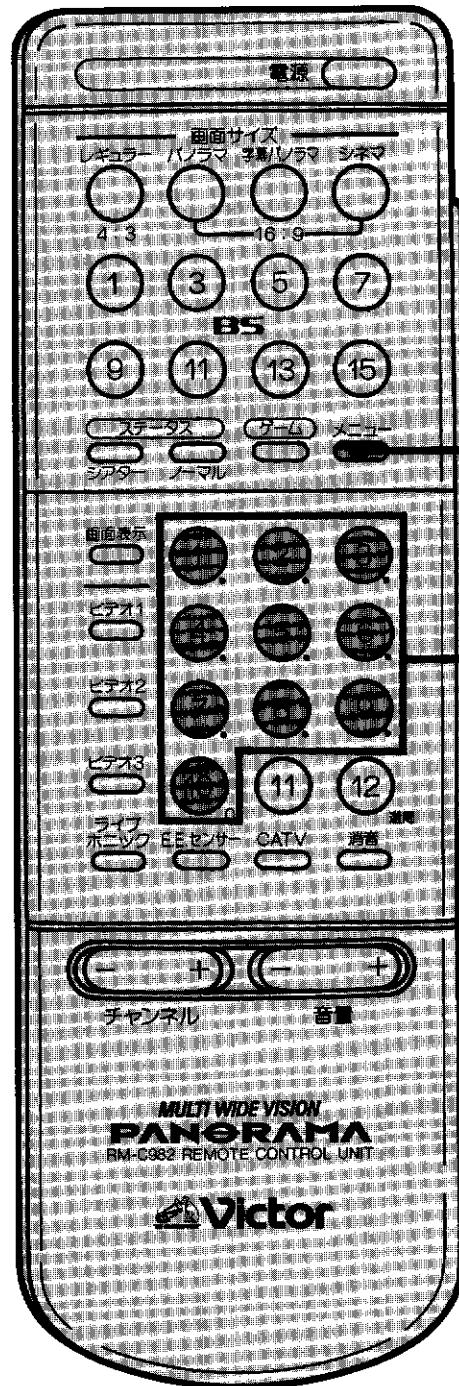
ビデオデッキで次のことができるようになって便利です。

- BSチャンネルをビデオデッキで選択
録画したいBSチャンネルを、ビデオデッキ側で選ぶことができます。
- タイマー予約がビデオデッキのみで可能
テレビのタイマー予約をしなくても、ビデオデッキでタイマー予約をするだけでBSのタイマー録画ができます。
- ビデオテープのワンタッチ再生
ツメの折れた録画済みビデオテープをビデオデッキに挿入するだけで、自動的にテレビの電源が入り、ビデオテープの再生が始まります。
- ビデオテープのツータッチ再生
ツメの折れていない録画済みテープをビデオデッキに挿入すると、自動的にテレビの電源が入ります。ビデオデッキの再生ボタンを押すだけで、ビデオの再生画像が楽しめます。

ビデオ機器を 使いやすくなるための設定(1)

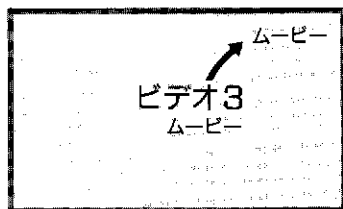


「ビデオ1」「ビデオ2」「ビデオ3」の
入力表示は、「VTR」「ムービー」
などに変えることができますので、
つないでいるビデオ機器がわかりやすくなります。



1
2,3,4,
5
数字ボタン

入力表示を設定すると
「ビデオ1」「ビデオ2」「ビデオ3」の画面表示が図
のようになります。



表示される文字の意味は

- VTR : ビデオデッキ(ビデオテープレコーダー)
- VHS : VHS方式のビデオデッキやビデオムービー
- S-VHS : S-VHS方式のビデオデッキやビデオムービー
- ムービー : ビデオムービー (カメラ一体型ビデオデッキ)
- VHD : VHD方式のビデオディスクプレーヤー
- LD : レーザービジョン方式のビデオディスクプレーヤー

手順 4 補足

操作を間違えたときはメニューボタンを押し、最初からやり直してください。

画面の入力表示を変える

メニュー 5
入力表示設定

例 ビデオ 3 の入力表示をムービーに変える

1 メニューボタンを 2 回
押す



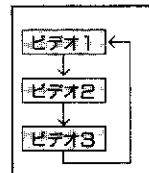
メニュー	
5. 入力表示設定	
6. ソフトメモリー設定	
7. チャンネルスキップ設定	
8. 初期設定メニュー	
メニュー を押すと終了します	

2 数字ボタンの 5 を押し
て「入力表示設定」を
選ぶ



ビデオ 1	
1. VTR-A	8. VHD
2. VTR-B	7. LD
3. VHS	8. 表示なし
4. S-VHS	9. 次の設定
5. ムービー	0. 完了
数字キーを押して下さい	

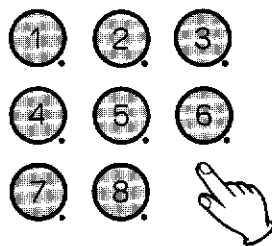
3 数字ボタンの 9 を押し
て変えたい入力表示を
選ぶ



ビデオ 3	
1. VTR-A	6. VHD
2. VTR-B	7. LD
3. VHS	8. 表示なし
4. S-VHS	9. 次の設定
5. ムービー	0. 完了
数字キーを押して下さい	

数字ボタンの 9 を 2 回押して「ビデオ 3 -----」にします。

4 表示させたい文字を選
ぶ



ビデオ 3		ムービー
1. VTR-A	6. VHD	
2. VTR-B	7. LD	
3. VHS	8. 表示なし	
4. S-VHS	9. 次の設定	
5. ムービー	0. 完了	
数字キーを押して下さい		

数字ボタンの 6 を押し「ムービー」を選びます。
「ビデオ 3 -----」の表示が「ビデオ 3 ムービー」に変わります。

他の入力表示も変えるときは手順
3・4 をくり返します。

「8. 表示なし」は、入力表示を「ビデオ 1」「ビデオ 2」「ビデオ 3」
に戻すときに選びます。

5 設定を終了したら、
数字ボタンの 0 を押す



「0. 完了」となり、
画面表示が消えて設定が
終わります。

ビデオ機器を使いやすくするための設定（入力表示設定）




ビデオデッキの種類と登録の設定に使うボタン

下のA～Dのグループは、説明の便宜上つけているものです。お手持ちの機器がどのグループかわからないときは、Aグループの設定から順番に試し、機器が正しく動作するかどうか確認してください。

リモコンの設定は、なにもしなければビデオデッキがビクターのAグループ、ビデオディスクがビクターになっています。

メーカー名	グループ	設定に使うボタン①	設定に使うボタン②	グループを見分ける目安
ビクター	A	巻戻し	再生	1983年以降の製品
	B	巻戻し	早送り	
	C	巻戻し	録画	1982年以前の製品
サンヨー		巻戻し	停止	1983年以降の製品
シャープ	A	巻戻し	一時停止	1985年以降の製品
	B	再生	巻戻し	
ゼネラル		再生	早送り	1985年以降の製品
ソニー	A	再生	録画	マーク付きのビデオデッキ
	B	再生	停止	
	C	再生	一時停止	
東芝	A	早送り	巻戻し	1984年以降の製品
	B	早送り	再生	
日本電気		早送り	録画	
パイオニア		早送り	停止	
日立	A	早送り	一時停止	1984年以降の製品
	B	録画	巻戻し	
フナイ		録画	再生	1985年以降の製品
松下電器	A	録画	早送り	1982年以降の製品
	B	録画	停止	
三菱	A	録画	一時停止	1986年以降の製品
	B	停止	巻戻し	
	C	停止	再生	1983～1985年の製品
	D	停止	早送り	1982年以前の製品

ビデオディスクプレーヤーの種類と登録の設定に使うボタン

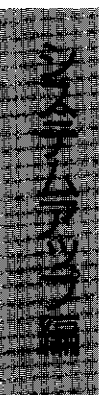
メーカー名	設定に使うボタン①	設定に使うボタン②
ビクター	チャプターサーチ 	チャプターサーチ 
ソニー	チャプターサーチ 	サーチ 
パイオニア	チャプターサーチ 	再生 
松下電器	チャプターサーチ 	サーチ 



ご注意

- 一部、登録できない機種もあります。ご了承ください。
- 乾電池を入れ換えたとき、最初の設定(ビデオデッキ：ビクターAグループ、ビデオディスクプレーヤー：ビクター)に戻ってしまうことがあります。このときは、もう一度設定し直してください。

ビデオ機器を使いやすくするための設定(リモコン設定)



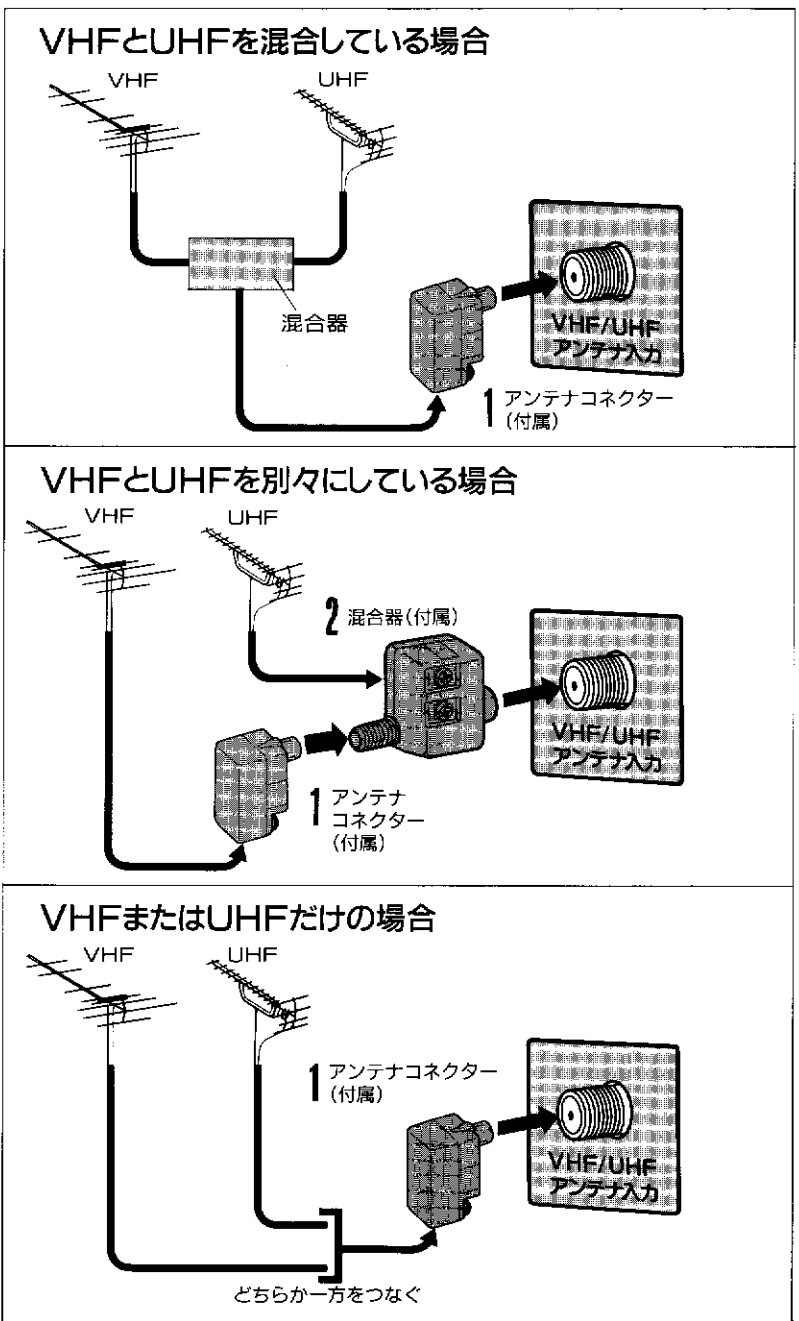
PART 4 準備編

アンテナやケーブルの接続は販売店に頼むのがベスト。でも知っておくと役に立つかも。

アンテナを接続する(1)

混合の場合、別々の場合など、つなぎ方がちがうので、ご注意ください。

VHFとUHFアンテナのつなぎかた



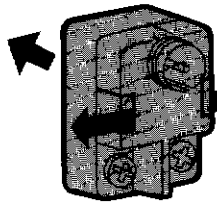
室内のアンテナ端子板からつなぐには
 室内のアンテナ端子板は、BS/VHF/UHF/FMなどが混合されている場合があります。この場合は分波器が必要になりますので、販売店や家の工事店・管理人などにお確かめください。

CATVのつなぎかたは
 CATV関係各社へお問い合わせください。

アンテナコネクタのつなぎかた

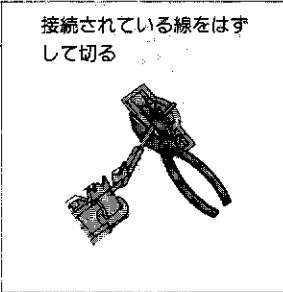
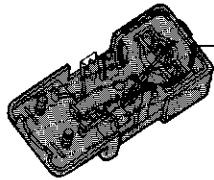
同軸ケーブルの場合

①ふたをはずす

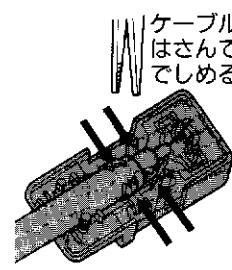


ツメを広げる

②接続されている線ははずす

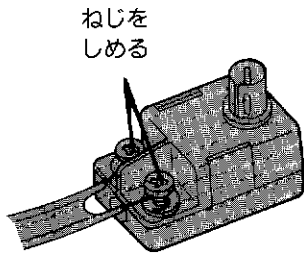
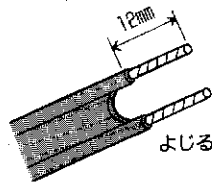


③ケーブルをつないでふたをする



ケーブルの芯線をはさんで、ペンチでしめる

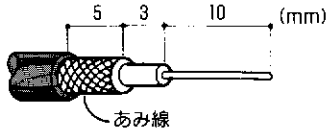
フィーダー線の場合



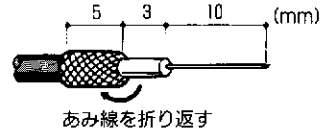
ご注意
フィーダー線よりも電波妨害に強い同軸ケーブルのご使用をお勧めします。

同軸ケーブルの加工寸法は

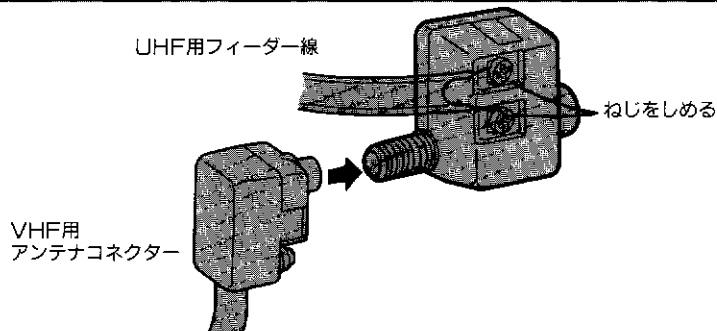
太いケーブル (5C-2V, TVEFCX)



細いケーブル (3C-2V)



混合器のつなぎかた



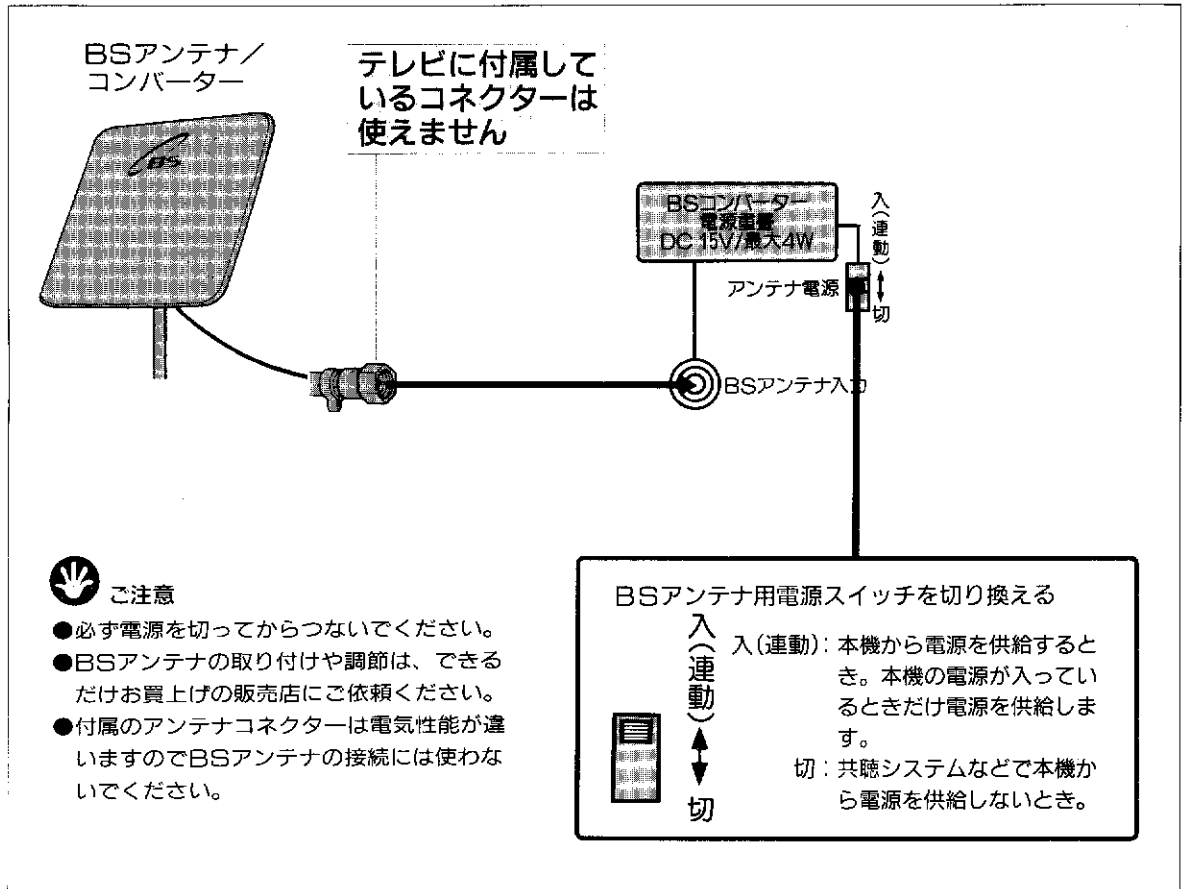
アンテナを接続する(VHF/UHF)



アンテナを接続する(2)

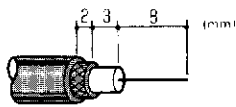
大切なのは、方向調整。わずかな誤差でも、画像に影響を及ぼします。

BSアンテナのつなぎかた



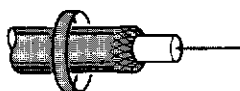
コネクタ(C-15形、別売)のつなぎかた(室内用)

①ケーブルを加工する



ケーブル: BSCX.TVEFCX

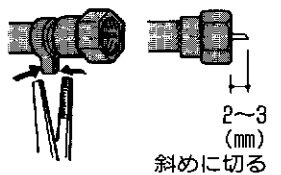
②リングをとおす



③コネクタを差し込む



④リングをペンチでしめる



BS入力レベル表示のご注意

●BS入力レベル表示は、信号と雑音の比を目安として表したものですから、電波の強さそのものを示すわけではありません。アンテナを設置する地域、場所、天候などによって変化しますので、映像がきれいに映っていればレベルの大小は関係ありません。

BSアンテナの方向を調節する

初期設定メニュー5
BS入力レベル設定

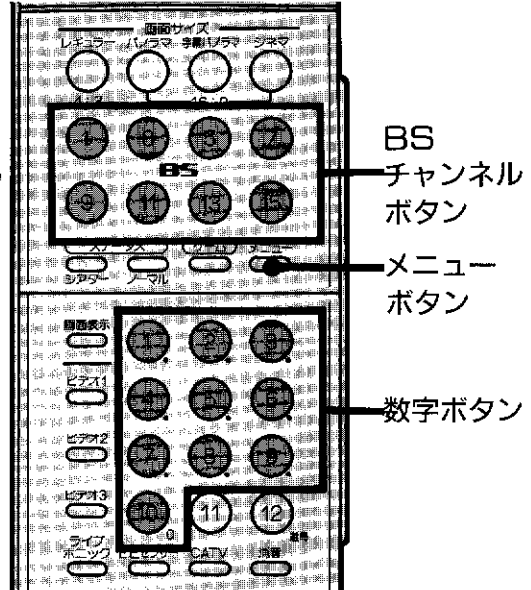
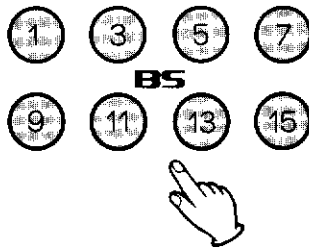
BSアンテナをつないだら、アンテナを南西の、最もきれいにBSが受信できる方向にします。

1 放送されているBSチャンネルボタンを押し、放送を受信する

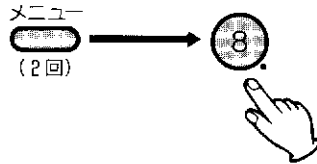


ご注意

BS有料放送は選ばないでください。BS有料放送を見るには、BSデコーダーが必要です。

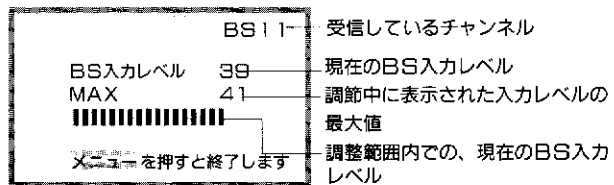
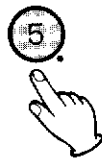


2 メニューボタンを2回押し、数字ボタンの8を押して、「初期設定メニュー」を選ぶ



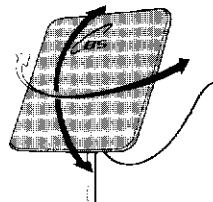
初期設定メニュー	
5.	BS入力レベル設定
6.	BS設定メニュー
7.	BS電源 オートオフ
8.	3次元Y/C設定
メニューを押すと終了します	

3 数字ボタンの5を押して、「BS入力レベル設定」を選ぶ

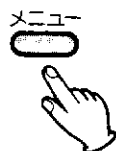


4 BSアンテナの向きを調節し、BS入力レベルが最大になる角度にアンテナを固定する

BS入力レベルがMAXの値より小さいときは、MAXの値に近づくように調節してください。

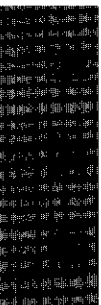


5 メニューボタンを押す



設定が終了し、画面表示が消えます。

アンテナを接続する(BS)



チャンネルを設定する(1)

UHF放送やCATVが映るように受信チャンネルを設定し直します。



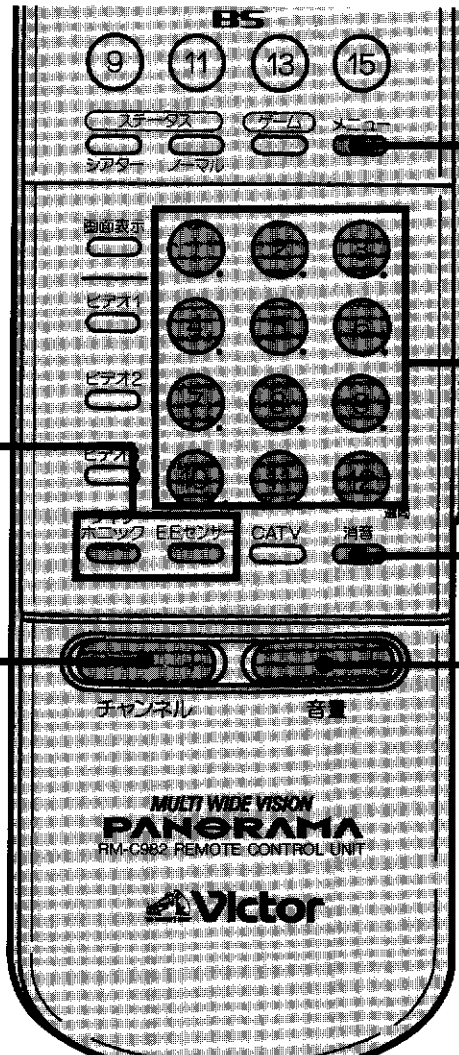
リモコンのチャンネルボタン1～12には、VHF1～12までのチャンネルが設定されています。このままでよいときは、この項目の設定は必要ありません。1～12までのチャンネルボタンに、UHFやケーブルテレビのチャンネルも設定したいときには、この設定を行ってください。

(表示変更ボタン
ライブホニック
E.E.センサー)

(受信チャンネル
変更ボタン)



- BSチャンネルは変更できません。
●初期設定メニューの「チャンネル選択」で10キーセレクト(10キー選局)を選んでいるときは、チャンネルプリセットはできません。



1,6

1,2
数字ボタン

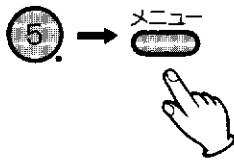
5
(記憶ボタン)
音量
(微調整)
ボタン

受信チャンネルを設定し直す

初期設定メニュー1
チャンネルプリセット

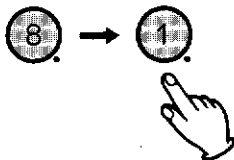
例 チャンネルボタン5にUHFの34チャンネルを設定し、画面に34と表示させる

1 設定し直したいチャンネルボタンを押し、メニューボタンを2回押す



- メニュー
- 5. 入力表示設定
 - 6. ソフトメモリー設定
 - 7. チャンネルスキップ設定
 - 8. 初期設定メニュー
 - メニュー を押すと終了します

2 数字ボタンの⑧を押して「初期設定メニュー」を選び、数字ボタンの①を押して「チャンネルプリセット」を選ぶ



- | | | | | |
|------------|-----------|---|---|-------------------|
| チャンネルプリセット | リモコンキー | 5 | — | 押したボタンの番号 |
| 受信チャンネル | CH | 5 | — | 受信している放送局のチャンネル番号 |
| 表示 | | 5 | — | 画面に表示される番号 |
| 音量キー(—+) | でファイン | | | |
| 消音 | を押すと記憶します | | | |
| メニュー | を押すと終了します | | | |

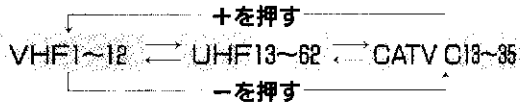
3 チャンネル+または-ボタンを押し、設定したいチャンネル番号を表示させる



画面には受信した34チャンネルの番組が映ります。

チャンネルプリセット	
リモコンキー	5
受信チャンネル	CH34
表示	5
音量キー(-・+)でファイン	
消音	を押すと記憶します
メニュー	を押すと終了します

メモ VHF/UHFは受信チャンネルの数字の前に「CH」がつきます。CATVは、数字の前に「C」がつきます。



4 画面に表示するチャンネル番号を設定する

10の位の数字を変える:
ライブホックボタンを押すたびに、10の位の数字が_(表示なし)と1~6、C1~C3に変わります。

チャンネルプリセット	
リモコンキー	5
受信チャンネル	CH34
表示	34
音量キー(-・+)でファイン	
消音	を押すと記憶します
メニュー	を押すと終了します

1の位の数字を変える:
E.E.センサーボタンを押すたびに、1の位の数字が0~9に変わります。

5 消音ボタンを押し、設定したチャンネルを記憶させる

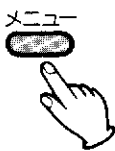


他に設定し直したいチャンネルがあれば、そのチャンネルボタンを押し、手順3~5を繰り返します。

チャンネルプリセット	
リモコンキー	5
受信チャンネル	CH34
表示	34
音量キー(-・+)でファイン	
消音	を押すと記憶します
メニュー	を押すと終了します

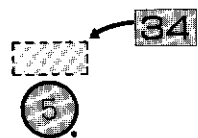
点滅して記憶したことを示します。

6 必要な設定が終わったら、メニューボタンを押しして終了する



画面表示が消えます。

設定し直したチャンネルボタンには、付属の番号シールを貼ると、新しいチャンネルが一目でわかって便利です。



CATVについて詳しくは、CATV関係各社にお問い合わせください。

チャンネルを設定する(チャンネルプリセット)

受信したチャンネルの映像にしま模様などが出るときは

手順3で受信したチャンネルの画面にしま模様が出たり、映像が見にくいときは、微調整をすればきれいになります。

手順 3 補足

音量- ← きれいな画面 → 音量+
色が消える しま模様が出る

最もきれいな映像になるまで、音量ボタン+または-を押し続けます。

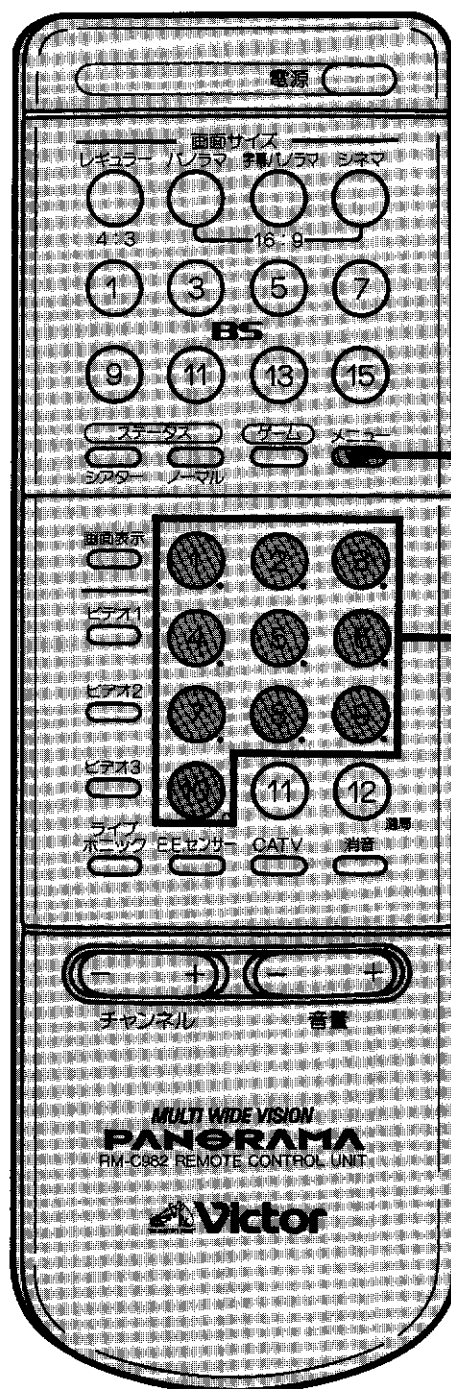
チャンネルプリセット	
ファイン	+01
----- -----	
音量キー(-・+)でファイン	
消音	を押すと記憶します
メニュー	を押すと終了します

最適な画面になったら、ボタンから指を離します。数秒たつと画面表示が消えます。



チャンネルを設定する(2)

10キー選局にしたいとき選局方法を選びます。



1

2,3,4
数字ボタン

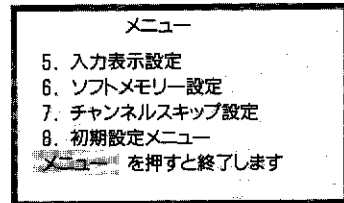
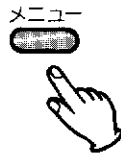
設定を途中でやめたいときは、メニューボタンを押します。

選局方法を選ぶ

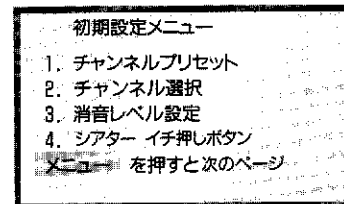
初期設定メニュー?
チャンネル選択

例 10キー選局にする

1 メニューボタンを2回
押す



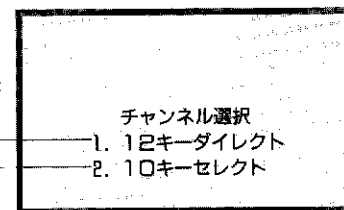
2 数字ボタンの⑧を押して、「初期設定メニュー」を選ぶ



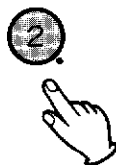
3 数字ボタンの②を押して、「チャンネル選択」を選ぶ



現在の状態が紫色で表示されます。
ダイレクト選局 ————
10キー選局 ————



4 数字ボタンの②を押して、「10キーセレクト」を選ぶ



数秒後、画面表示が消え、設定が終了します。

チャンネルを設定する(チャンネル選択)

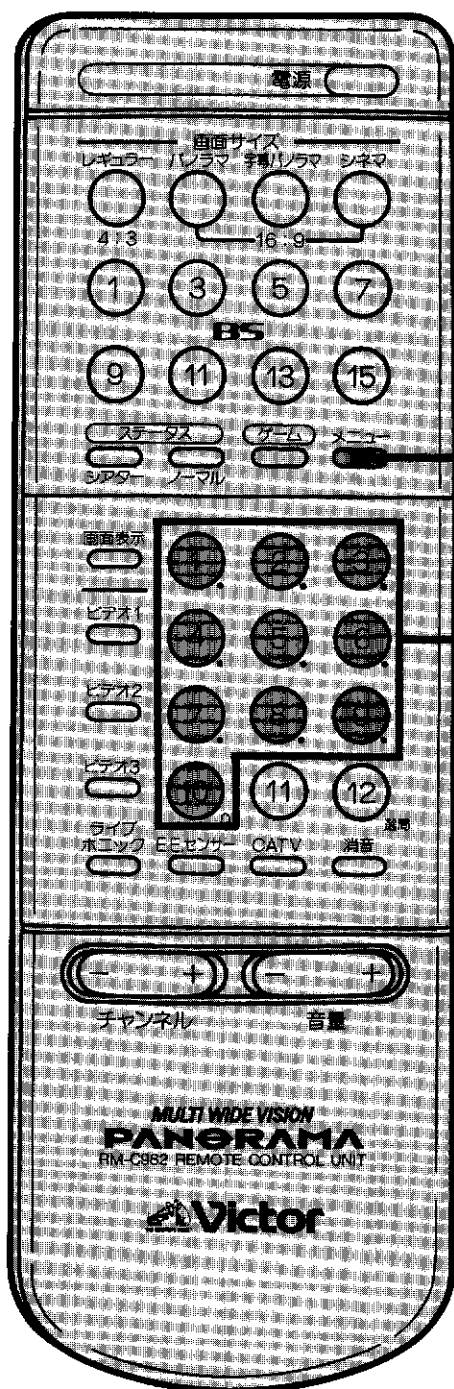


チャンネルを設定する(3)

放送のないチャンネルをとびこしてチャンネルを切り換えます。



チャンネル順送りボタンで操作する場合、放送のないチャンネルや見たくないチャンネルを飛ばして見たいときに、とびこし設定を行います。
また、UHFとケーブルテレビのチャンネルは、あらかじめとびこしが設定されていますので、順送りボタンで見るときは、とびこし設定を解除します。



1
2,3,4,
5
数字ボタン



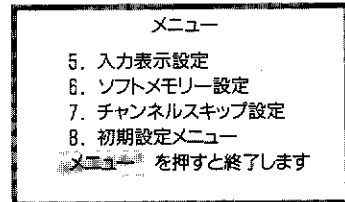
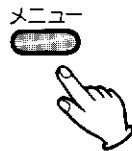
VHFとBSチャンネルのとびこしを設定する メニュー7 チャンネルスキップ設定

1～12チャンネルとBSチャンネルで
放送のないチャンネルをとびこすように設定します。

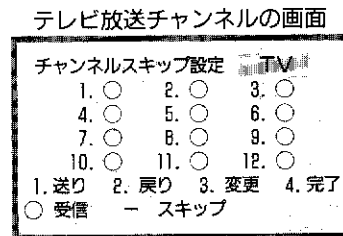
例 5チャンネルをとびこすように設定する

1 メニューボタンを2回 押す

設定前に、チャンネル選択が「12
キーダイレクト」になっている
ことを確認してください。10ペ
ージ参照。

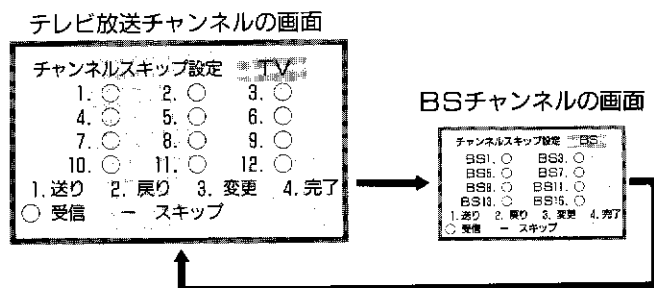


2 数字ボタンの7を押して、「チャンネルスキップ設定」を選ぶ



紫色で表示されているチャンネルの設定を変更できます。

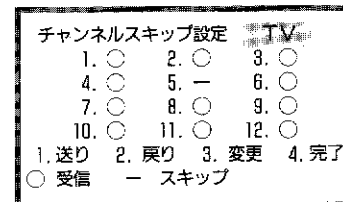
3 数字ボタンの1か2を押して、とびこしたいチャンネルの番号を紫色にする



「5. ○」が紫色になるまで押します。

4 数字ボタンの3(変更)を押して、とびこしたいチャンネルの表示が「-」になるようにする

「-」にしたチャンネルを「○」に戻す
には変更したいチャンネルを選び、
数字ボタン3(変更)を押します。



手順3と4を繰り返して、とびこしたいチャンネルすべてを「-」に設定します。

○：リモコンで選べるチャンネル
-：リモコンがとびこすチャンネル

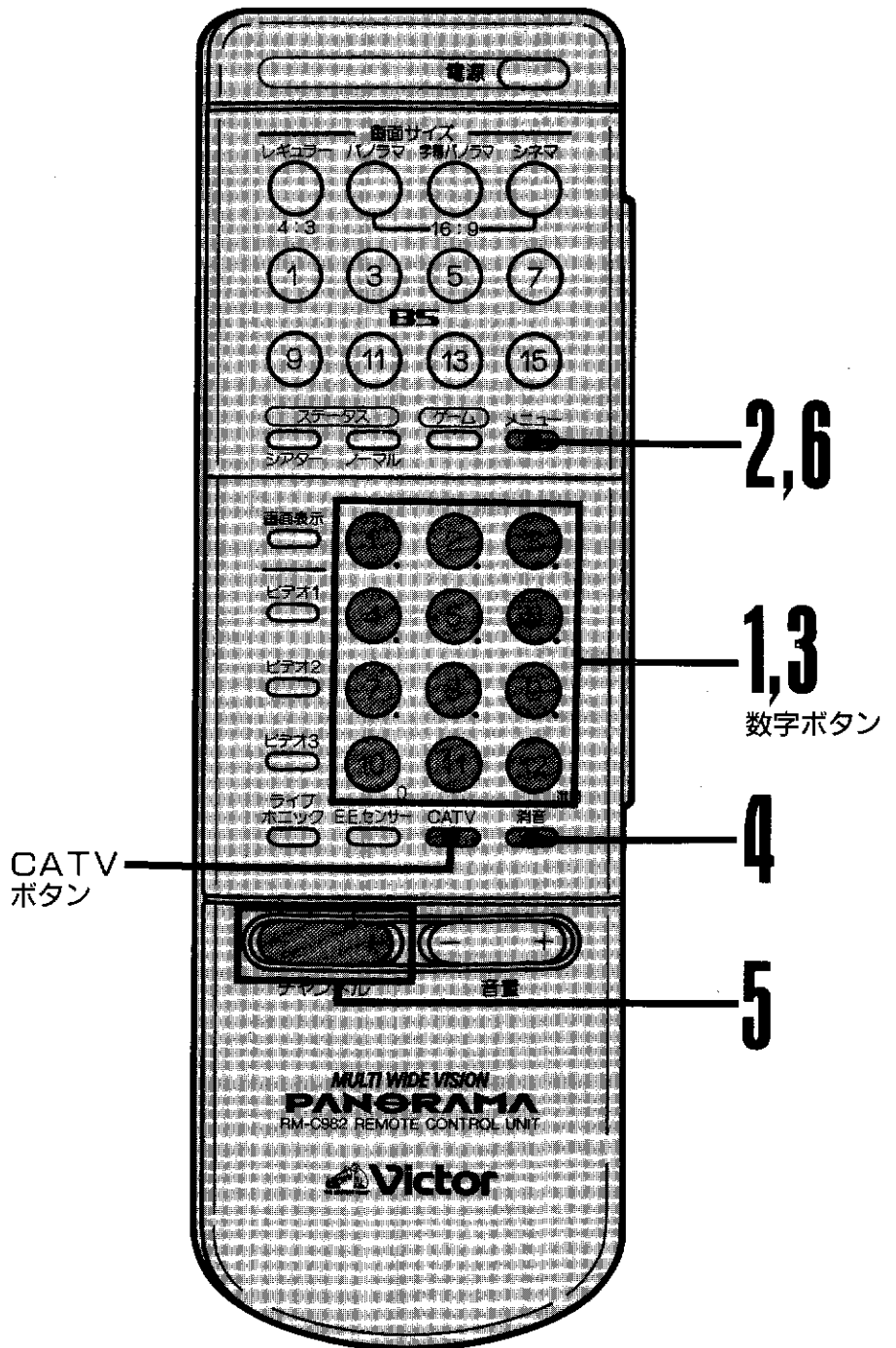
5 設定が終わったら数字ボタンの4(完了)を押して終了する



チャンネルを設定する(チャンネルスキップ設定)



チャンネルを設定する(4)

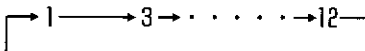


とびこし設定とチャンネルの切り換え

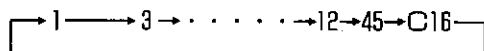
VHF、UHF、CATVのチャンネルで、とびこしを設定/解除した場合、チャンネル+、-ボタンを押すと、チャンネルは次のように切り換わります。

例 チャンネル2をとびこしにし、チャンネル45とC16のとびこし設定を解除した場合

ダイレクト選局のとき：




10キ一選局のとき：



なお、受信設定したチャンネルをとびこしに設定すると、チャンネル+、-ボタンでは見ることができなくなります。

UHFとCATVチャンネルのとびこし設定を解除する メニュー7 チャンネルスキップ設定

 チャンネル+、-ボタンでUHF(13~62)とケーブルテレビ(C13~C35)を選ぶには、とびこし設定を解除します。

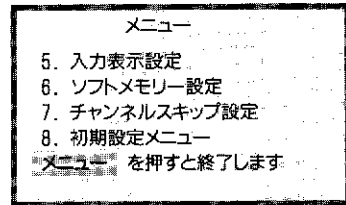
例 C16チャンネルのとびこし設定を解除する

1 とびこし設定を解除したいチャンネルを数字ボタンで選ぶ

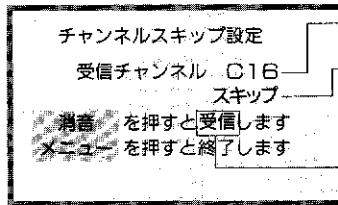
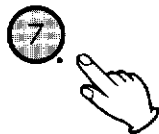
ケーブルテレビのチャンネルは、CATVボタンを押してから数字ボタンを押します。

設定前に、チャンネル選択が「10キーセレクト」になっていることを確認してください。[P4](#)ページ参照。

2 メニューボタンを2回押す



3 数字ボタンの7を押して、「チャンネルスキップ設定」を選ぶ

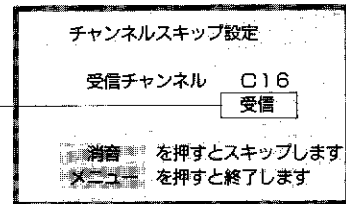


受信するチャンネル
受信するように設定してあったチャンネルは、「受信」と表示されます。
受信するように設定してあったチャンネルは、「スキップ」と表示されます。

4 消音ボタンを押す



「スキップ」が「受信」に変わります。



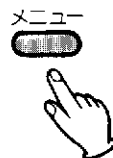
5 チャンネル+、-ボタンを押し、次に解除したいチャンネルを表示させる

手順4と5を繰り返し、受信したいチャンネルすべてを「受信」に設定します。

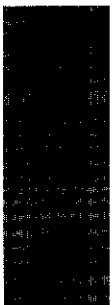


6 メニューボタンを押す

チャンネルスキップ設定が終了します。

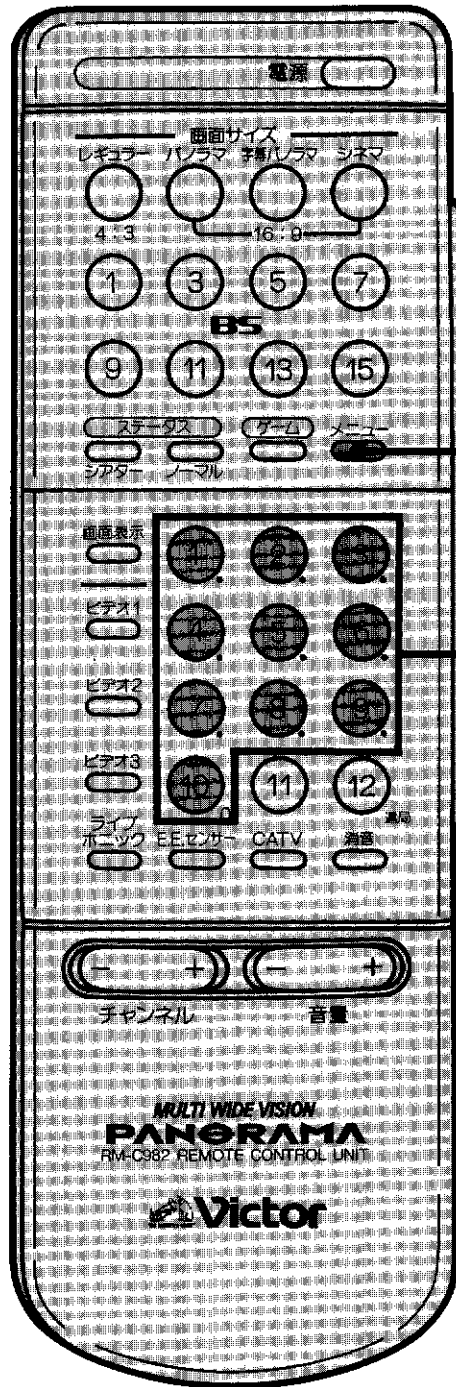


チャンネルを設定する(チャンネルスキップ設定)



BSチャンネルの代わりにBS局名を表示することができます。

使いやすくなるための設定①

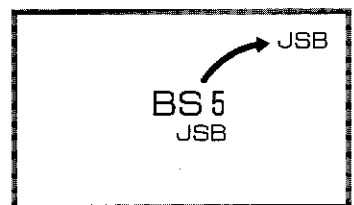


メニューボタン

数字ボタン

BS局名表示を設定すると

BSチャンネルの表示が図のようになります。



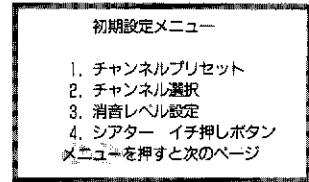
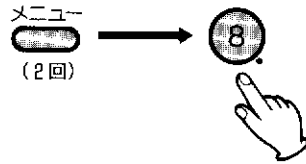
操作を間違えたときはメニューボタンを押し、最初からやり直してください。

BS局名の表示を設定する

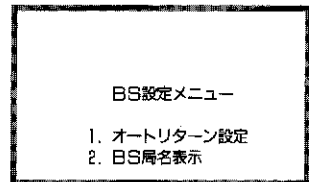
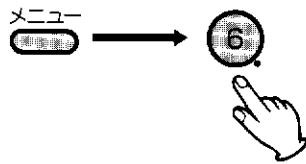
初期設定メニュー5 → BS設定メニュー3
BS局名表示

例 BS 5 のチャンネル表示を局名表示に変える

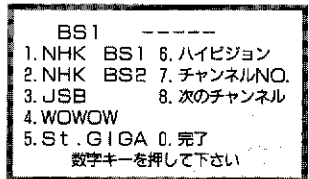
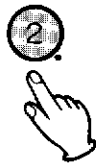
1 メニューボタンを2回押し、数字ボタンの⑧を押して、「初期設定メニュー」を選ぶ



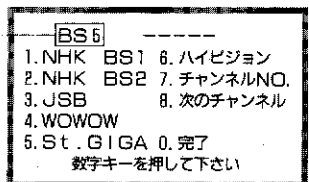
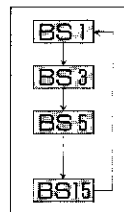
2 メニューボタンを押し、数字ボタンの⑥を押して、「BS設定メニュー」を選ぶ



3 数字ボタンの②を押して「BS局名表示」を選ぶ



4 数字ボタンの⑧を押して表示を変えたいBSチャンネルを選ぶ

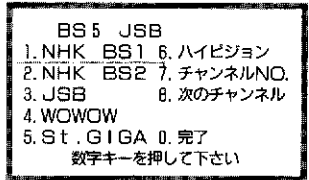


数字ボタンの②を2回押して「BS5 -----」にします。

5 数字ボタンの③を押して表示させたい局名「JSB」を選ぶ



チャンネル表示に戻すときに選びます



他のBSチャンネルも変えるときは手順4と5をくり返します。

「BS5 -----」の表示が「BS5 JSB」に変わります。

6 設定を終了したら、数字ボタンの⑩を押す
「0. 完了」となり、画面表示が消えて設定が終わります。

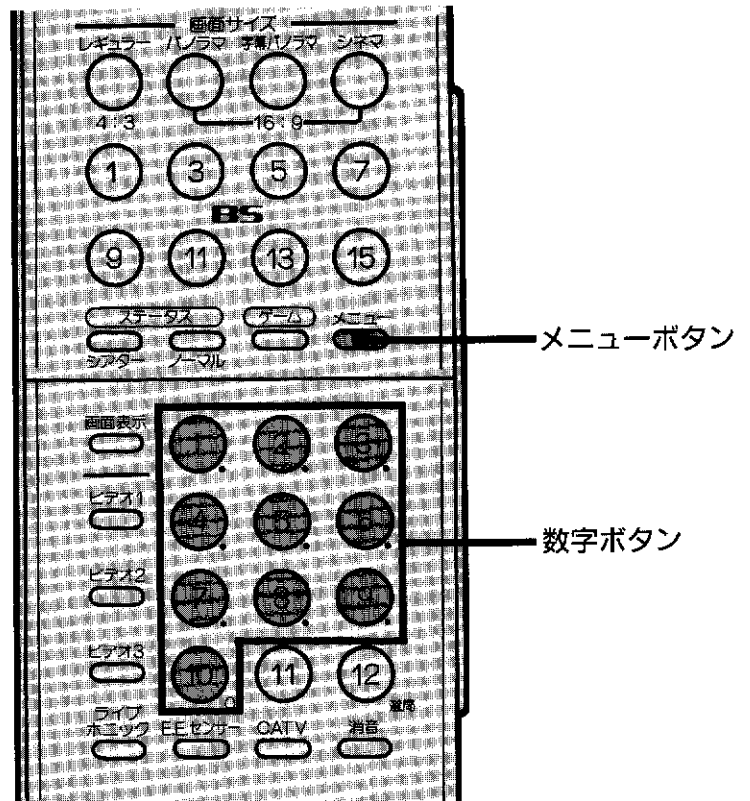


使いやすくなるための設定




使い方をためめの設定(2)

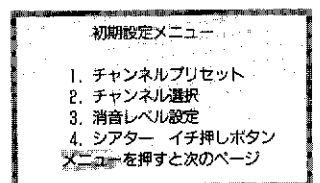
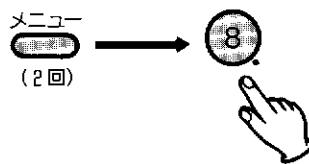
シアターイチ押しボタン機能や
節電機能でさらに便利に



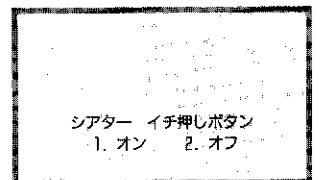
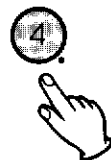
シアター画面へのワンタッチ切り換えを設定する 初期設定メニュー4 シアターイチ押しボタン

 映画ソフトを見るときに、画面サイズの字幕パノラマまたはシネマボタンを押すと、画面の大きさといっしょに映画に合った映像と音に切り換えることができます。

1 メニューボタンを2回押し、数字ボタンの⑧を押して、「初期設定メニュー」を選ぶ



2 数字ボタンの④を押して、「シアターイチ押しボタン」を選ぶ



3 数字ボタンの①を押して、「オン」を選ぶ



「オン」にすると、字幕パノラマボタンかシネマボタンを押したとき、映像と音声も同時に次のように変わります。

映像：E.E.シアター
音声：低音増強

画面表示が消えて設定が変わります。

解除するときは数字ボタンの②を押します。




① シアターイチ押し機能はステータスボタンを押すと動作しません。
② ご注意 この場合は、レギュラーまたはパノラマボタンを押すと機能が再び動作します。

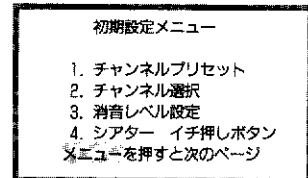
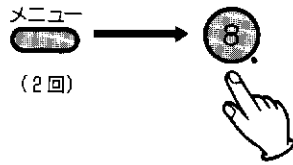
設定を途中でやめるには、メニューボタンを押します。

節電機能を設定する

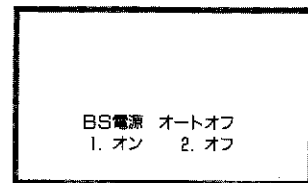
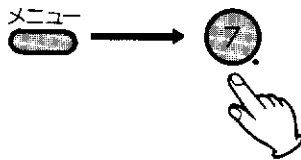
初期設定メニュー7
BS電源 オートオフ

 BSを見ていないときに
BSチューナーの電源を切ることができます。

1 メニューボタンを2回押し、数字ボタンの⑧を押して、「初期設定メニュー」を選ぶ



2 メニューボタンを押し、数字ボタンの⑦を押して、「BS電源オートオフ」を選ぶ



3 数字ボタンの①を押して、「オン」を選ぶ



解除するときは数字ボタンの②を押します。

画面表示が消えて設定が完了します。

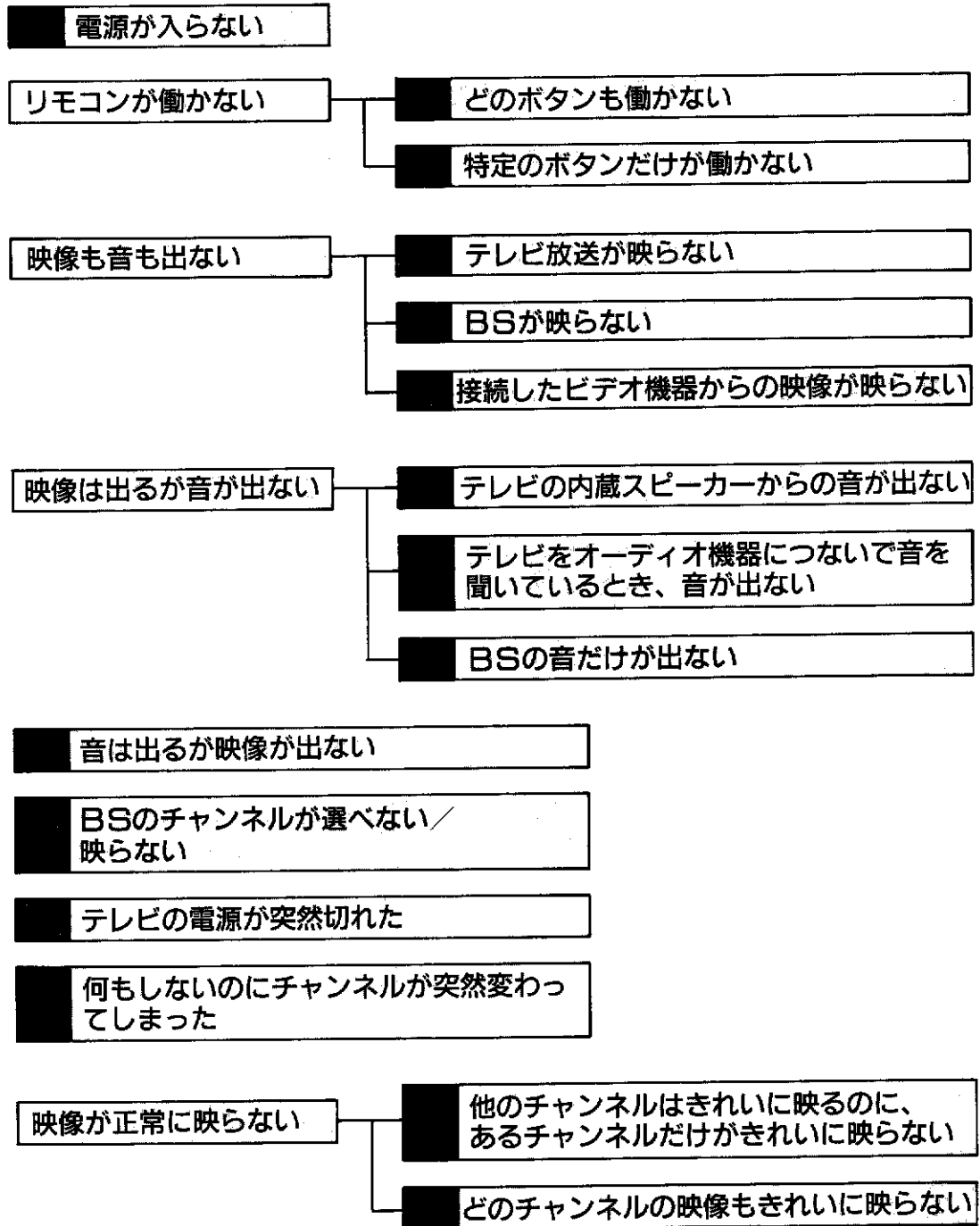
- 「オン」にすると普通のテレビ放送やビデオを見ているときには、BSチューナーの電源は切れています。BSをご覧になるときだけ、電源が入ります。「オフ」にすると、BSを見ていないときでも電源が入ったままになります。
- 「オン」の状態でもBS裏録をしたい場合は、裏録ボタンを押せば、BSチューナーの電源は入ります。

使いやすくなるための設定



故障かな？と思ったらまずは確かめて

まず、テレビの症状を下からさがしてください。あてはまる症状が見つかったら、その番号の「原因／対処／参照ページ」の表を確認してください。
直らなかったときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。



このようなときは故障ではありません

- ブラウン管に手を触れると弱い電気を感じることがありますが、これはブラウン管が静電気を帯びているためで、人体に影響はありません。
- 画面に白い服などの明るい画像が静止しているとき、その部分に色が付くことがあります。これはブラウン管の構造によるもので、明るい画像がなくなれば消えます。
- 部屋の温度変化により、テレビから“ミシッ”という音がすることがあります。画面や音声に異常がなければ心配はありません。

電源が入らない		
原因	対処	参照ページ
電源コードがはずれている。	電源コードを電源コンセントに差し込む。	5
本体の電源ボタンが押されていない。 (電源ランプが消えている。)	電源ボタンを押す。	7

リモコンのどのボタンも働かない		
原因	対処	参照ページ
テレビ本体の電源ボタンが入っていない。	本体前面の電源ランプが点灯していないときは、本体の電源ボタンを押す。	7
リモコンの電池の+と-が逆になっている。	電池を正しく入れ直す。	89
電池が消耗している。	電池を2本とも新しいものと交換する。	89
リモコンとテレビの間に障害物がある。	障害物を取り除く。	—
リモコンをテレビの方向に向けていない。	リモコンをテレビの受光部に向けて操作する。	—
AVコンピュリンク端子にアンプをつないでいる。	リモコンをアンプのリモコン受光部に向けて操作する。	63

リモコンの特定のボタンが働かない		
原因	対処	参照ページ
VTRまたはVDP操作部のボタンが働かないとき リモコンにビデオ機器の種類を登録していない。	リモコンにビデオ機器の種類を登録する。	66
VTRまたはVDP操作部のボタンが働かないとき 電池を取り換えたとき、登録していたビデオ機器の種類が初期の設定に戻ってしまった。	リモコンにビデオ機器の種類を登録し直す。	66
チャンネルボタンを押したとき選んだチャンネルが映らない ダイレクト選局と10キー選局の切り換えが間違っている。	「初期設定メニュー」の「チャンネル選択」の設定を変える。	75
「ゲームポジション中」が表示されるとき ゲームポジションがオンになっている。	ゲームボタンを押して、ゲームポジションをオフにする。	19

テレビ放送が映らない		
原因	対処	参照ページ
ビデオ入力選ばれている。	見たいチャンネルのボタンを押す。	7
受信チャンネルのプリセットが正しくされていない。	チャンネルプリセットをし直す。	72
VHF/UHFアンテナが正しく接続されていない。	テレビをアンテナ線に正しくつなぎ直す。	68

BSが映らない		
原因	対処	参照ページ
BSアンテナが正しく接続されていない。	BSアンテナをつなぎ直す。	70
BSアンテナの方向がずれている。	「初期設定メニュー」の「BS入力レベル設定」で、BS入力レベルを見ながらアンテナの方向を調節する。	71
BSアンテナの方向に、立木などの障害物がある。	BSアンテナの位置を移動するか、高さを変えてみる。	—
BSアンテナのBSコンバーター電源スイッチの切り換えが間違っている。	スイッチを切り換えて、BSアンテナに電源が供給されるようにする。	70
BSデコーダーやMUSE-NTSCコンバーターがつながっていないのに、BS有料放送やハイビジョン番組のチャンネルを選んでる。	画面表示ボタンを押して、「PAY」の表示が出れば、有料放送。「MUSE」の表示が出れば、ハイビジョン番組。	12、46、51
BSは、太陽の食や天候などの気象条件により見えなときがある。	食については、テレビの番組表などで放送中止時間を確認する。	95

接続したビデオ機器からの映像が映らない		
原因	対処	参照ページ
ビデオ機器が正しく接続されていない。またはケーブルがはずれている。	正しく接続し直す。特に、入力と出力を間違えていないか確認する。	43
選んでいるビデオ入力に、ビデオ機器が接続されていない。	ビデオ1、2、3ボタンのうち、ビデオ機器が接続してある入力のボタンを押す。	43

テレビの内蔵スピーカーからの音が出ない		
原因	対処	参照ページ
音の大きさが最小になっている。	音量+ボタンを押して、音を大きくする。	7
消音状態になっている。	消音ボタンを押して消音を解除するか、音量ボタン+を押して音を大きくする。	21
テレビにヘッドホンをつないでいる。	ヘッドホンをはずす。	88

テレビをオーディオ機器につないで音を聞いているとき、音が出ない		
原因	対処	参照ページ
アンプの接続が正しくない。	アンプ側の取扱説明書も参照して、正しく接続し直す。	59、62
アンプの電源が入っていない。	アンプの電源を入れる。	—
アンプの切り換えが間違っている。	テレビからの音を選ばれるようにスイッチを切り換える。	—

BSの音だけが出ない		
原因	対処	参照ページ
独立音声がないときに、独立音声を選んでいる。	TV/独立ボタンを押し、テレビの音に切り換える。	13

音は出るが映像が出ない		
原因	対処	参照ページ
画面に「映像カット」と表示されていたら、映像カットボタンが押されている。	映像カットボタンを押す。	21

BSのチャンネルが選べない/映らない		
原因	対処	参照ページ
BSチャンネルがロックされている。(BS裏録ランプが赤く点灯)	録画が終わるのを待つ。	—
	裏録ボタンを押して、BS裏録ランプを消す。ただし、BS録画中は、チャンネルを切り換えると録画しているチャンネルも変わってしまいます。	45

テレビの電源が突然切れた		
原因	対処	参照ページ
「オフタイマー」または「おやすみタイマー」が動作した。	続けてテレビを見たいときは、リモコンの電源ボタンを押して、電源を入れる。「おやすみタイマー」が必要な場合は、解除する。	29、31
「おはようタイマー」でテレビをつけてからリモコンのボタンを約2時間操作しなかったため。	続けてテレビを見たいときは、リモコンの電源ボタンを押して、電源を入れる。	27

見ているチャンネルが突然変わってしまった

原因	対処	参照ページ
BSを見ていたときテレビ本体前面のBS裏録ランプが赤く点灯していれば、BSタイマー録画が始まった。	録画が終わるのを待つか、BSタイマーを停止する。	57
テレビ本体前面のオンタイマーランプがオレンジ色に点灯していれば、「おはようタイマー」が動作した。	チャンネルボタンを押して、見たいチャンネルに切り換える。「おはようタイマー」が必要なければ、解除する。	27

他のチャンネルはきれいに映るのに、あるチャンネルだけがきれいに映らない

原因	対処	参照ページ
あるチャンネルだけに色がでなかったり、しま模様が出る場合は、プリセットしたチャンネルがずれている。	そのチャンネルをプリセットし直し、微調整をする。	73

どのチャンネルの映像もきれいに映らない

症状画面	原因	対処	参照ページ
斑点や点模様が走る。	ヘッドライヤー、自動車、バイクなどからの雑音。	●車が通ったときだけ出るなら、アンテナをなるべく道路から離す。 ●電化製品を使用したときに出るなら、電化製品をテレビと違うコンセントで使用するか、テレビからできるだけ離れた所で使う。	—
しま模様が出る。	近くの送信施設(放送局、アマチュア無線局)などによる影響。	アンテナの高さ、方向、位置を変え、画面が最もきれいに映る位置にする。 ⚠️ ご注意 アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご依頼ください。	—
雪が降っているような画面。	●アンテナ線を正しくつないでない。 ●屋外のアンテナ線がはずれたり断線している。 ●アンテナが傾いたり、方向が変わっていたり、壊れたりしている。	アンテナを調節する。 ⚠️ ご注意 アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、販売店にご依頼ください。	—
映像の輪郭が二重三重になる。	放送局から直接送られてくる電波と、山や建物に反射した電波が影響し合っている。	近くに高い建物がある場合、アンテナの高さや方向、位置などを調節する。	—
	放送局に近すぎて、テレビが放送局から直接送られてくる電波の影響を受けている。	テレビの設置場所を変えてみる	—
画面が暗い。	シアターステータスが選ばれている。	ノーマルステータスボタンを押して、普通の画面を見るときの状態に戻す。	33



故障かな?と思ったらまず確かめて

各部の名称と働き(1)

テレビ本体前面

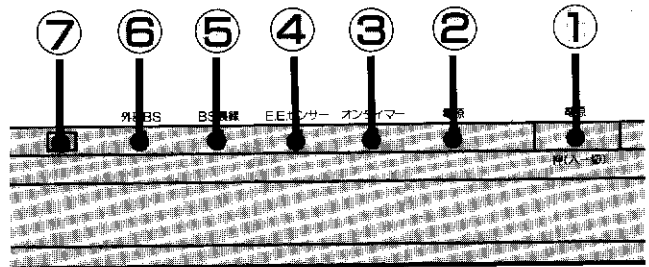
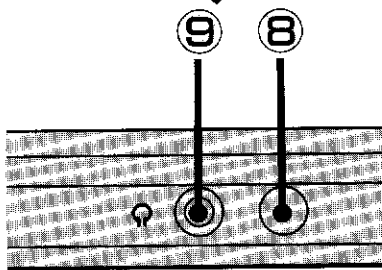
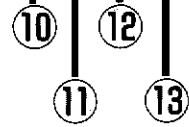
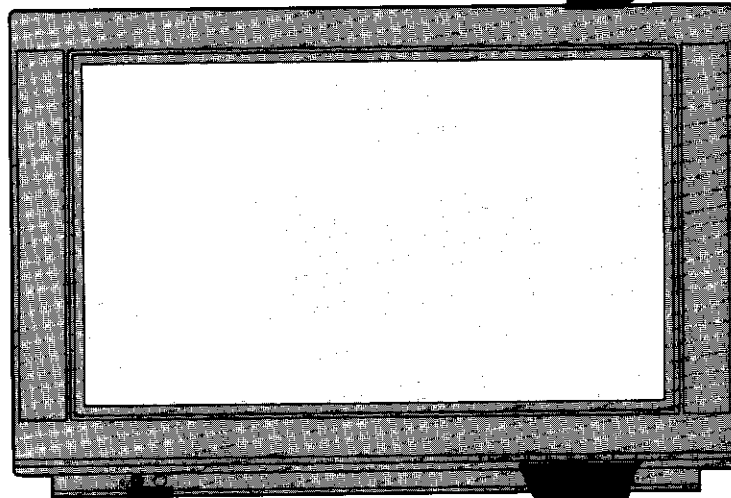
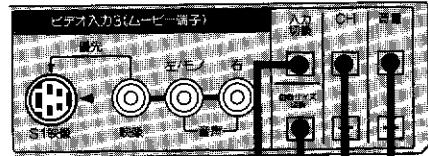
各部の名称の後ろの は説明ページです。



ご注意

- *ここでは、AV-28X3を例に説明しています。AV-24X3/AV-32X3の場合、ボタン・ランプの位置が異なります。
- *AV-32X3には、天面コントロール部に映像バランス調整スイッチがついています。詳しくは、88ページをご覧ください。

天面コントロール部



- ① 電源ボタン (7ページ)
- ② 電源ランプ (7ページ)
本体の電源ボタン入のとき赤く点灯します。
- ③ オンタイマーランプ (27ページ)
おはようタイマー動作時、橙色に点灯します。
- ④ E.E.センサーランプ (83ページ)
E.E.センサーボタン入のとき緑色に点灯します。
- ⑤ BS裏録ランプ (85ページ)
裏録ボタン入のとき赤く点灯します。
- ⑥ 外部BSランプ (89ページ)
外部BSボタン入のとき緑色に点灯します。
- ⑦ E.E.センサー受光部
- ⑧ リモコン受光部
- ⑨ ヘッドホン端子(ミニジャック)
別売のヘッドホンをつなぐ端子です。
ヘッドホンのプラグを差し込むとスピーカーの音は消えます。

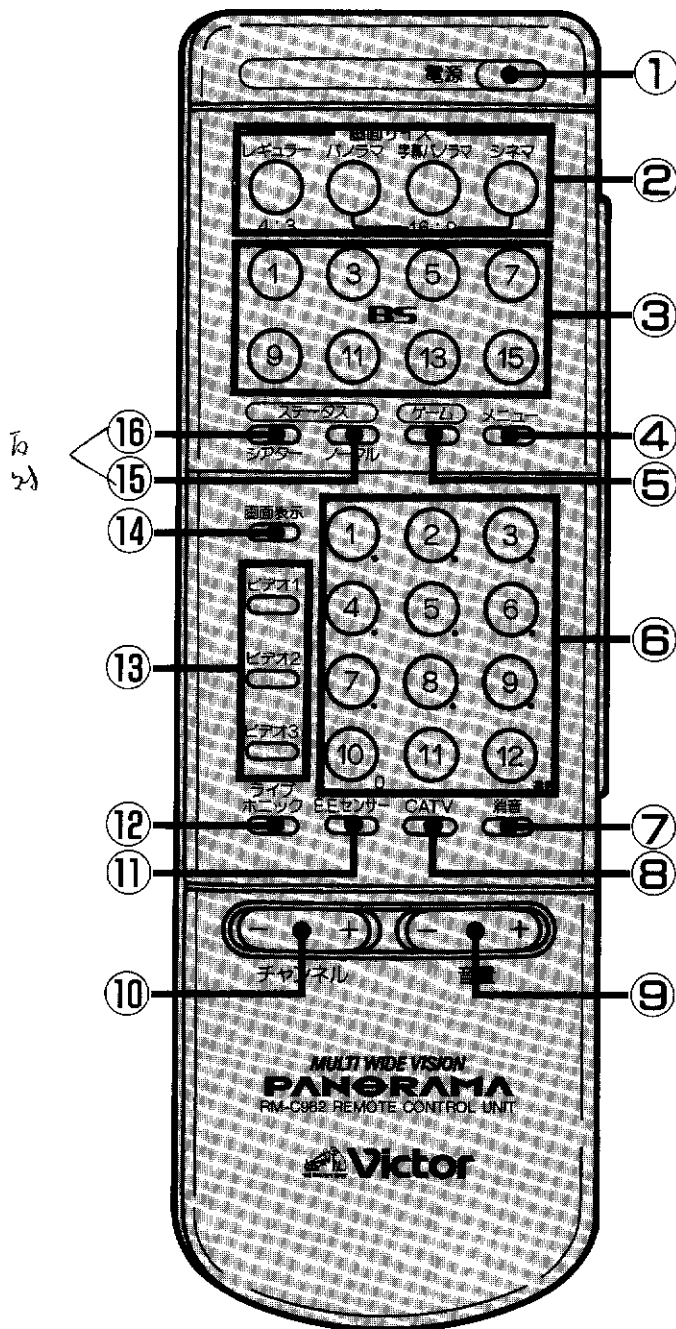
天面コントロール部

- ⑩ 入力切換ボタン
- ⑪ 画面サイズ切換ボタン (15ページ)
「パノラマ・字幕パノラマ・シネマ・フル・レギュラー」の順に画面サイズを切り換えます。
- ⑫ チャンネル+、-ボタン (6ページ)
- ⑬ 音量ボタン (7ページ)

*⑩～⑬のボタンは、リモコンのボタンと同じ機能です。リモコンの電池が切れたときは、このボタンで操作してください。基本の操作ができます。

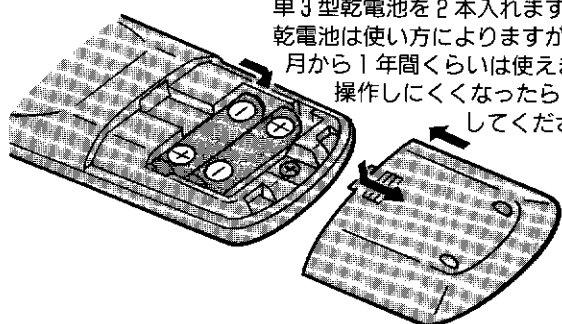
リモコン(表面)

各部の名称の後ろの...は説明ページです。



- ① 電源ボタン (7ページ)
- ② 画面サイズボタン (13ページ)
画面の大きさ(横縦比)を変えます。
- ③ BSチャンネルボタン (7ページ)
- ④ メニューボタン (22ページ)
メニュー画面を表示して各種の設定や調節をします。
- ⑤ ゲームボタン (19ページ)
テレビゲームをするときに押します。
- ⑥ チャンネルボタン (7ページ)
テレビ放送のチャンネルを選びます。10キー選局およびメニュー操作中は、数字ボタンとして働きます。
- ⑦ 消音ボタン (21ページ)
いそいでテレビの音を小さくしたいとき押します。
- ⑧ CATVボタン (9ページ)
CATV(ケーブルテレビ)のチャンネルを選ぶとき、このボタンを押してからチャンネルボタンでチャンネルを選びます。
- ⑨ 音量+、-ボタン (7ページ)
- ⑩ チャンネル+、-ボタン (6ページ)
チャンネルを順送りするとき押します。
- ⑪ E.E.センサーボタン (33ページ)
画面の明るさを部屋に合わせたいときに押します。
- ⑫ ライブホニックボタン (39ページ)
臨場感のある音を楽しみたいときに押します。
- ⑬ 入力切替ボタン (43ページ)
ビデオ1、2、3入力端子につながっているビデオ機器からの信号を選ぶとき押します。
- ⑭ 画面表示ボタン (21ページ)
画面で見ているチャンネル/入力や現在時刻を表示するとき押します。
- ⑮ シアターステータスボタン (33ページ)
映画の番組やビデオソフトを見る場合に押します。
- ⑯ ノーマルステータスボタン (37ページ)
普通にテレビを見るときの画面にします。

乾電池の入れ方

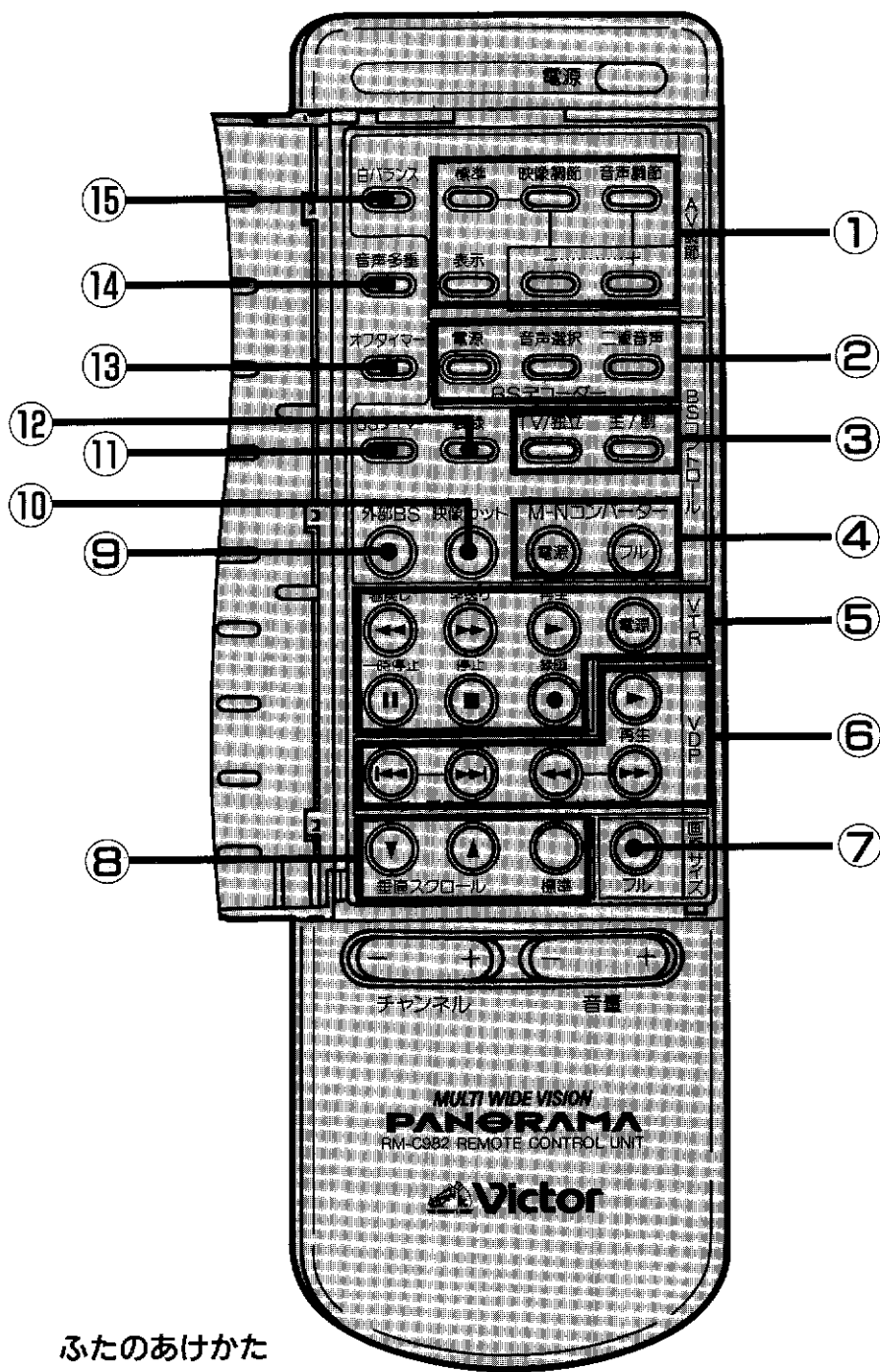


単3型乾電池を2本入れます。
乾電池は使い方によりますが6か月から1年間くらいは使えます。
操作しにくくなったなら交換してください。

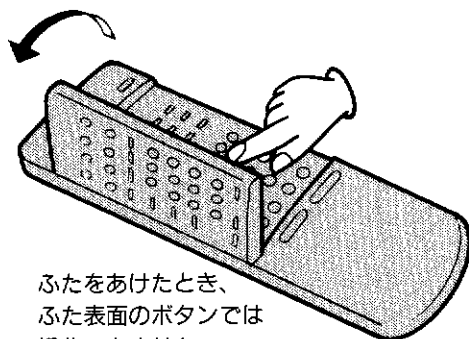
各部の名称と働き(2)

リモコン(内部)

各部の名称の後ろの ①は説明ページです。



ふたのあけかた



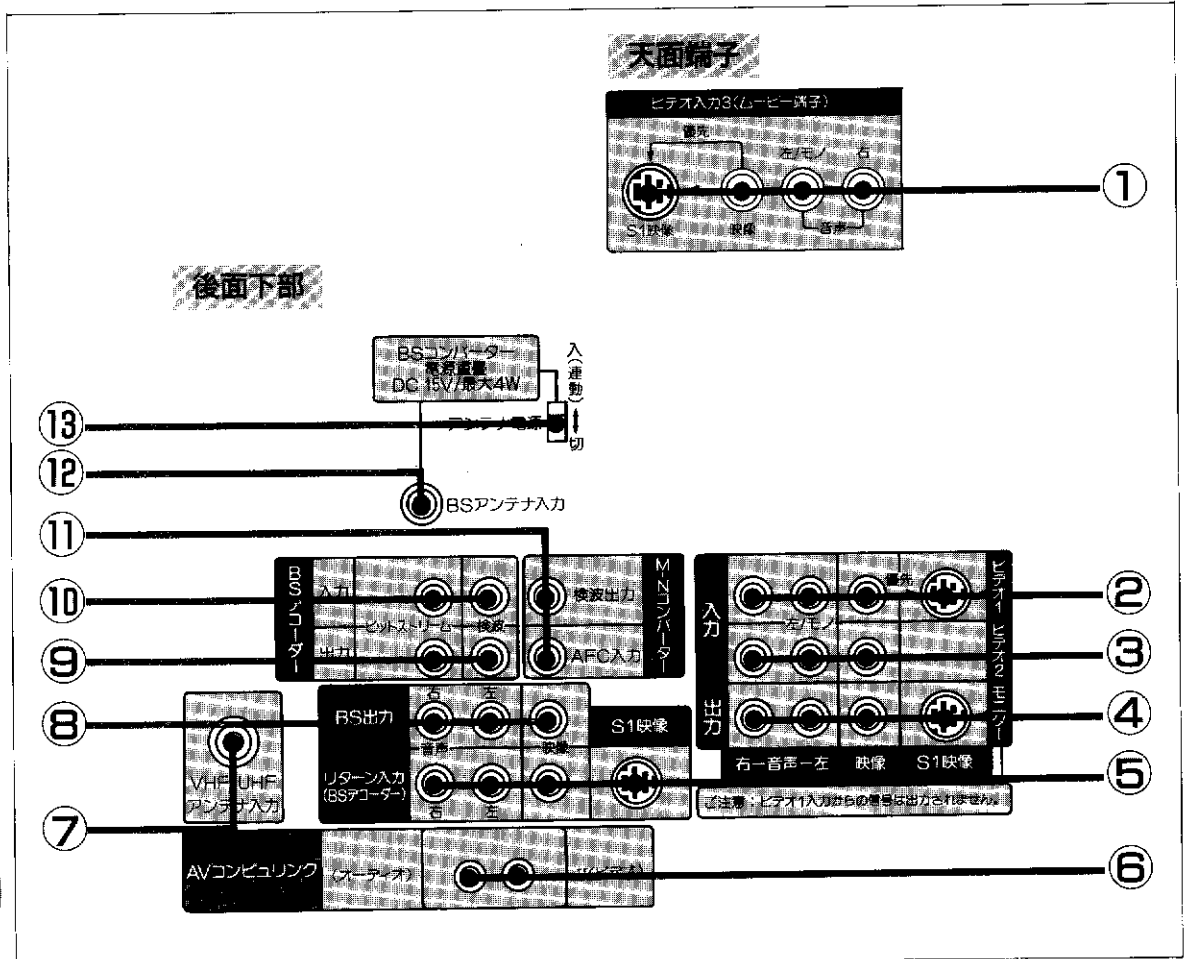
ふたをあけたとき、
ふた表面のボタンでは
操作できません。

- ① 映像／音声調節部 (35、39ページ)
映像の明るさや色合い、音のバランスや音質などの調節をします。
- ② BSデコーダー操作部 (46～48ページ)
BSデコーダーの操作をします。
- ③ BS音声ボタン (18ページ)
BSの音声を切り換えます。
- ④ M-Nコンバーター操作部 (51～53ページ)
MUSE-NTSCコンバーターの操作をします。
- ⑤ VTR操作部 (63ページ)
ビデオデッキの操作をします。あらかじめ、使用するビデオデッキの種類をリモコンに登録しておきます。
- ⑥ VDP操作部 (63ページ)
ビデオディスクプレーヤーの操作をします。あらかじめ、使用するビデオディスクプレーヤーの種類をリモコンに登録しておきます。
- ⑦ 画面サイズボタン (17ページ)
フルサイズの画面に変えます。
- ⑧ スクロール操作部 (17ページ)
パノラマおよびシネマサイズの画面位置を調節します。
- ⑨ 外部BSボタン (49ページ)
BS有料放送を録画中に他のBSをテレビで見たいとき、押します。
- ⑩ 映像カットボタン (21ページ)
画面の映像を消し、音だけが聞こえるようにします。
- ⑪ BSタイマーボタン (55ページ)
BSをタイマー録画するとき、使います。
- ⑫ 裏録ボタン (45ページ)
BSを録画しながらテレビ放送を見るときに押します。
- ⑬ オフタイマーボタン (31ページ)
一定時間後にテレビを自動的に消したいとき押します。
- ⑭ 音声多重ボタン (11ページ)
テレビ放送の音声のステレオ／モノラル、二重音声の主／副の切り換えをします。
- ⑮ 白バランスボタン (33ページ)
好みの映像に切り換えます。

各部の名称と働き(3)

テレビ本体後面

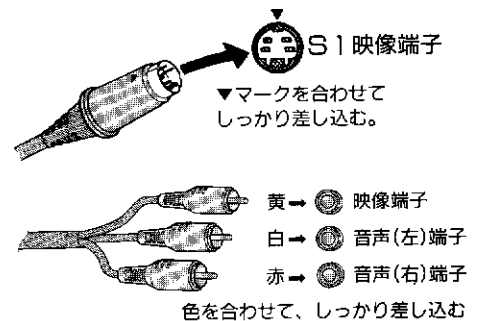
各部の名称の後ろの「」は説明ページです。



接続ケーブル一覧表 下記以外にも便利なケーブルがありますので販売店にお問い合わせください。

映像・音声端子	ステレオ音声のビデオ機器用		VX-17(1m) VX-18(2m)
		ピンプラグ×3 Sプラグ ピンプラグ×3 Sプラグ	
映像端子	S1またはS映像端子用		VC-S410HF(1m) VC-S420HF(2m)
		ピンプラグ×2 ピンプラグ×2	
映像端子	映像端子用		VX-15(1m) VX-18(2m)
		ピンプラグ×2 ピンプラグ×3	
映像端子	映像端子用		VC-S110HF(1m) VC-S120HF(2m)
		Sプラグ Sプラグ	
音声端子	ステレオ用		VX-10(1m) VX-12(2m)
		ピンプラグ ピンプラグ	
音声端子	ステレオ用		CN-180A(1m) CN-181A(2m)
		ピンプラグ×2 ピンプラグ×2	

ケーブルのつなぎかた



各部の名称の後ろの■は説明ページです。

- ① **ビデオ3入力端子 (43、53、60ページ)**
ビデオムービーやポータブルビデオデッキをつなぎます。S1映像端子が優先します。音声の左/モノ端子には、モノラル信号をつなぎます。
- ② **③ビデオ1・2入力端子 (43、47、48、52~55、58、62、63ページ)**
ビデオデッキやビデオディスクプレーヤーなどのビデオ機器をつなぎます。ビデオ1はS1映像端子が優先します。音声の左/モノ端子には、モノラル信号をつなぎます。
- ④ **モニター出力端子 (52、53、59、62ページ)**
録画するときにビデオデッキにつなぎます。画面に映っている信号を出力します。ビデオ1入力端子の信号は出力しません。AV-24X3の場合、S1映像端子からはテレビ放送やBSの映像信号は出力されません。ビデオ入力3またはリターン入力のS1映像端子から入力した信号のみを出力します。
- ⑤ **BSデコーダー/リターン入力端子 (46~48、51~55ページ)**
BSデコーダーやMUSE-NTSCコンバーターをつなぎます。スクランブルが解除された映像・音声信号が入力されます。
- ⑥ **AVコンピュリンク端子 (62、63ページ)**
オーディオ：AVコンピュリンク端子のついたオーディオアンプをつなぎます。
II (ビデオ)：AVコンピュリンクII対応のビデオデッキをつなぎます。
- ⑦ **VHF/UHFアンテナ入力端子 (61~68ページ)**
VHF、UHFアンテナ、CATVのケーブルをつなぎます。
- ⑧ **BS出力端子 (44、47、54、62、63ページ)**
BSを録画するときにビデオデッキにつなぎます。選局されているBS信号を常に出力しています。
- ⑨ **BSデコーダー/検波出力端子・ビットストリーム出力端子 (46~48、54、55ページ)**
BSデコーダーをつなぐ出力端子です。
- ⑩ **BSデコーダー/検波入力端子・ビットストリーム入力端子 (48、55ページ)**
BS内蔵ビデオデッキをつないで1台のBSデコーダーを本機とビデオデッキで共用するとき使用する端子です。
- ⑪ **M-Nコンバーター/AFC入力端子・検波出力端子 (51~55ページ)**
MUSE-NTSCコンバーターをつなぐ入・出力端子です。
- ⑫ **BSアンテナ入力端子 (70ページ)**
BSアンテナをつなぎます。BSアンテナ用電源スイッチによって、BSアンテナ(コンバーター)用の電源が供給されます。
- ⑬ **BSアンテナ用電源スイッチ (70ページ)**
BSアンテナ(コンバーター)への電源供給を選びます。
入(運動)：本機から電源を供給するとき、本機の電源が入っているときだけ電源を供給します。
切：共聴システムなどで、本機から電源を供給しないとき。

仕様

項目	型名	AV-24X3	AV-28X3	AV-32X3
種類		カラーテレビ		
受信方式		NTSC		
受信チャンネル		VHF 1~12/UHF 13~62/CATV C13~C35/ BS1、3、5、7、9、11、13、15		
使用電源		AC100V、50/60Hz		
消費電力		148W 待機時1.6W BS放送裏録時19.1W (BSコンバーター最大4Wを除く)	161W 待機時1.7W BS放送裏録時20.2W (BSコンバーター最大4Wを除く)	201W 待機時2.1W BS放送裏録時19.6W (BSコンバーター最大4Wを除く)
画面寸法(幅×高さ×対角)		24型48.8×27.5×56.0cm	28型57.5×32.4×66.0cm	32型66.2×37.3×76.0cm
音声出力		5W×5W(8Ω)	11W×11W(8Ω)	11W×11W(8Ω)
スピーカー		8×12cm だ円形、2個	低音用 10cm丸形、2個 高音用 3.5cm丸形、2個	低音用 10cm丸形、2個 高音用 3.5cm丸形、2個
アンテナ端子		VHF/UHF 75Ω、F型 BS 75Ω、F型(BSコンバーター用電源DC15V4W重畳)		
入力/出力端子	ビデオ1/2/3入力端子 (ビデオ2はS1映像端子なし)	S1映像：Y 1Vp-p、75Ω、同期負 C 0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω 映像：1Vp-p、75Ω、同期負 音声：0.5Vrms、ハイインピーダンス		
	モニター出力端子	S1映像*：Y 1Vp-p、75Ω、同期負 C 0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω 映像：1Vp-p、75Ω、同期負 音声：0.5Vrms、ローインピーダンス		
	BS出力端子	映像：1Vp-p、75Ω、同期負 音声：250mVrms FS-18dB、ハイインピーダンス		
	ビットストリーム入/出力端子	0.5Vp-p、75Ω		
	検波(PAY)入/出力端子	0.67Vp-p、75Ω		
	AFC入力端子	BTA S-1001に準拠		
	検波(MUSE)出力端子	0.4Vp-p、75Ω		
	リターン入力端子	S1映像：Y 1Vp-p、75Ω、同期負 C 0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω 映像：1Vp-p、75Ω、同期負 音声：250mVrms FS-18dB、ハイインピーダンス		
最大外形寸法(幅×高さ×奥行)		63.7×41.5×49.8cm	71.6×47.4×54.3cm	80.5×53.1×58.8cm
重量		28.4kg	41.4kg	54.0kg
付属品		リモコン 1個、単3型乾電池 2個、アンテナ混合器 1個、 アンテナコネクター 1個、番号シール 1シート		
別売品		BSアンテナ BX-AF40 テレビスタンド RK-C32WA1/RK-C28WX2/RK-C28WA1/RK-C24WA1		

* AV-24X3では、接続方法によってはY、C信号が出力されない場合があります。

※このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。

This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

※仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

※テレビの型(28型等)は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。

※本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、一度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。

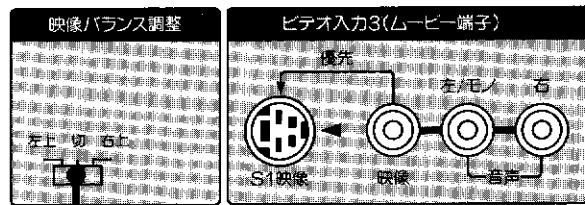
画面のバランスを調整する

※このページの調整はAV-32X3のみ行ってください。



このテレビは、大型ブラウン管を使用していますので、設置場所によっては、地磁気の影響で画面に傾きを生じる場合があります。その場合は、画面のバランスを調整してください。

天面コントロール部



映像バランス調整スイッチ

1 テレビを設置したあと、電源を入れ、テレビ放送を受信する

2 映像バランス調整スイッチを、傾きに合わせて切り換える

画面が右上に傾いているとき

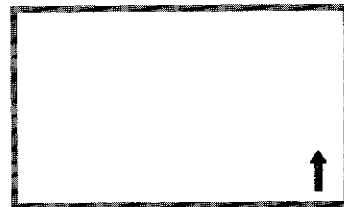
左上 切 右上



画面が左上に上がり、まっすぐになります。

画面が左上に傾いているとき

左上 切 右上



画面が右上に上がり、まっすぐになります。

仕様／画面のバランスを調整する

BS(衛星放送)とは(BS=Broadcasting Satellite)

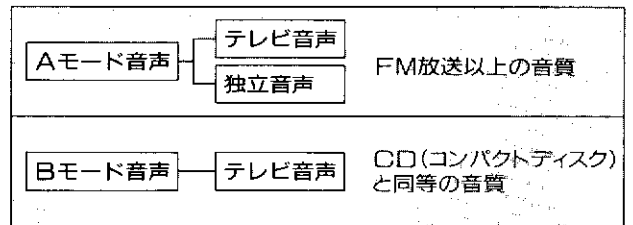
日本の南西、赤道上空約36,000kmにある放送衛星を経由してテレビの電波を受信するシステムです。
BS放送は8チャンネルありますが、平成5年8月現在放送されているのはBS5・7・9・11チャンネルだけです。
BS5はJSB(日本衛星放送株)とSDAB(衛星デジタル音楽放送株)が有料放送をしています。
BS7・11はNHK衛星第1・2テレビが放送しています。
BS9はハイビジョン放送の試験放送をしています。

■BSを受信するには

- BSアンテナ(コンバーター付)が必要です。取付などはお買い上げの販売店にご相談ください。
- BS5の有料放送はスクランブル(攪乱)されていますので、BSデコーダー(解読機)がないと正しい放送を受信できません。
- BSデコーダーはJSB代理店(主に電器店)が契約も併せて申し込みを受け付けています。
- BS9のハイビジョン放送は、MUSE方式で送信されています。受信には、MUSE信号を現行方式のNTSC信号に変換するためのM-Nコンバーターが必要です。

■BSの音声は

デジタル音声ですから非常によい音質で楽しめます。
音声はAモードとBモードの2種類があり、番組によって決められて送られてきます。
Aモード音声はさらに番組の内容に合ったテレビ音声と、番組にまったく関係のない独立音声で放送されます。
SDABはこの独立音声で放送されます。
それぞれの音声はステレオ、モノラル、二重音声のいずれかで放送されます。



■BSの電波は

光の性質に近く非常に弱いため、厚い雲や強い雨・雪などによって信号に雑音が入ることがあります。ひどい場合はまったく映らないこともあります。このような影響はアンテナが大きいほど受けにくくなりますが、まったくなくすることはできません。また、春分と秋分の日の頃40数日間は食(衛星が地球や月の影に入ること)の影響で太陽電池の電力が不足し、おもに夜間に数時間停止することがあります。食について詳しくは、番組表にも記載されます。



この取扱説明書はエコマーク認定のリサイクルペーパーを使用しています。

後日のために記入しておいてください。

型名	お買い上げの販売店
	電話 () —
お買い上げ日	お近くのビクターサービス窓口
年 月 日	電話 () —

お客様ご相談センター

東京…☎(03)5684-9311(代表)
〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル
大阪…☎(06)765-4161(代表)
〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル



テレビ事業部

〒308-06 茨城県岩井市大字辺田1106番地 電話(0297)35-1111(代表)

242832X3-1B-A (A)
0993-KI-H-S